HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査報告書

（平成２２年度）

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

HIV 検査相談体制の充実と活用に関する研究

研究代表者

加藤　真吾　（慶応義塾大学医学部）

研究分担者

今井　光信　（田園調布学園大学）

中瀬　克己（岡山市保健所）

HIV検査相談に関する全国保健所アンケート調査（H22年）

研究分担者　　今井光信　　（田園調布学園大学　神奈川県衛生研究所）
研究協力者　　近藤真規子　（神奈川県衛生研究所微生物部）
佐野貴子　　（神奈川県衛生研究所微生物部）
大野理恵　　（神奈川県衛生研究所微生物部HIV研究班）
中瀬克己　　（岡山市保健所）
須藤弘二　　（慶應義塾大学　医学部微生物学・免疫学教室）
加藤真吾　　（慶應義塾大学　医学部微生物部・免疫学教室）

研究概要

保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、また、その充実を計るため、全国の全保健所等を対象とした HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

本年度は、前年度の新型インフルエンザの流行が、HIV検査相談体制にどのように影響したか検査相談の受検者数にどのような影響があったかについても調査した。

今回の全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所等の協力により、対象とした586ヶ所（保健所及びその支所等）の施設中、488施設（83%）から回答を得ることができた。

アンケート結果では、平成22年の1年間に、回答の得られた488施設中487施設で、89,997件のHIV検査が実施され、241件（0.27%）が陽性であった。陽性241件中214件（89%）が保健所等に再来所して陽性の結果を受け取っており、また、その中の176件（73%）については、その後医療機関に受診していることが保健所等において確認されていることが分かった。また、感染症法に基づく届出に関しては、平成22年に陽性と分かった241件中の191件については自施設からの報告が行われていることが分かった。

即日検査の実施状況に関しては、平成22年に即日検査を実施した保健所は308施設（63%）と昨年よりやや増加し、HIV検査相談における即日検査が普及しつつあることがわかった。また夜間・土日検査に関しても、夜間検査が170施設（35%）で、土日検査が65施設（13%）といずれも昨年より僅かに増加していた。新型インフルエンザの影響が残り、受検者数の減少傾向は続いたが、検査相談の実施形態には改善傾向がみられることが分かった。

保健所以外の特設の検査相談施設を対象としたアンケート調査では、対象とした19施設全てから回答が得られ、平成22年1年間の検査件数は22,894件で陽性件数は163(0.7%)であった。この中で陽性の結果を本人に伝えられたのは158件(97%)、その後医療機関に受診したことを確認できた件数が129(79%)であった.

新型インフルエンザの影響に関しては、HIV検査相談事業の一部中止などの直接の影響があったとの回答は13件（3%）のみであったが、258件（83%）の施設で検査数の減少がみられたと回答している。但し、陽性数に関しては変化があったと回答した93施設中の60%で増加と回答しており、陽性数に関してはやや増加の傾向がみられた。

エイズ動向委員会の発表している速報値では、平成22年の新規のHIV感染者報告数が1,503、新規エイズ患者数420で新規報告総数に占める新規エイズ患者数の比率は30%と依然高い状況にあるなど、保健所等のHIV検査相談に求められている役割は極めて大きなものがあり、受検者増と検査相談の質の向上に向けてのさらなる努力が必要である。

A．目的

保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、その充実を計るため、全国の全保健所等を対象に HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

B．方法

全国の保健所およびその支所等 586 の HIV 検査相談施設と南新宿 HIV 検査相談施設等 19 の特設 HIV 検査相談施設を対象に、平成 23 年１月５日に HIV 検査相談に関するアンケート調査票（資料１参照）を郵送し、平成 23 年１月 21 日を締め切り日として､返送用封筒によりアンケート調査票を回収し、結果の解析を行った。

C．結果

今回のアンケート調査では、全国の保健所等の 586 施設中 488 施設からアンケート結果が返送され、アンケートの回収率は 83％であった。また、特設検査相談機関については、対象とした 19 施設の全てからアンケート結果を回収できた。

① 保健所における HIV 検査相談の実施率

回答のあった 488 保健所等施設の中で HIV 検査相談を実施している施設は 487 箇所（99.8％）であった。

② HIV 検査総数と陽性率

上記保健所等 487 施設で平成 22 年に行った HIV 検査相談の検査総数は 89,997 件で、陽性例は 241 例（0.27%）であった。

③ HIV 検査陽性者の結果通知と医療機関受診の把握率（図 2,3）

HIV 検査陽性の 241 例において、受検者が陽性の確認検査を受け取りに再来所したのは 214 例（89％）であった。この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 176 例であり、陽性結果を伝えられた 214 例中の 89％、全陽性例 241 中の 79％であった。

④ HIV の確認検査陽性例の報告

HIV の確認検査陽性例の感染症法に基づく届け出に関しては､平成 22 年に陽性と分かった 241 件中の 191 件（79%）については自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。

⑤ HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 検査以外の性感染症検査に関しては 377 施設（77％）の保健所等で実施しており、その内訳は、梅毒検査 321(66%)施設、クラミジア抗体 240(49%)施設，クラミジア抗原 64(13%)施設、淋菌 31(7%)施設，B 型肝炎 126(26%)施設,C 型肝炎 96(20%)施設であった。

⑥ 即日検査の実施状況

即日検査のみ実施している施設が 190 施設（39%)、即日検査と通常検査を行っている施設が 118 施設(24%)､通常検査のみ行っている施設は 179 施設(37%)であり、63%の施設が即日検査を導入していることが分かった。

⑦ 土曜・日曜・夜間検査の実施状況

HIV 検査相談を実施している全国 487 保健所で、平日・昼間にのみ検査を行っている保健所が 52％、夜間検査を行っている保健所が 35％、土曜・日曜検査を行っている保健所が 13％であり、その比率は昨年・一昨年とほぼ同じであった。

⑧ 検査法と実施時間の組み合わせ

検査法と実施時間との組み合わせでは、通常平日の検査は 26％、通常夜間が 10％、通常土日が 1％であり、即日平日が 20％、即日夜間が 13％、即日土日が 6％であり、両検査平日が 6%,両検査夜間が 11%、両検査土日が 7%であった。通常平日の組み合わせの占める比率は 26%と昨年よりも減少しており、多くの検査施設がより利便性の高い検査相談の提供に努めていることが分かった。

⑨　年間検査件数別の保健所分布

年間検査件数別の保健所分布に関しては、年間検査件数が 50 件未満の保健所数は 171 箇所(35%), 50 件以上 100 件未満は 58 箇所(18%),100 件以上 200 件未満は 87 箇所(18%), 200 件以上 500 件未満は 96 箇所(20%), 500 件以上 1000 件未満は 30 箇所(6%), 1000 件以上は 12 箇所(3%)であった。

⑩　年間検査件数別の検査数

年間検査件数が 200 件以上の保健所数は 29％であったが、そこで実施された検査件数は、検査数計の 75％を占めているおり、また、年間 500 件以上の施設は 9％であるが、それら施設における検査数は全検査数の 43%を占めていた。

⑪　年間検査件数別の陽性率

保健所等の HIV 検査相談における陽性率は、平均では 0.24%であり、年間検査数別に調べると、検査数 50-99 件の保健所では 0.14％と低く、200-499 件の施設では 0.22%,1000 件以上の施設では 0.39%と検査数の多い施設ほど陽性率も高い傾向がみられた。

⑫　予約制の有無

予約制の有無に関しては通常検査の実施施設の 54％、即日検査の実施施設の 83％が予約制を実施しており、またその場合通常検査では 39％、即日検査では 74％が上限をもうけていることが分かった。

⑬　HIV 検査の実施施設

通常検査の場合、自保健所での実施が 19%、他の保健所への委託が 9%、衛生研究所への委託が 38％、外部委託による検査は 34％であった。また、確認検査に関しては衛生研究所への依頼が 67％で、外部委託は 25％であった。

即日検査の場合、迅速検査の実施者は、自施設の検査職員が 64％、医師、保健師が 16％、であった。

⑭　　結果説明について

結果説明の担当者に関しては、陰性時には医師が 47％、保健師が 68％であり、陽性時には 99％とほぼ全ての施設で医師が担当し、85％で保健師も加わっていた。また、感染予防のための行動変容を働きかける相談に関しては、93％の施設において行われており、76％では全員に、24％の施設では、一部を対象に行われていた。陽性者への説明に関しては、全施設の 74％で説明資料を用意してあるとの回答であった。陽性者への説明事項等のガイドラインについては 57％の施設であり、38％でなしと回答があった。陽性者のパートナーへの検査の勧奨については陽性経験のある施設の 75％が行っている、または行う予定との回答であり、全体では 67％が行う、または行う予定との回答であった。

⑮　特設検査相談施設における検査相談

19 箇所の特設検査相談機関での検査総数は 22,894 件で、陽性例は 163 例 (0.7%)であった。これら陽性例において、受検者が陽性の確認結果を受け取りに再来所したのは 158 例 (97%)であった。

また、この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 129 例であり、陽性結果を伝えられた 158 例中の 82％、全陽性例中の 79％であった。

⑯　新型インフルエンザの影響

HIV 検査相談事業への影響については、HIV 検査相談の一部中止などの直接的な影響があったと回答した施設は 13 施設 3％のみであったが、HIV 検査相談の受検者数については、影響を受けて減少したと回答した施設が 258（83％）と多かった。しかしながら、検査陽性数に関しては減少したと回答した施設が 36 に対して増加したが 53 施設と、増加したと回答した施設数が減少したと回答した施設数を上回った。

⑰　HIV 検査結果のご通知について

平成 22 年 7 月 22 日に保健所で行われた夜間 HIV 検査の結果通知において、陰性と通知すべき受検者に誤って陽性と通知するという、誤通知の事例が発生した。手書きで記入され

た受検番号 1076 を 1070 と見間違えたことが原因であった。結果通知の直後に誤りに気づき探したが当該受検者を発見できなかったため、翌日行った記者会見で、心当たりのある人は連絡して欲しいと呼び掛けたところ、その翌日に該当の男性から連絡があり、本人と確認のうえ、本来の陰性の結果を手渡すことができた。この誤通知事例を機に、その後、3 枚複写となっていた検査申込書､結果受取票、結果成績書に、数字を数字印で押印し見やすくする、結果成績書の受検者番号を受検者本人も確認することを徹底するなどの改善策を実施し、誤通知の防止に努めている。誤通知の発生は、当事者への影響とともに、HIV 検査相談事業全体への信頼に大きな影響を及ぼすため､その再発防止に向けての取り組みは、全ての HIV 検査相談施設における喫緊の課題である。

D．まとめと考察

平成 22 年は､前年から新型インフルエンザの流行による影響で HIV 検査相談事業の一部縮小等の直接的影響はほとんどなかったことがアンケート結果より明らかになった｡但し、国民全体の関心が新型インフルエンザに向かうに伴い、HIV への関心が下がったことによる影響についてはその後も続いており、このため、保健所等における HIV 検査相談数の減少傾向がその後も続いたものと考えられた。但し、検査陽性者数については、増加したと回答した施設数が、減少したと回答した施設数を上回っており、また、保健所等で判明した HIV 陽性者数の総数も昨年を上回っていることから、感染リスクの高い受検者数については増加傾向にある可能性も考えられる。

今回行った全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所の協力により、対象とした 586 の保健所等施設の 83％、488 施設から回答を得ることができた。

アンケート結果では、HIV 検査を実施している全国の 487 保健所等施設で､平成 22 年には 89,997 件の HIV 検査が実施され､そのうち 241 件(0.27%)が陽性であった。この 241 件の陽性例のうち､214 件(89%)が再来所して陽性の結果を受け取っており、その 176 件(73%)については、その後医療機関に受診していることが保健所において確認されていることが分かった。医療機関に繋がったことの確認ができた率は、この数年間ほぼ一定である。

また、HIV 検査相談の利便性の向上に関しては、即日検査を実施している保健所の比率が 63%とこの数年間ほぼ同じで、即日検査の導入も普及が進み定着する一方、通常検査と即日検査の共存状態がほぼ平衡に達しているものと思われる。また、通常検査のみを実施している保健所(37%)においても、夜間、土日検査等受検者に利便性の高い時間帯の検査を実施している保健所が 13%あり、平日昼間の通常検査を実施している保健所は全体の 26%のみであった。しかしながら、即日検査の導入に関しては地域的な偏りもみられ、また、エイズ動向委員会の発表している速報値では、平成 22 年の新規の HIV 感染者報告数が 1,503、新規エイズ患者数 420 で新規報告総数に占める新規エイズ患者数の比率は 30％と依然高い状況にあるなど、保健所等の HIV 検査相談に求められている役割は極めて大きなものがあり、受検者増と検査相談の質の向上に向けてのさらなる努力が必要である。

また、本年は残念ながら HIV 検査結果の誤通知の発生が 1 件報告されている。この例では、誤通知の発生した原因が明確にされ、その後の防止体制に万全が期されている。HIV 検査相談は匿名で行っているため、一旦誤通知のような問題が発生するとその対象者の特定が困難なため不特定多数の人々に大きな影響を及ぼすことになるなどその社会的影響も非常に大きい。より受けやすくまた信頼性の高い HIV 検査相談体制の確立に向けてさらなる努力が求められている。

謝辞

保健所の様々な業務で忙しい中、アンケート調査にご協力頂いた全国の保健所等関係者の皆様方に深く感謝致します。

図1

保健所等におけるHIV検査体制に関する全国調査の結果　（2011年3月5日）

HIV検査相談研究班

保健所アンケート　回答数（2011.3. 5現在）　488/ 586箇所（83%）

2010年にHIV検査を実施した保健所　487/ 488箇所（99.8%）

2009年に陽性結果のあった保健所　118/ 487箇所（24%）

陽性件数　241/ 89, 997（陽性率 0.27%）

陽性結果を伝えられた件数→　214/ 241（89%）

受診したことを把握できた件数→　176 / 241（73%）

発生同行調査の報告を行った感染者数件数→　191/ 241（79%）

（陰性結果を伝えられた件数 → 87705 / 89997（98%）

図2

保健所等におけるHIV検査体制に関する全国調査の結果

（2011年3月5日）

HIV検査相談研究班

特設検査機関アンケート　回答数（2011.3.5現在）　19/ 19箇所　（100%）

2010年にHIV陽性結果のあった特設検査機関　16/ 19箇所

陽性件数　163 / 22894（陽性率 0.7%）

陽性結果を伝えられた件数→　**158**/ 163（**97%**）

受診したことを把握できた件数→　**129**/ 163（**79%**）

（陰性結果を伝えられた件数→　22262/ 22731（98%）

図3

（2010年）

保健所HIV検査
― 即日検査と通常検査 ―

（487件中）

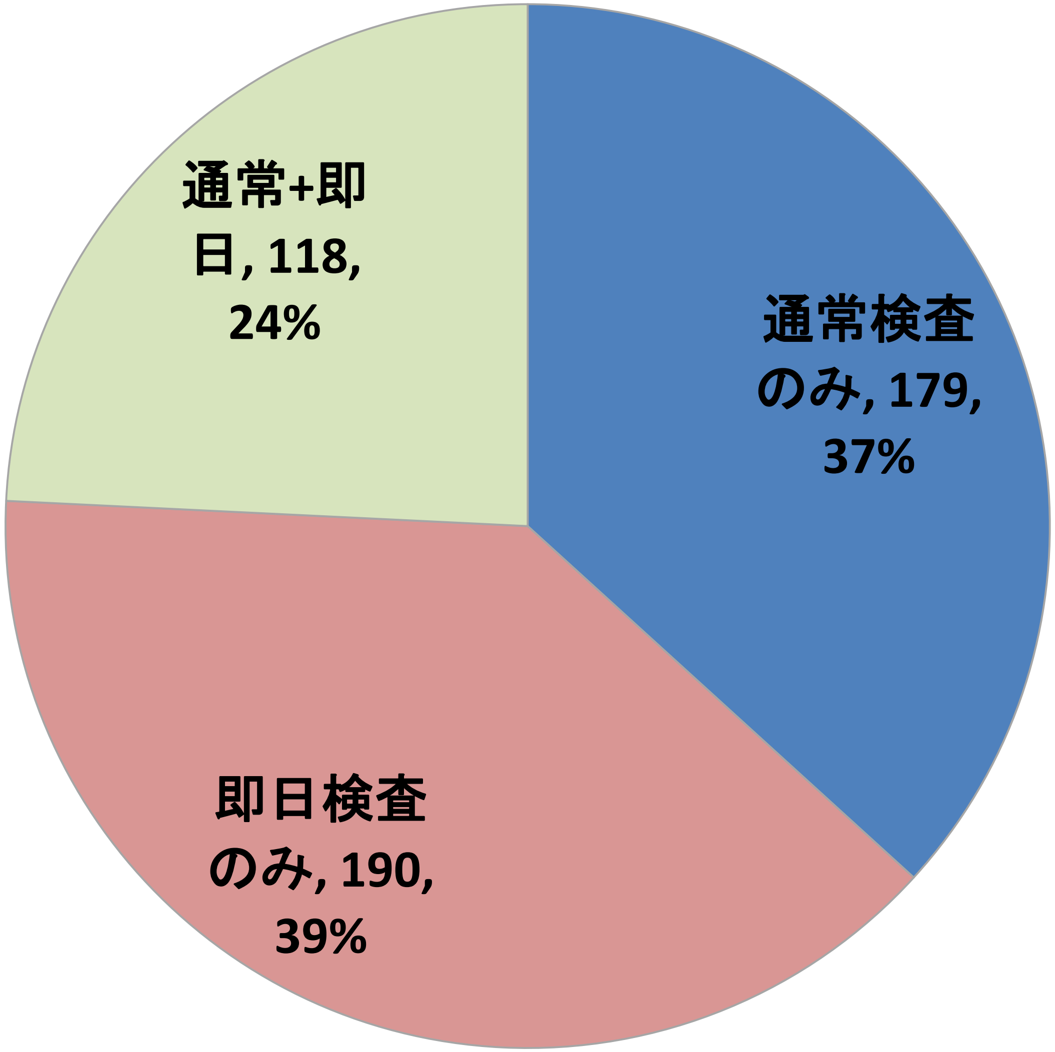


図4

（2010年）

保健所HIV検査
― 平日、夜間、土曜・日曜 ―

（487件中）

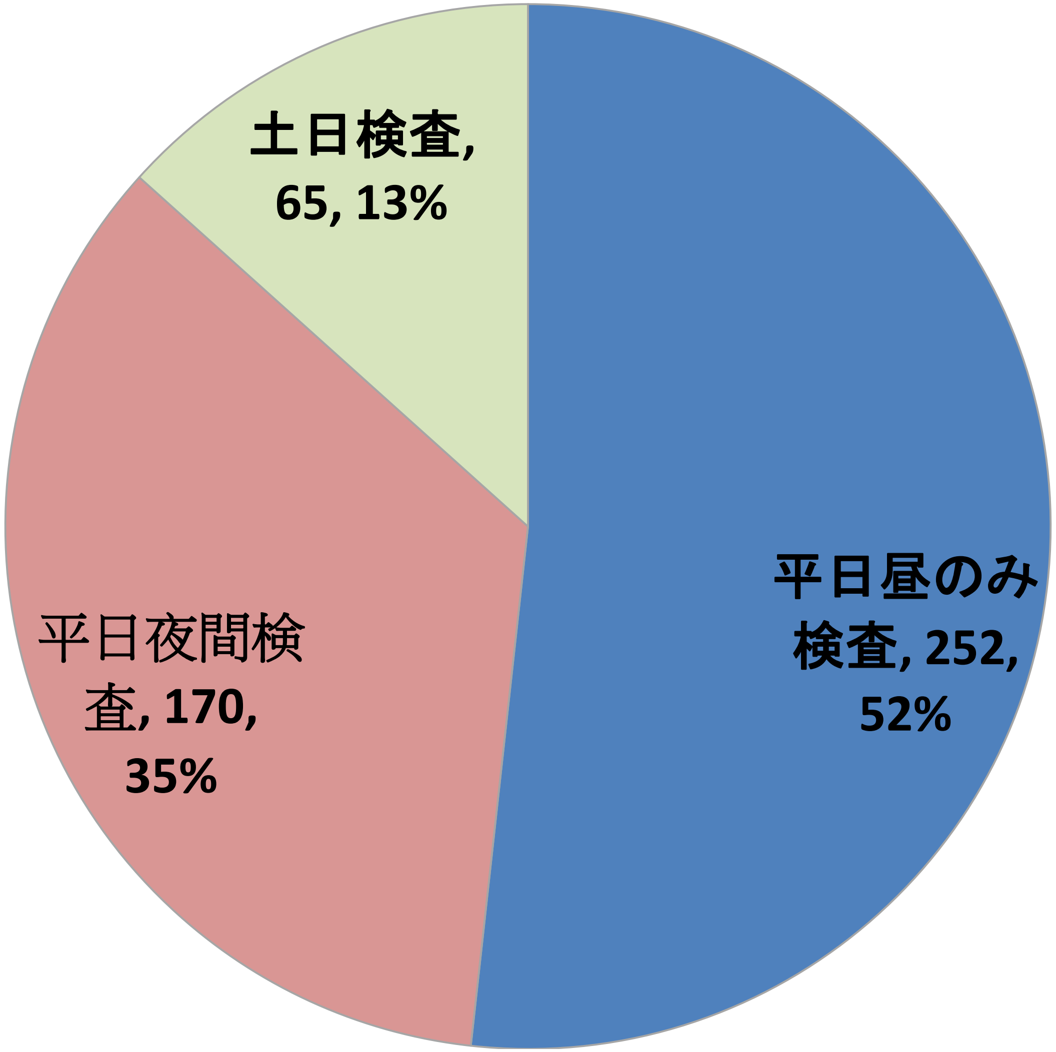


図5

(2010年)

各種HIV検査の実施状況 （保健所数の割合）

（487件中）

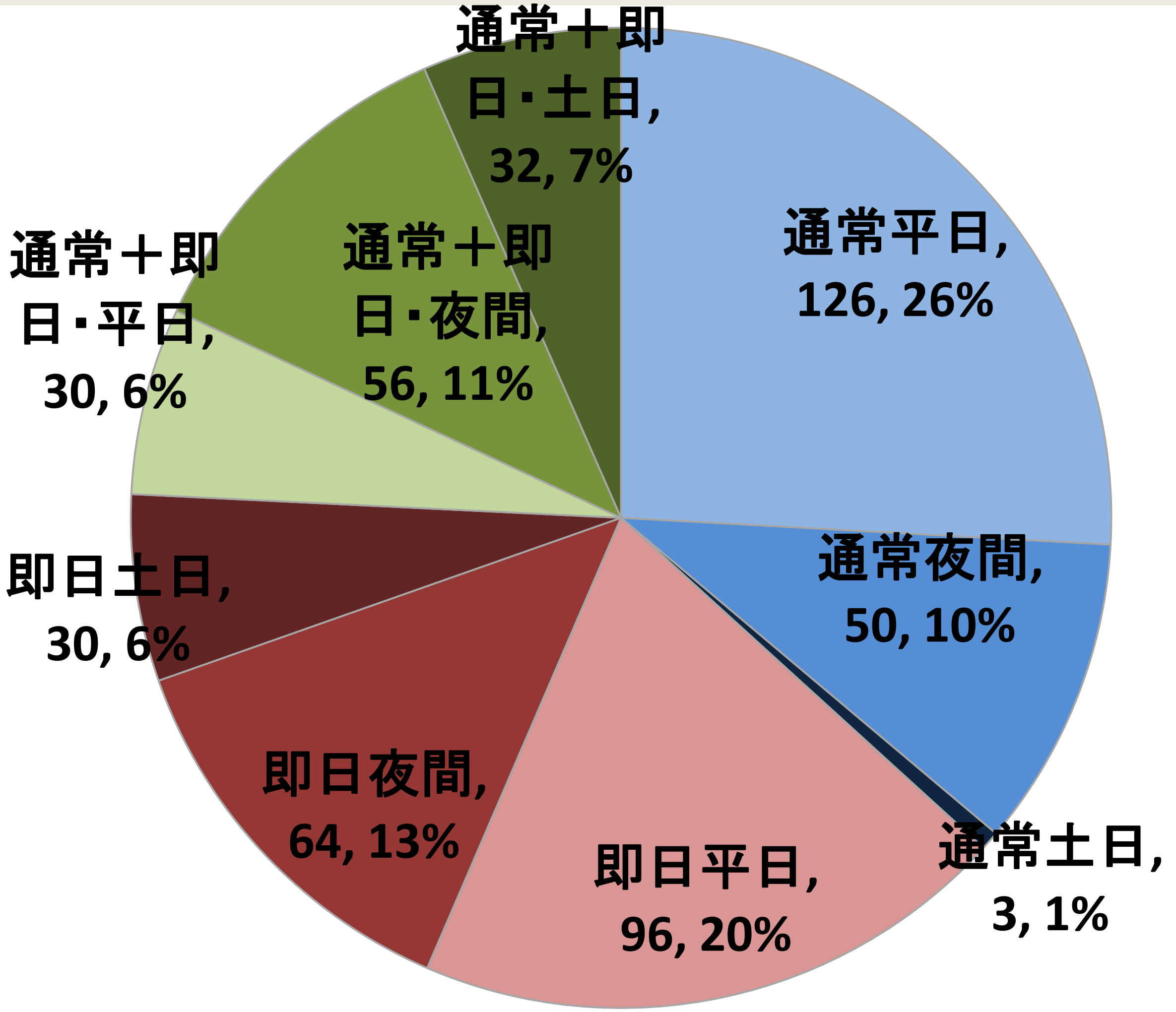


図6

（2010年）

各種HIV検査の受検者数（%）

（n=89,997）

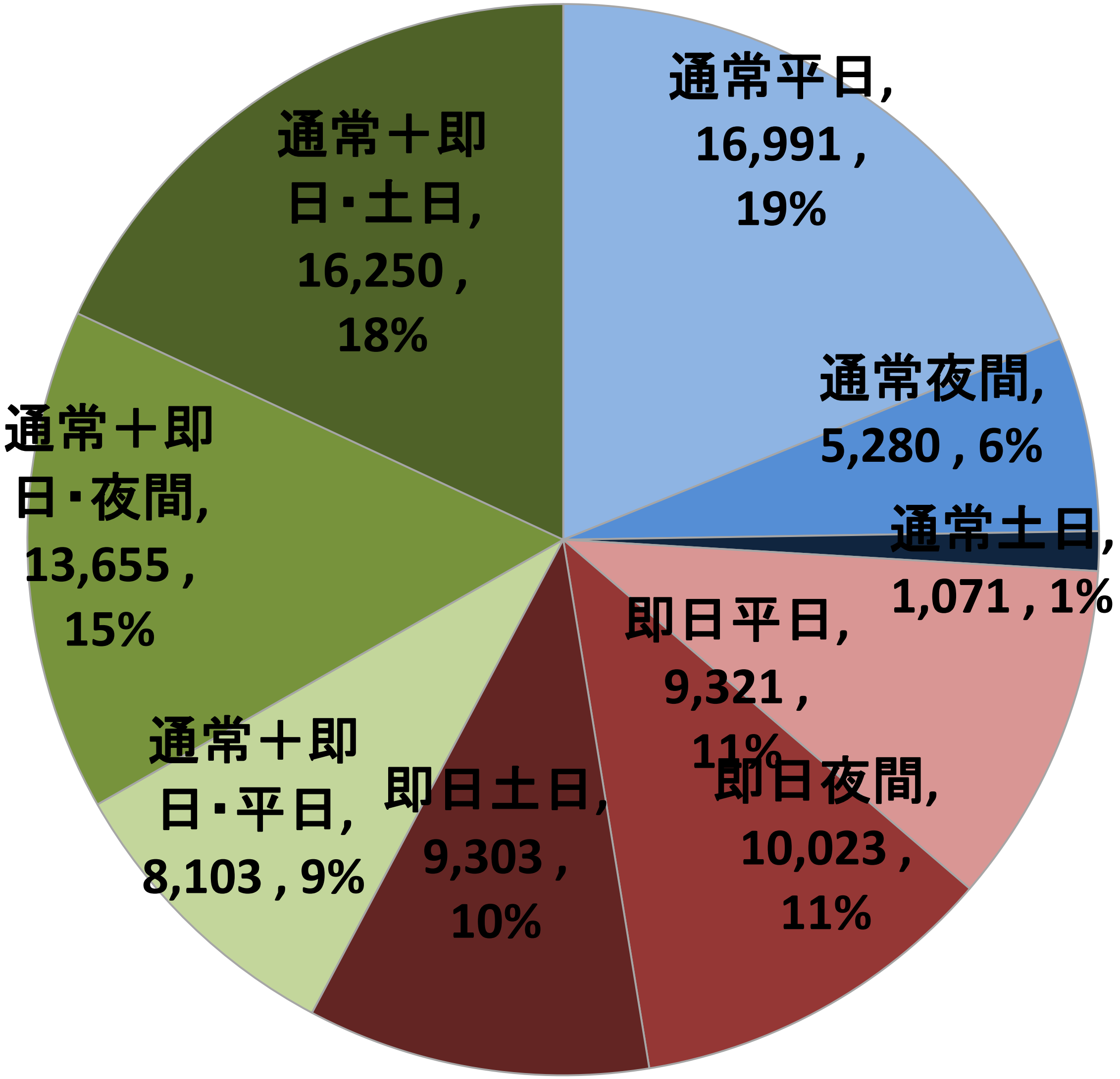


図7

（2009年）

各種HIV検査の陽性者数（%）

（n=234）

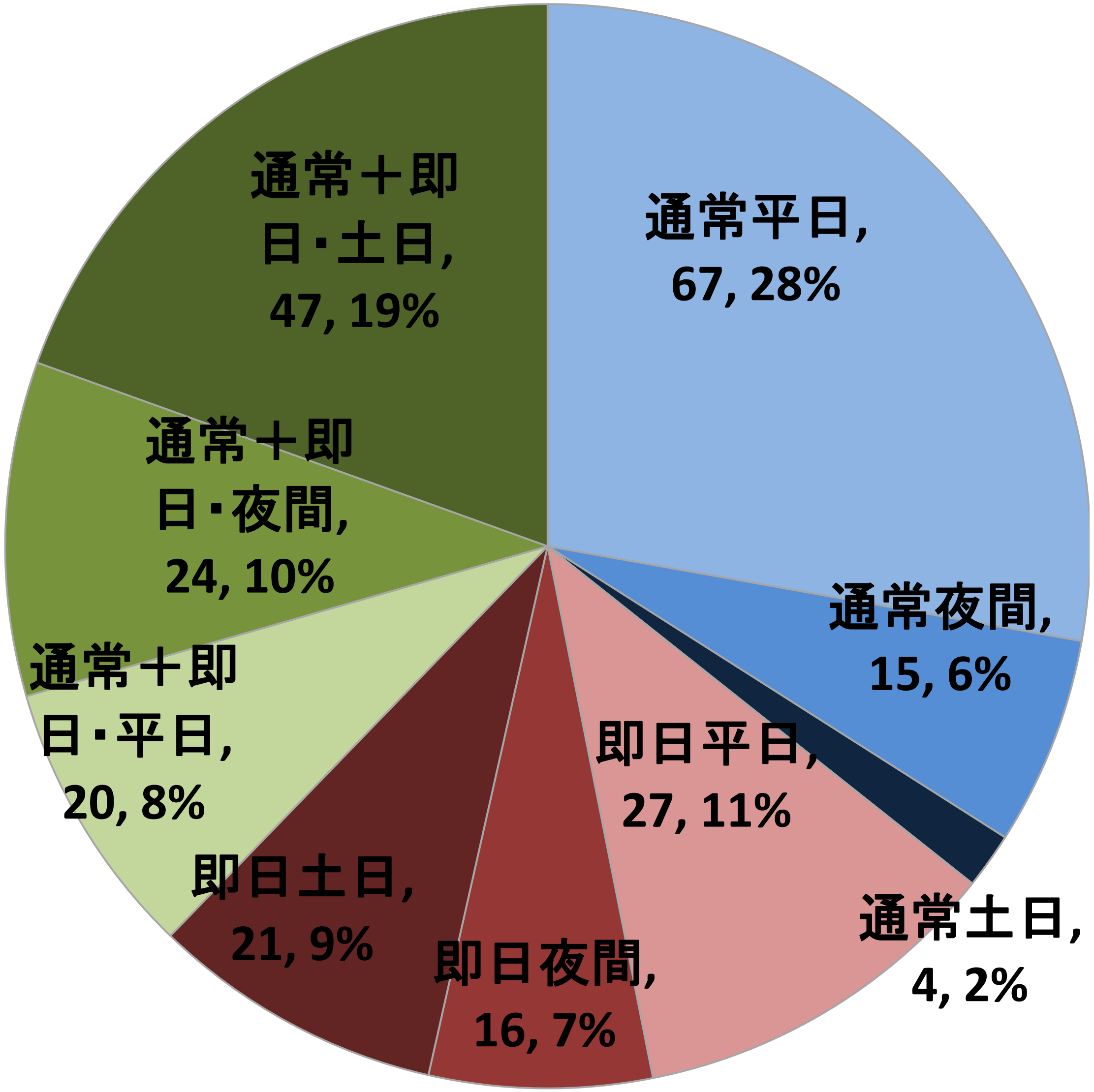


図8

各種HIV検査の実施状況

（2010年）

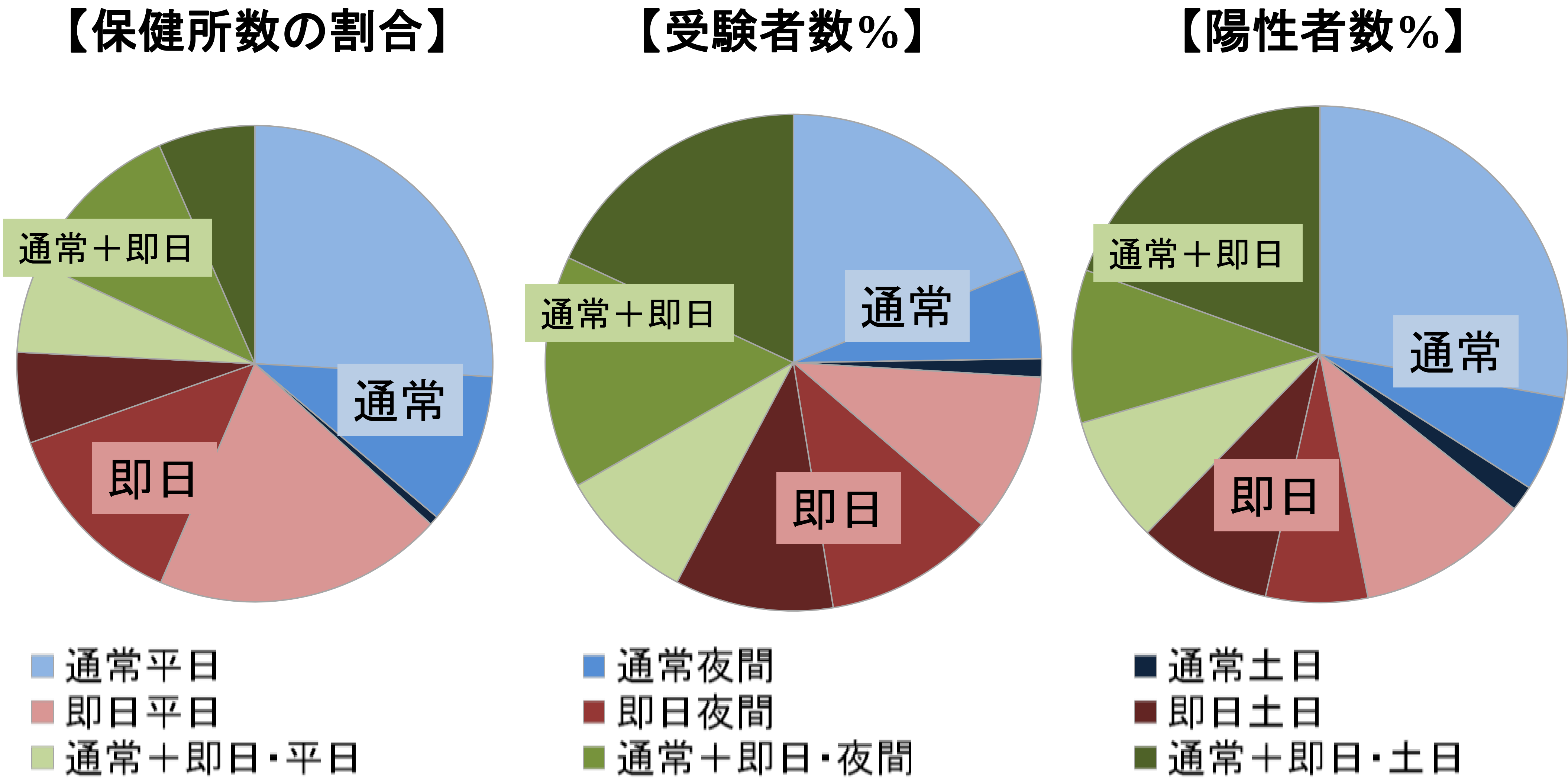


図9

(2010年)

一施設当りの検査人数
()内は陽性者数

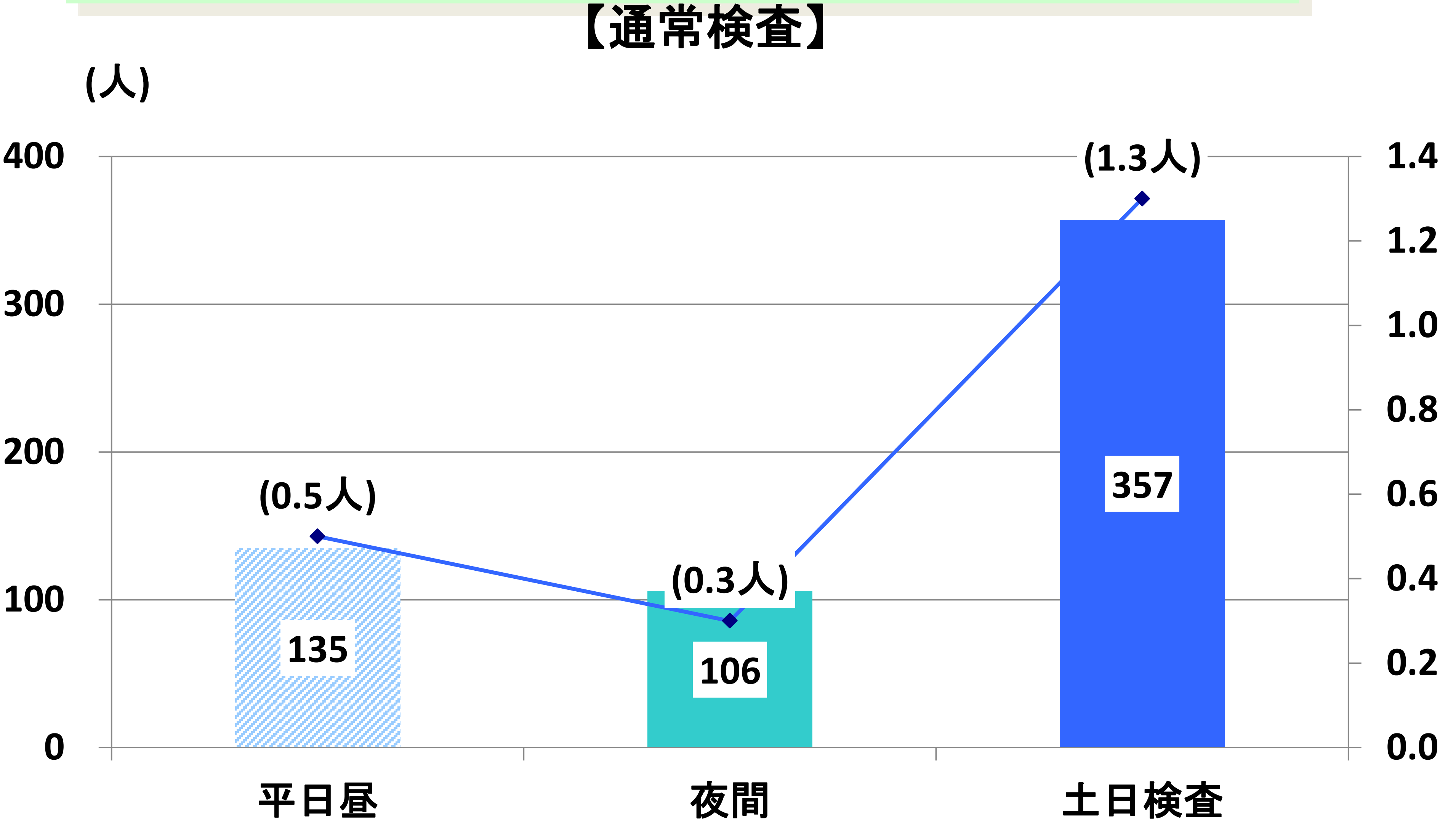


図10

(2010年)

一施設当りの検査人数 ()内は陽性者数

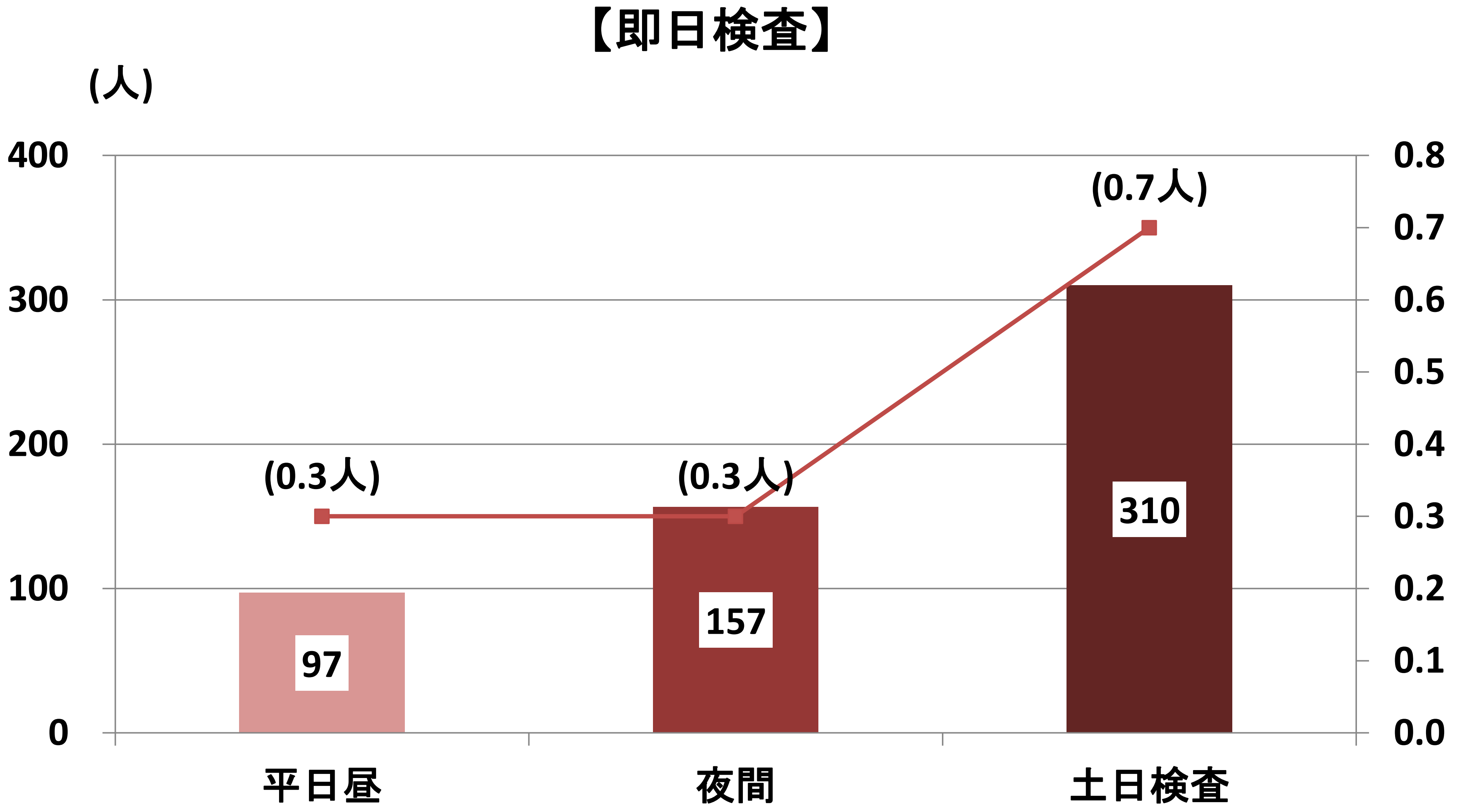


図11

一施設当りの検査人数 ( )内は陽性者数

(2009年)

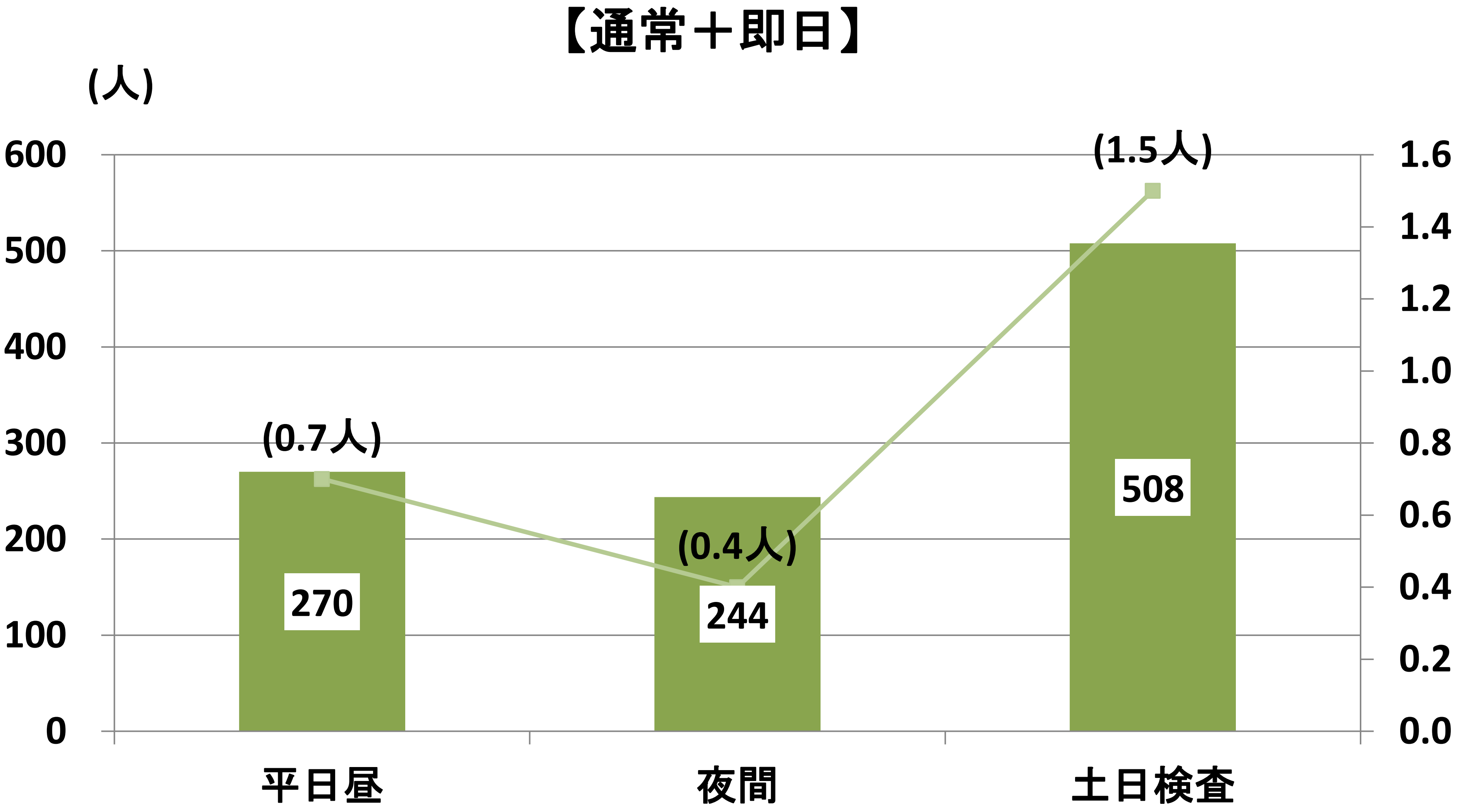


図12

(2010年)

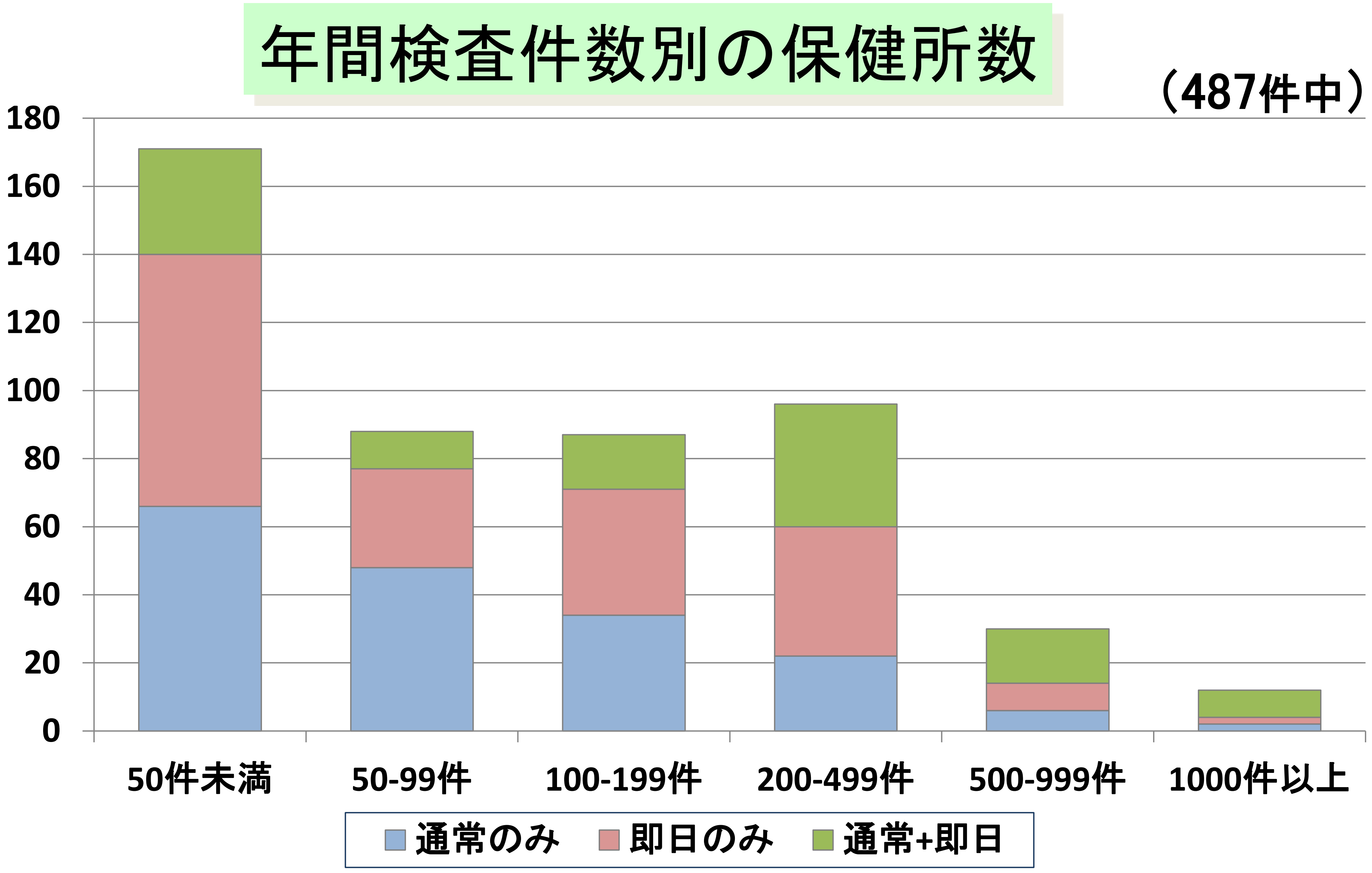
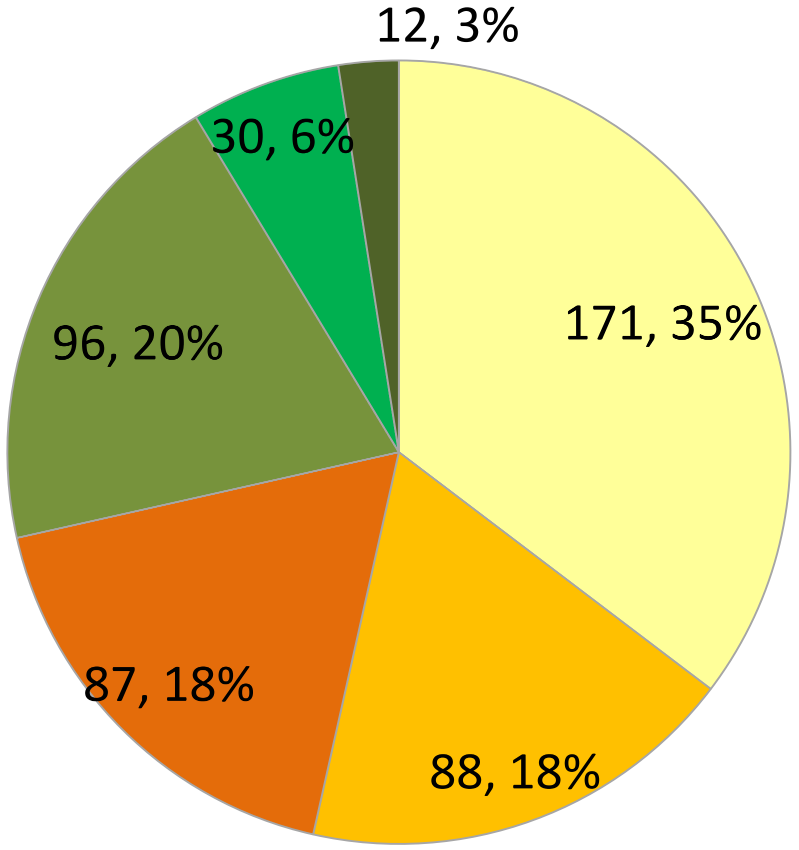

年間検査件数別の保健所数
(487件中)
180
160
140
120
100
80
60
40
20
0
50件未満
50-99件
100-199件
200-499件
500-999件
1000件以上
通常のみ
即日のみ
通常+即日

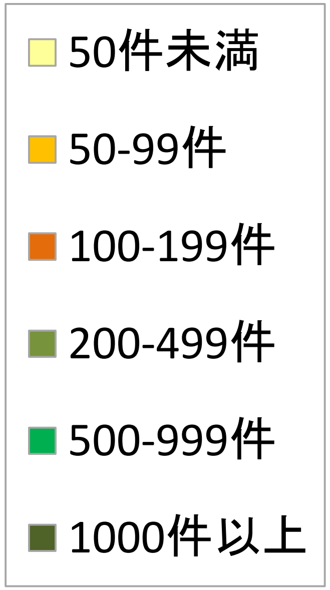
図13

年間検査件数別の保健所数と検査数の割合

（2010年）

【保健所数】





【検査人数】

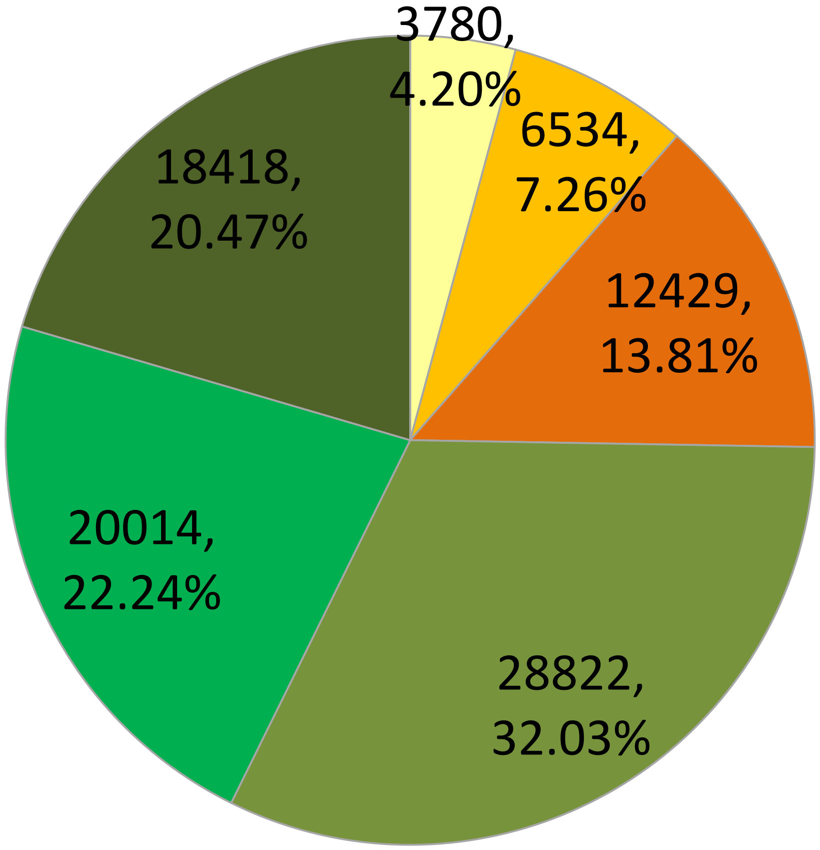


図14

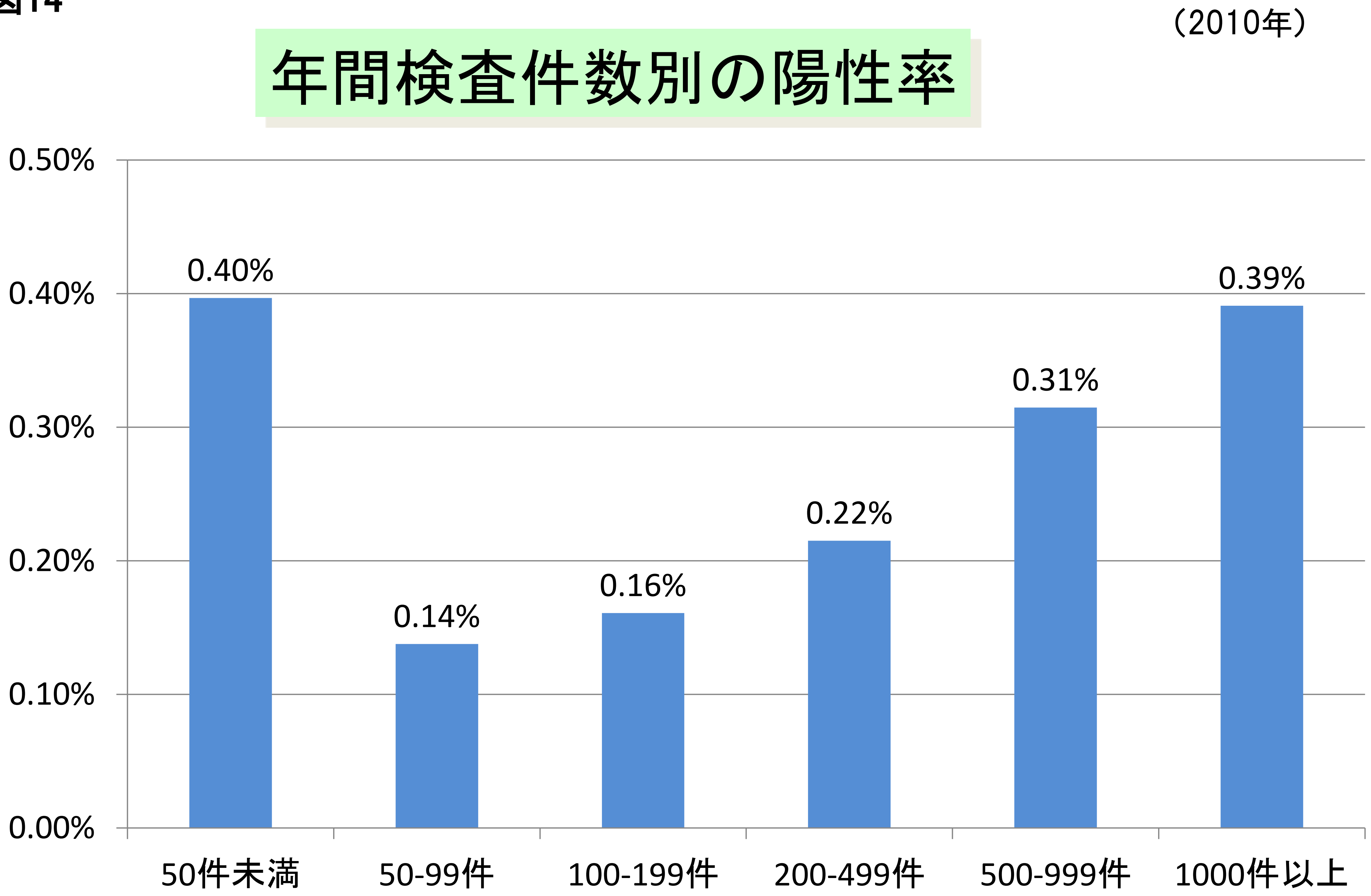

（2010年）
年間検査件数別の陽性率
0.50%
0.40%
0.30%
0.20%
0.10%
0.00%
0.40%
0.14%
0.16%
0.22%
0.31%
0.39%
50件未満
50-99件
100-199件
200-499件
500-999件
1000件以上

図15

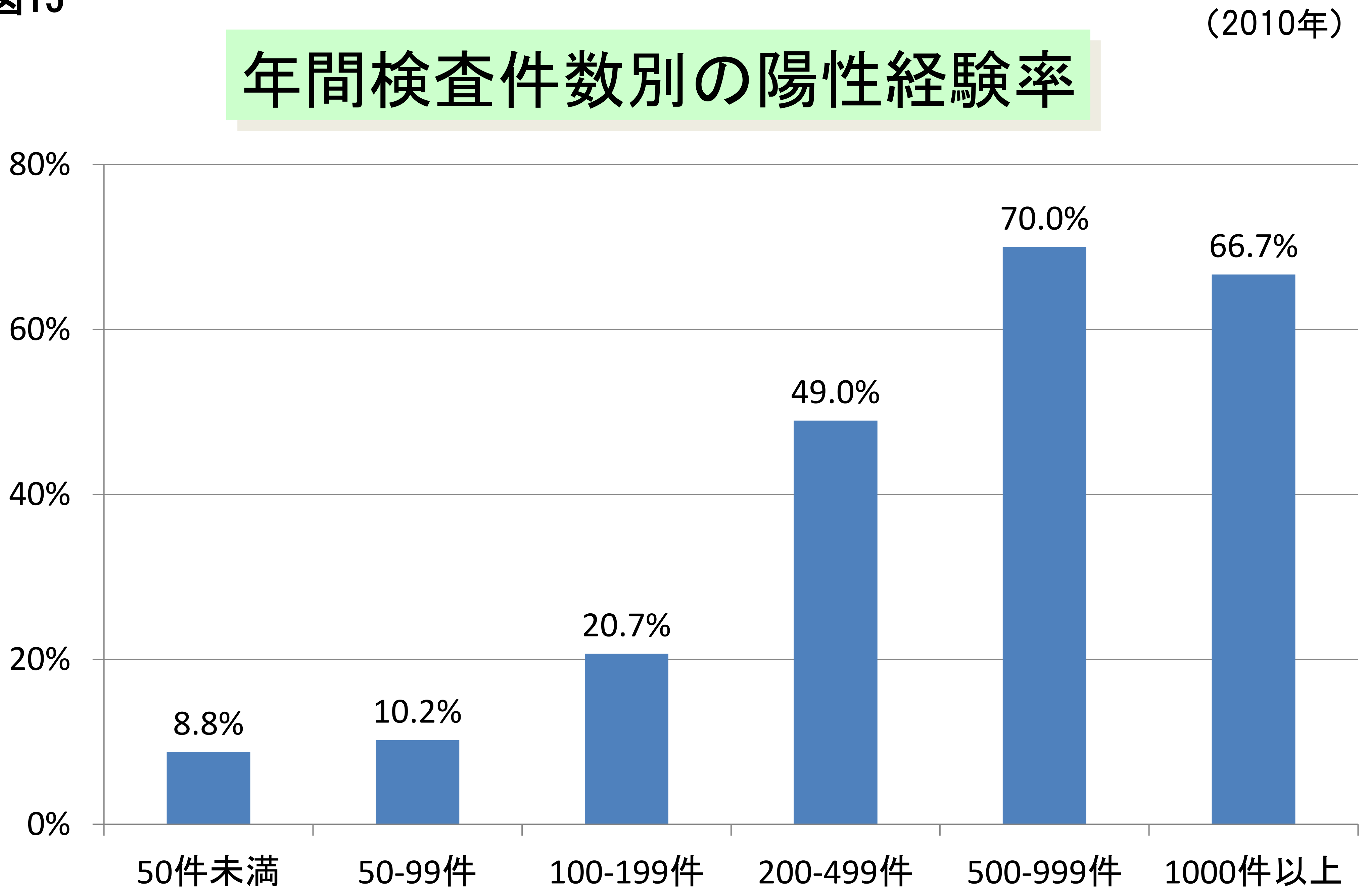

（2010年）
年間検査件数別の陽性経験率
80%
60%
40%
20%
0%
8.8%
10.2%
20.7%
49.0%
70.0%
66.7%
50件未満
50-99件
100-199件
200-499件
500-999件
1000件以上

図16

(2010年)

年間検査件数別の受診把握率

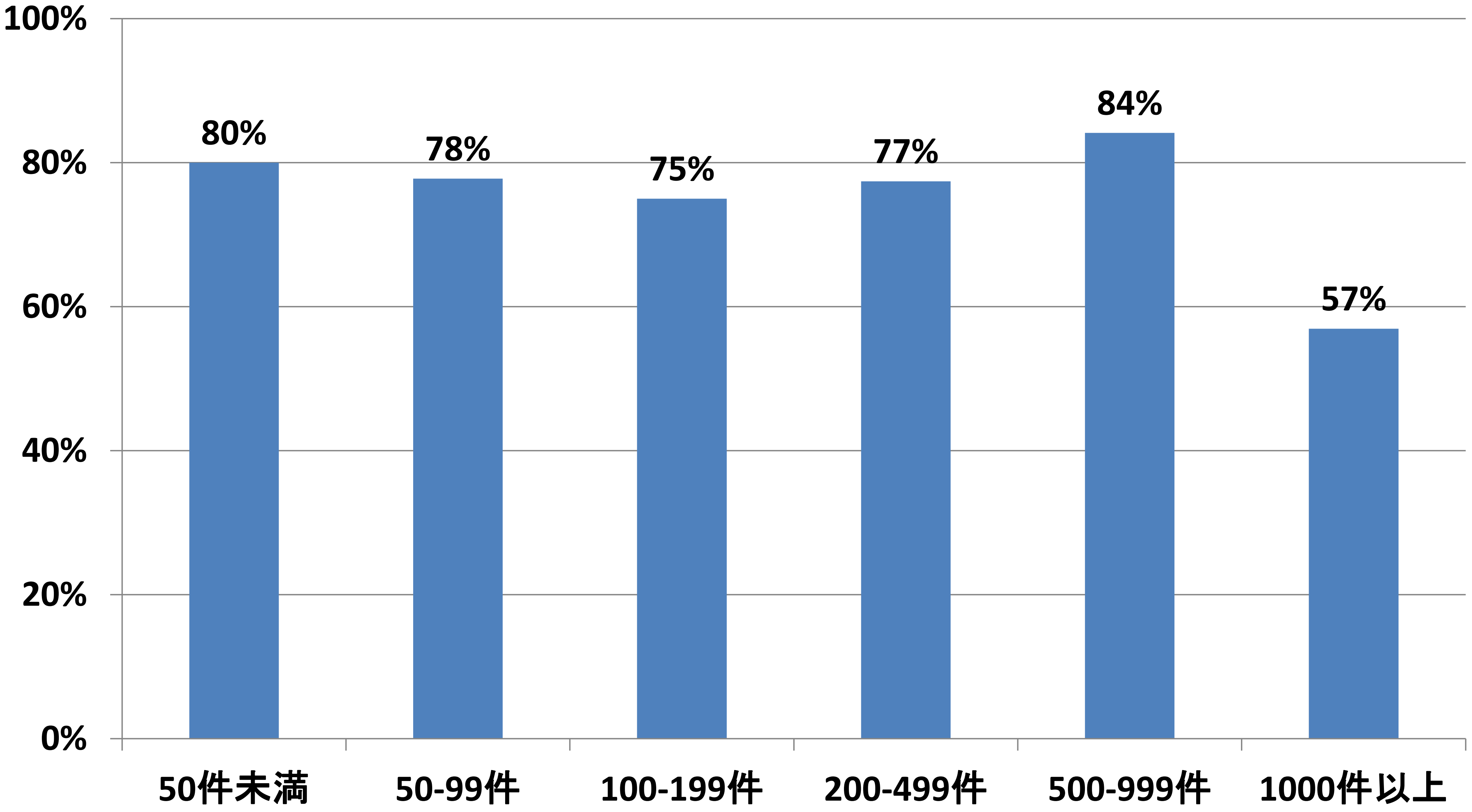


図17

(2010年)

HIV検査が予約制か否か

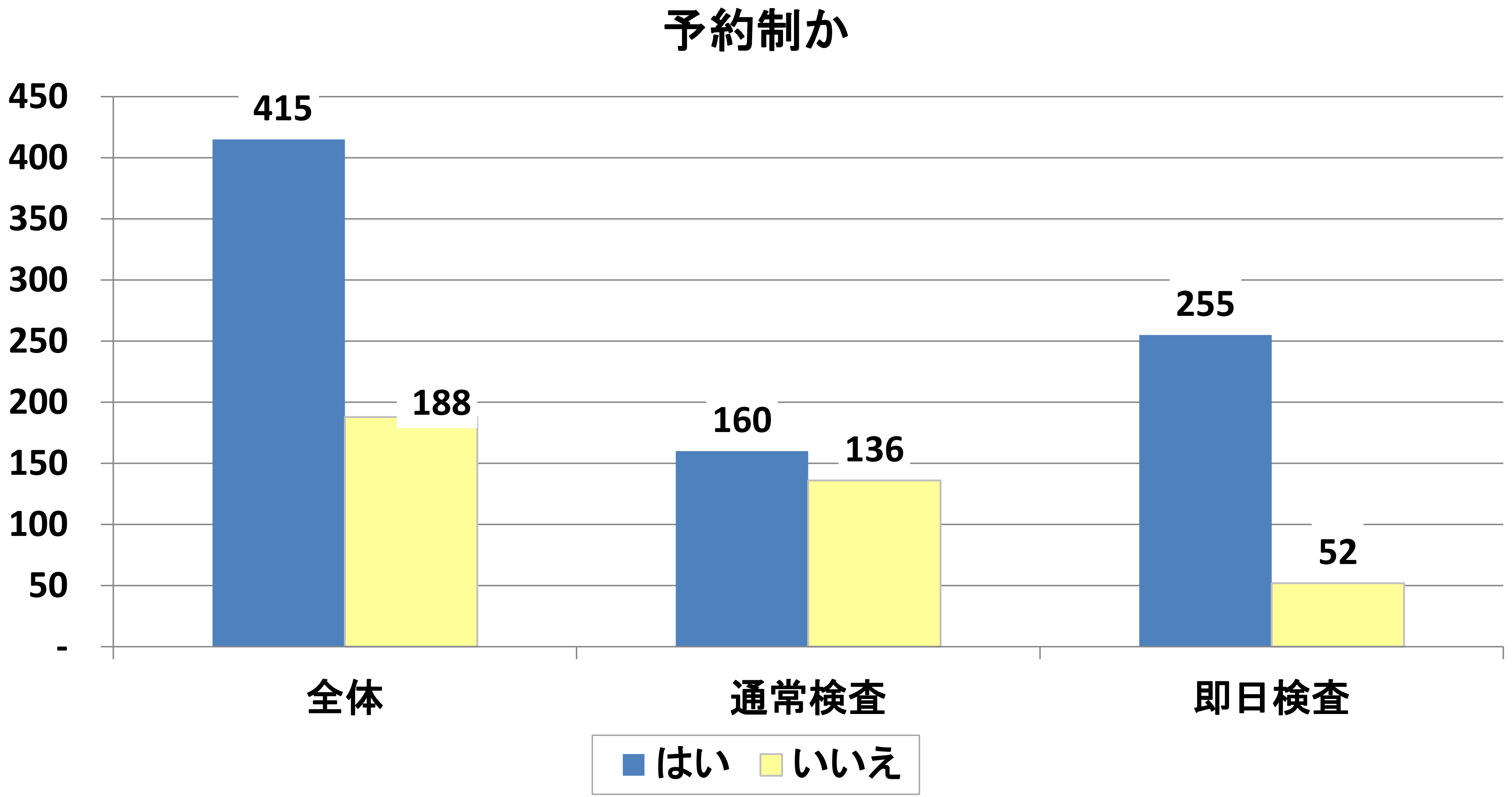


図18

(2010年)

HIV検査が予約制か否か

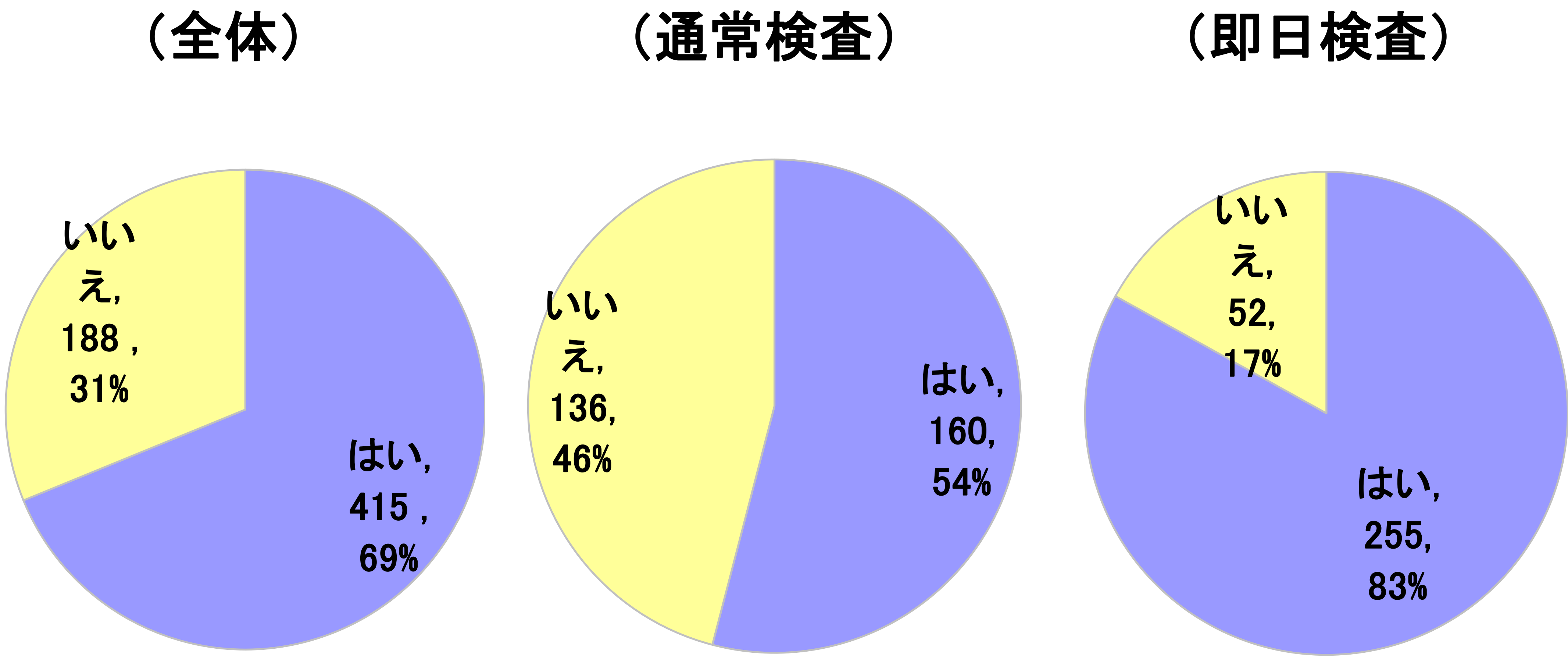


図19

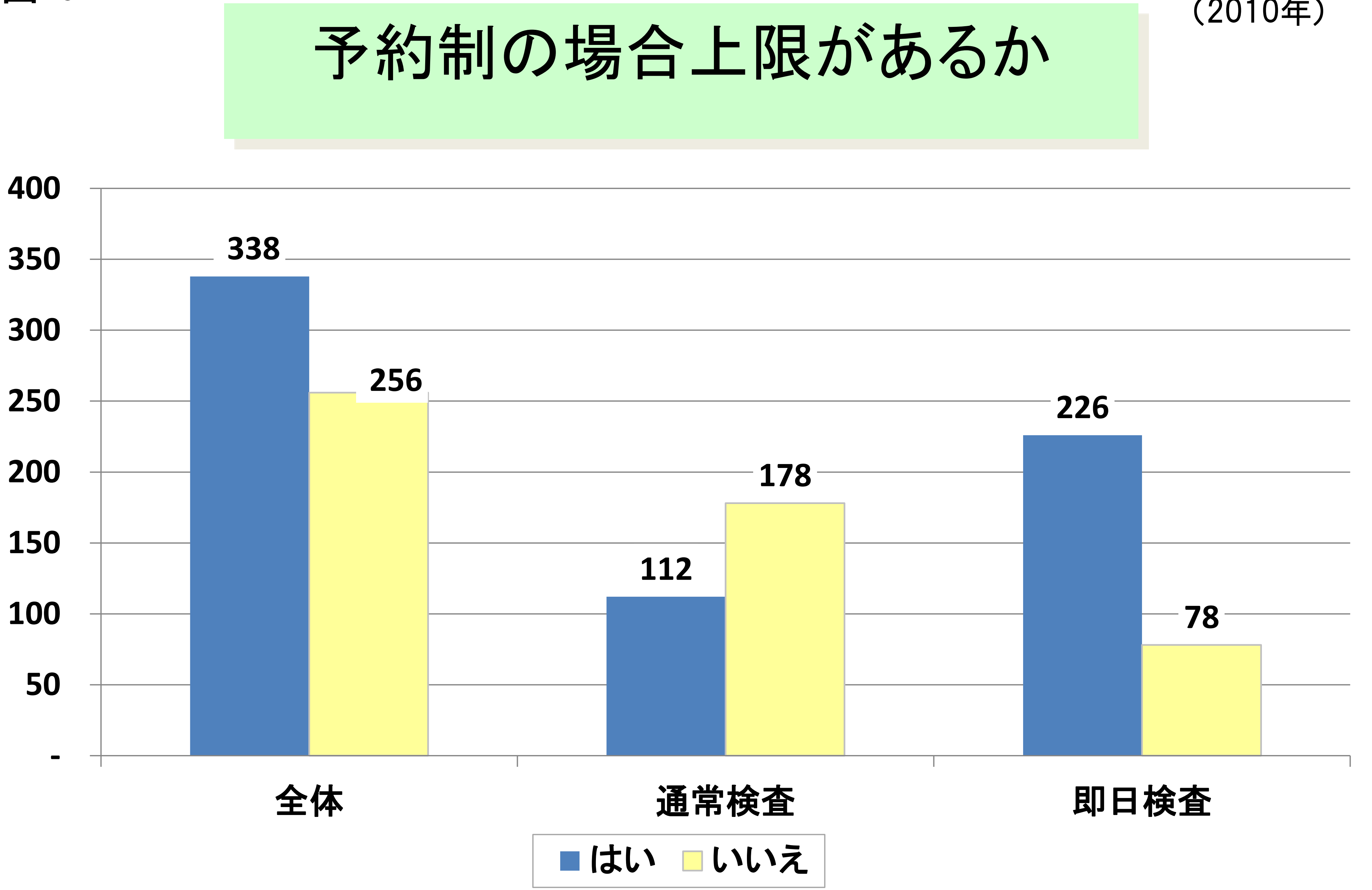

予約制の場合上限があるか
(2010年)
400
350
300
250
200
150
100
50
-
338
256
112
178
226
78
全体
通常検査
即日検査
はい
いいえ

図20

（2010年）

予約制の場合上限があるか

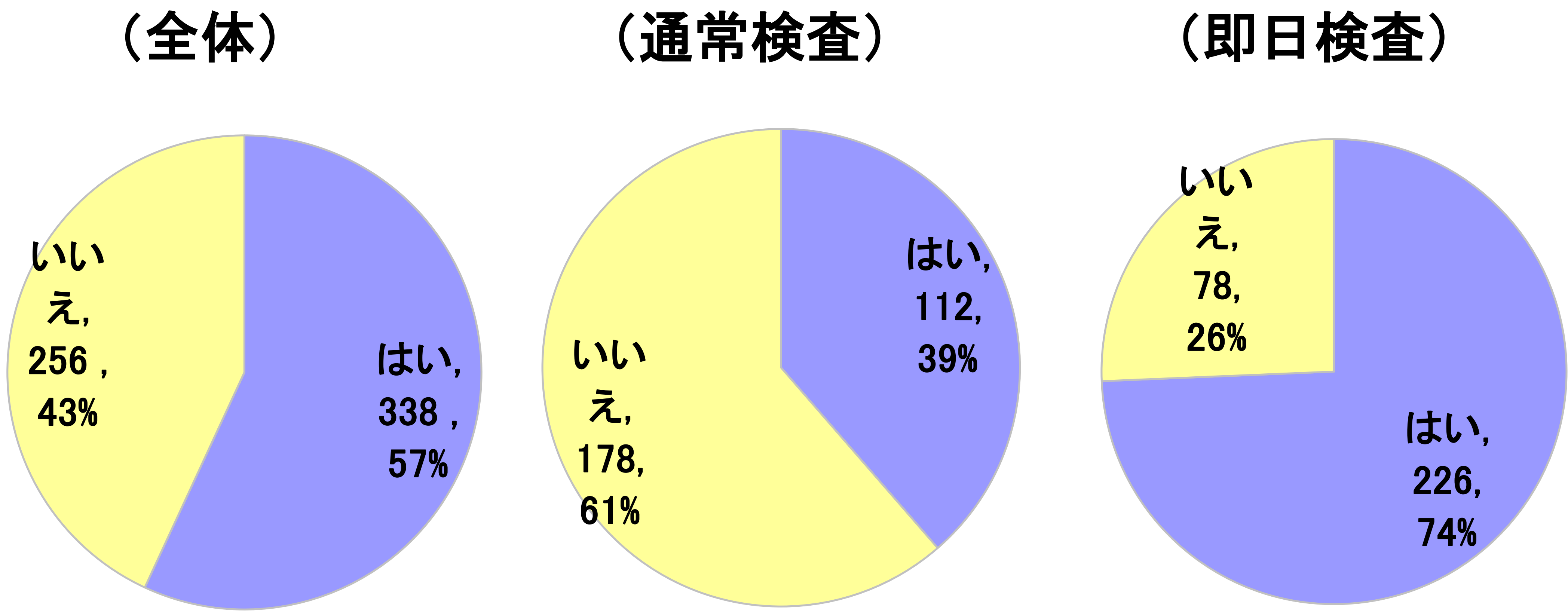


図21

保健所HIV検査

(2010年)

【 ～検査人数上限数～ 】

(通常検査)

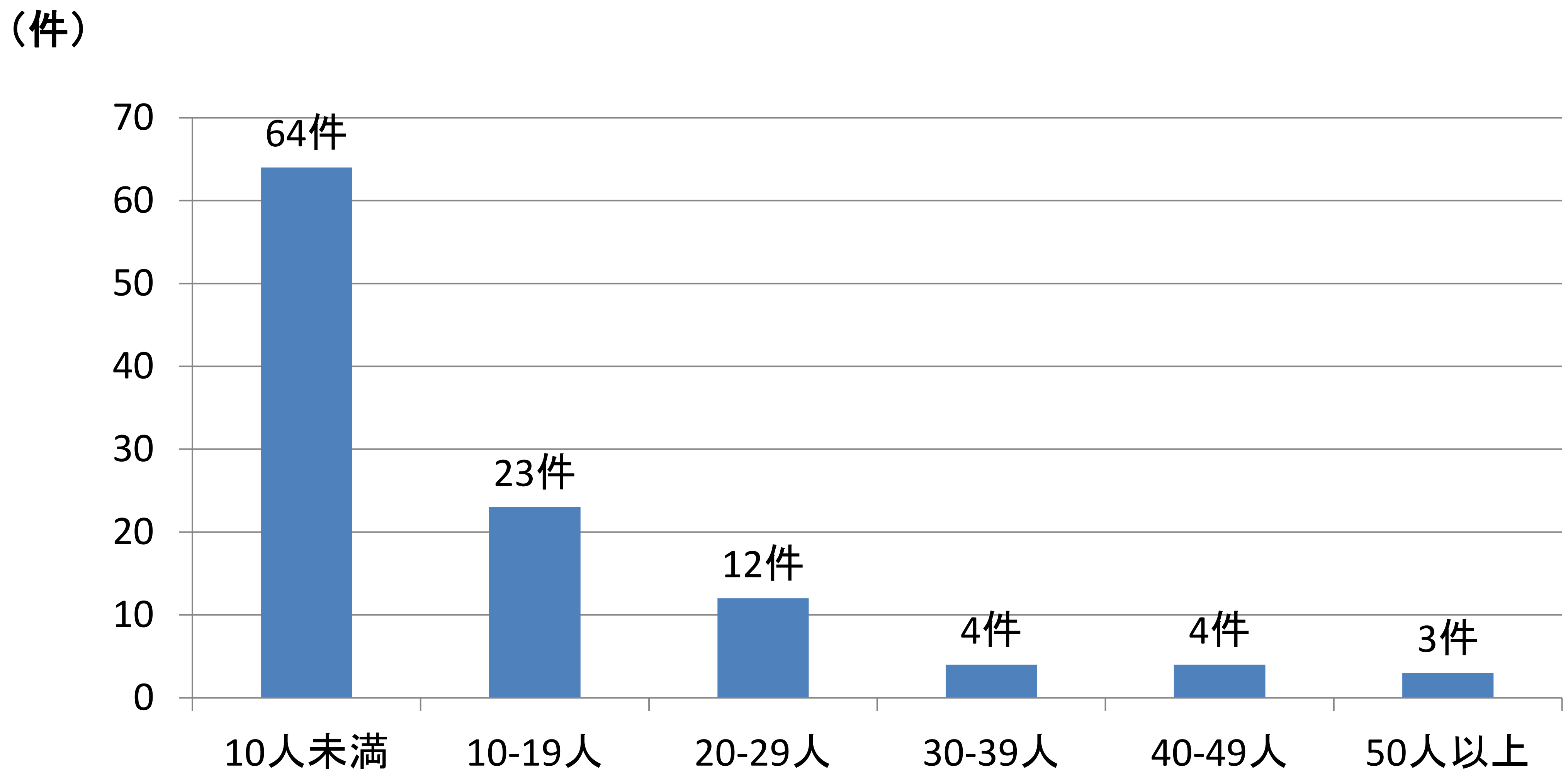


図22

保健所HIV検査
【 ～検査人数上限数～ 】

（2010年）

（即日検査）

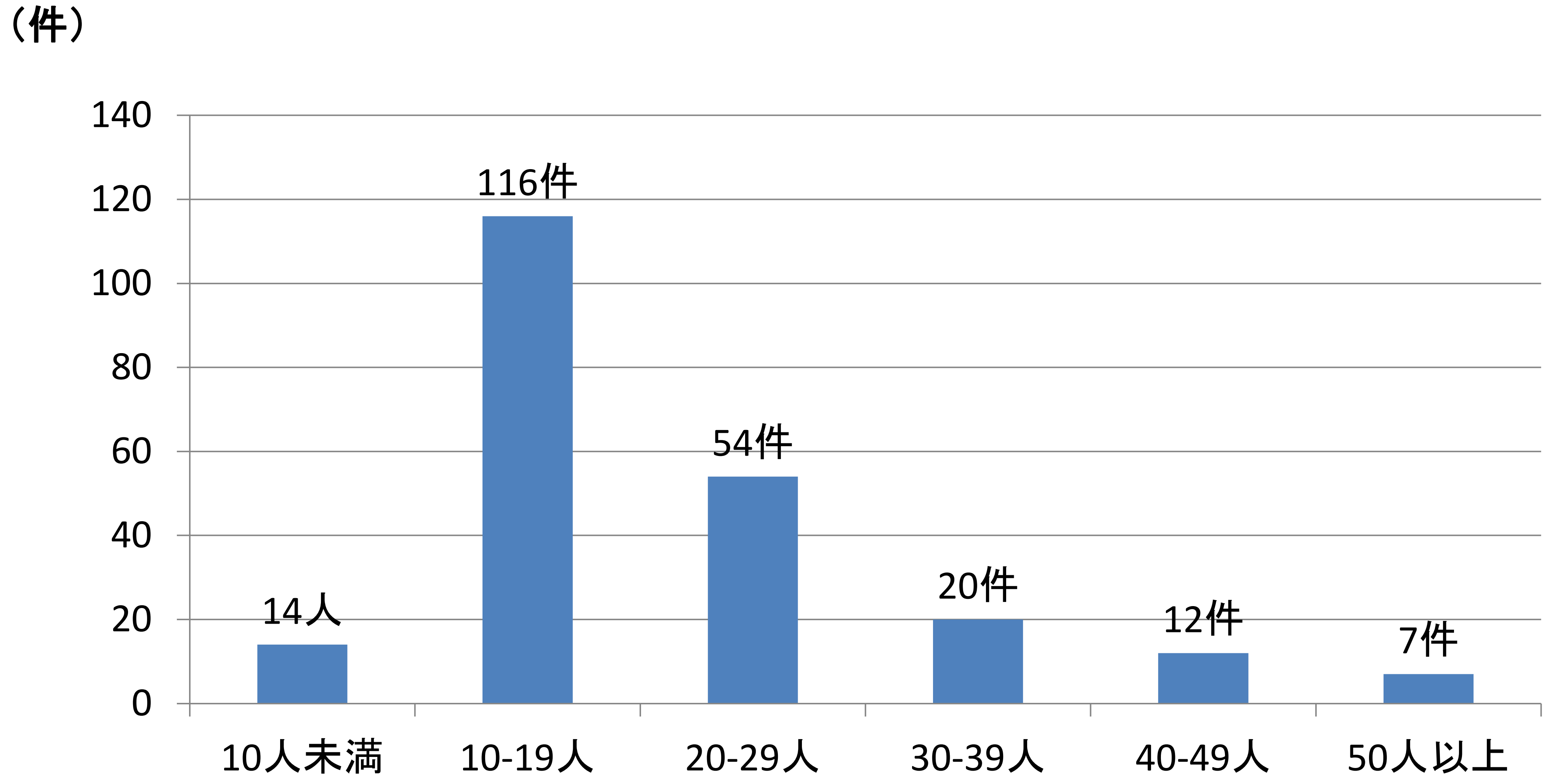


図23

受検者について把握している内容

（2010年）

(n=232)

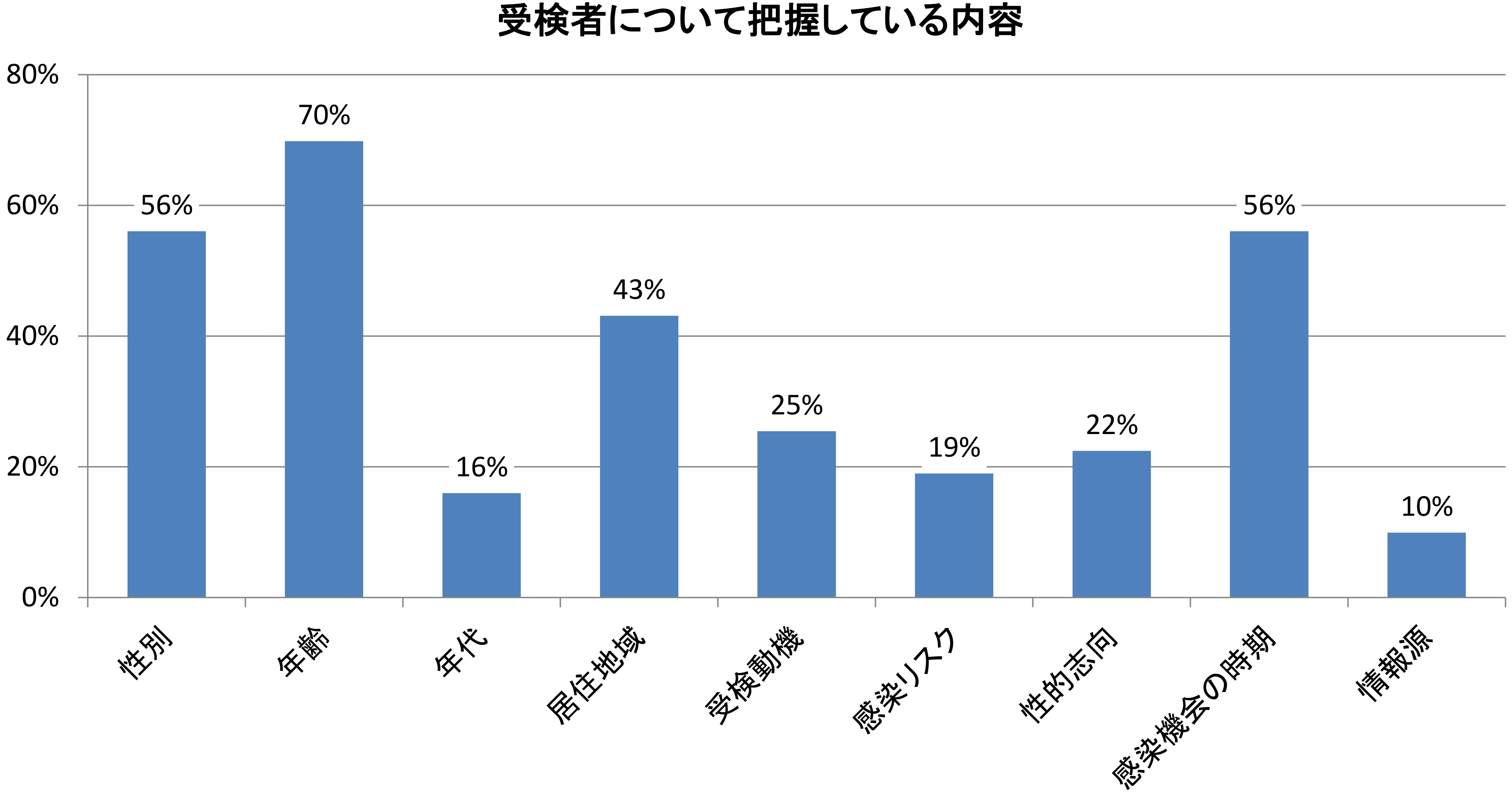


図24

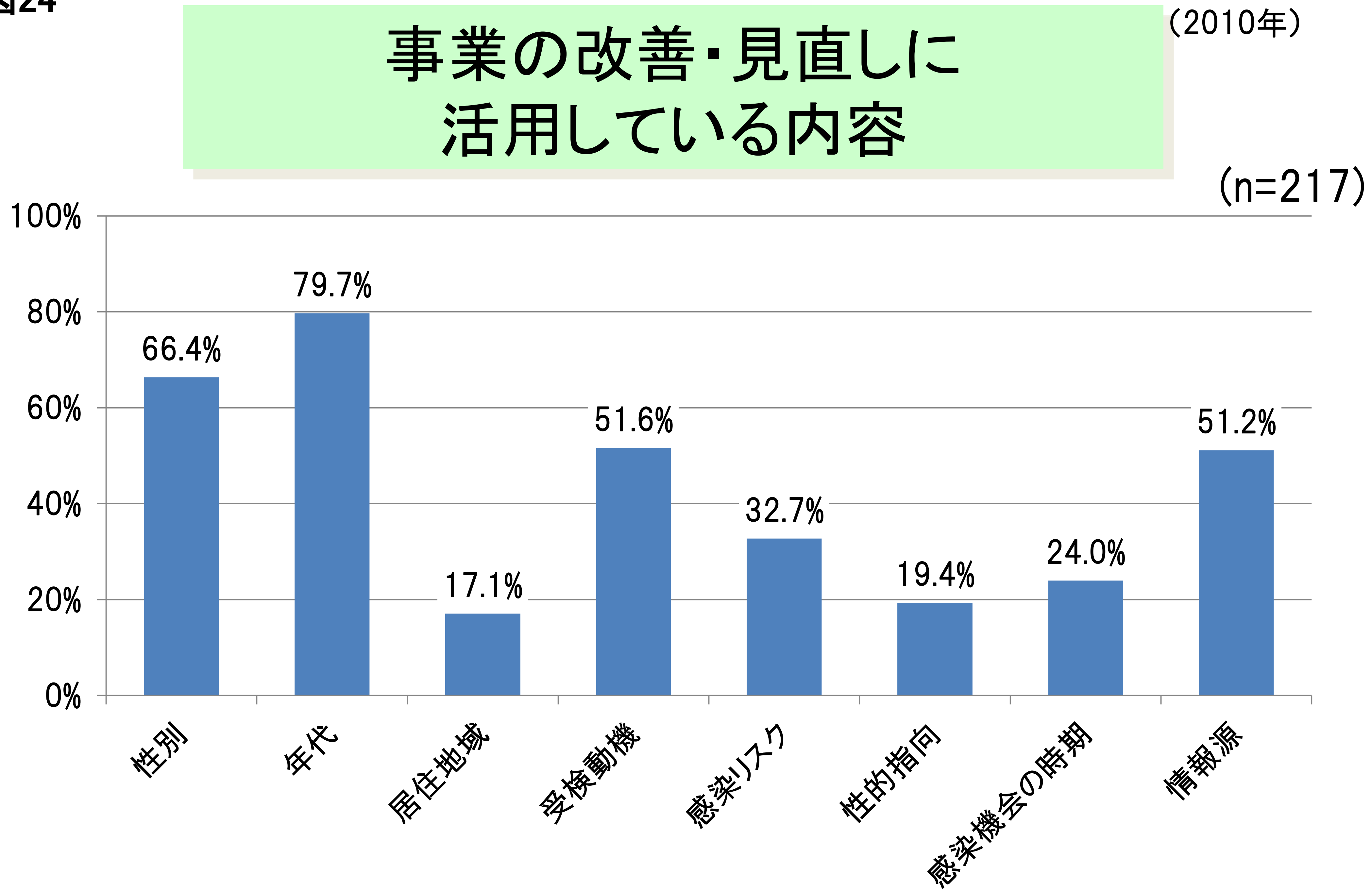

事業の改善・見直しに活用している内容
(2010年)
(n=217)
100%
80%
60%
40%
20%
0%
66.4%
79.7%
17.1%
51.6%
32.7%
19.4%
24.0%
51.2%
性別
年代
居住地域
受検動機
感染リスク
性的指向
感染機会の時期
情報源

図25

HIV以外の性感染症検査を行っているか

（2010年）

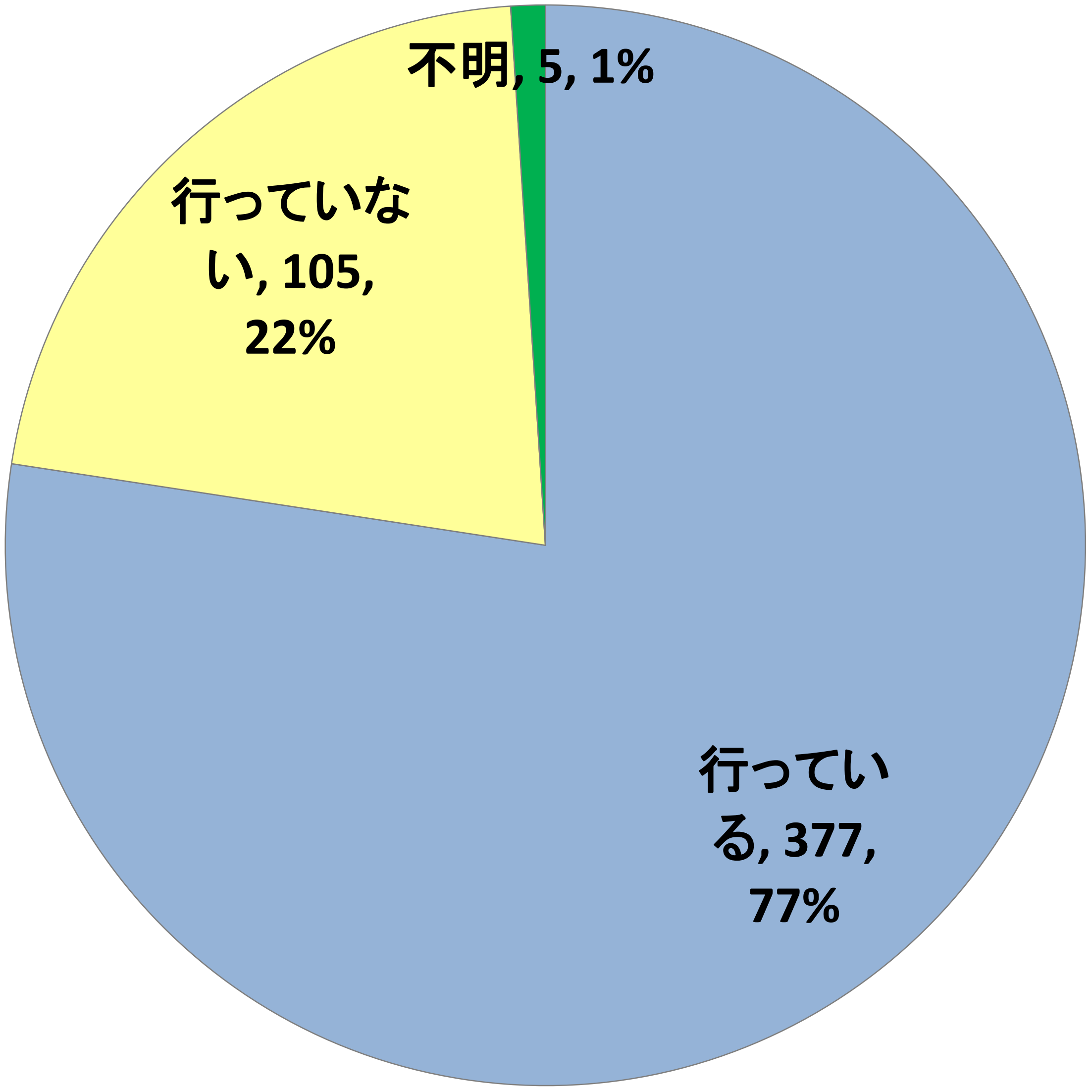


図26

HIV以外の性感染症検査を行っているか

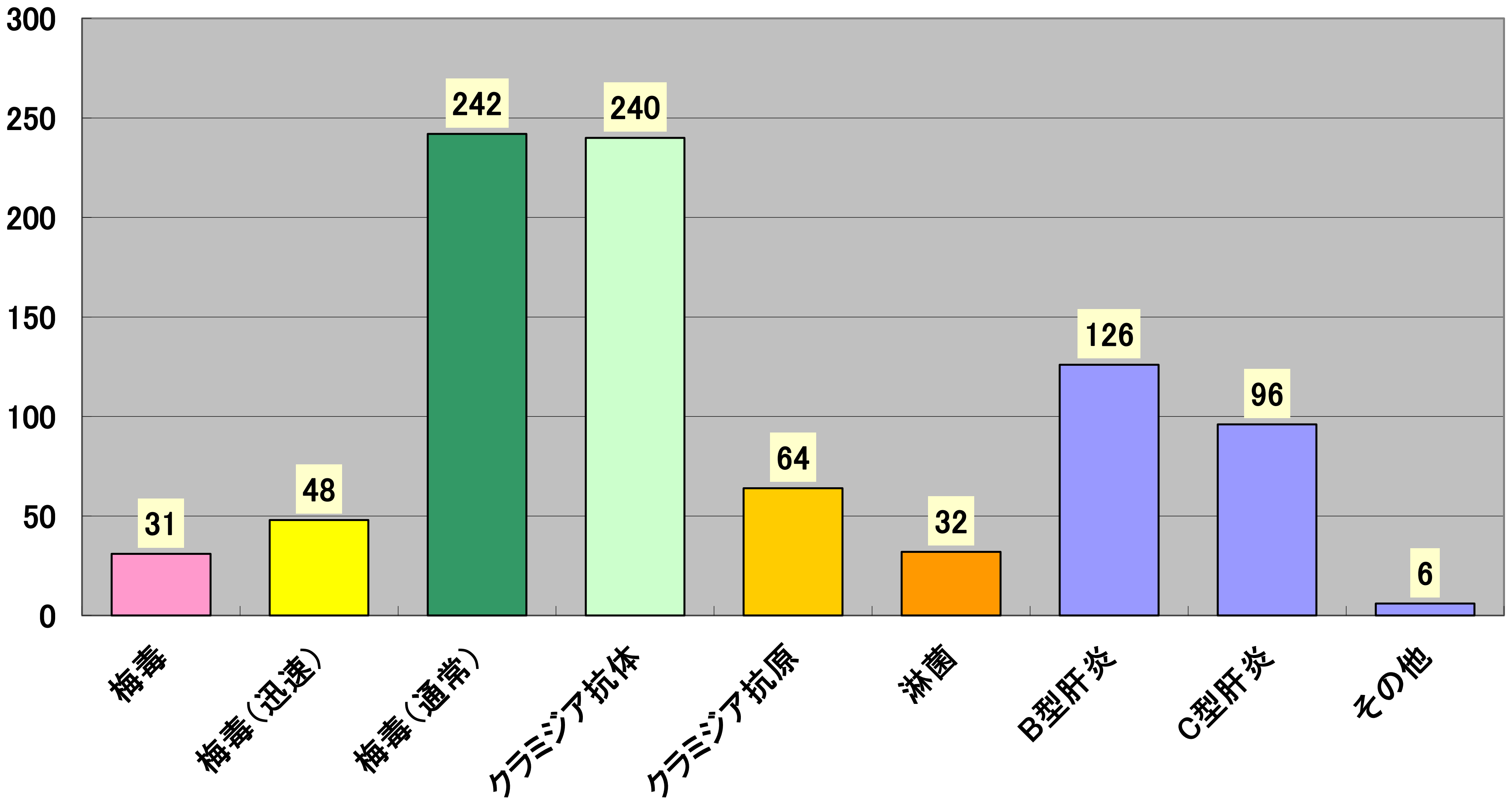


図27

確認検査で陽性の場合届出を行うか（全保健所）

（2010年）

（n=487）

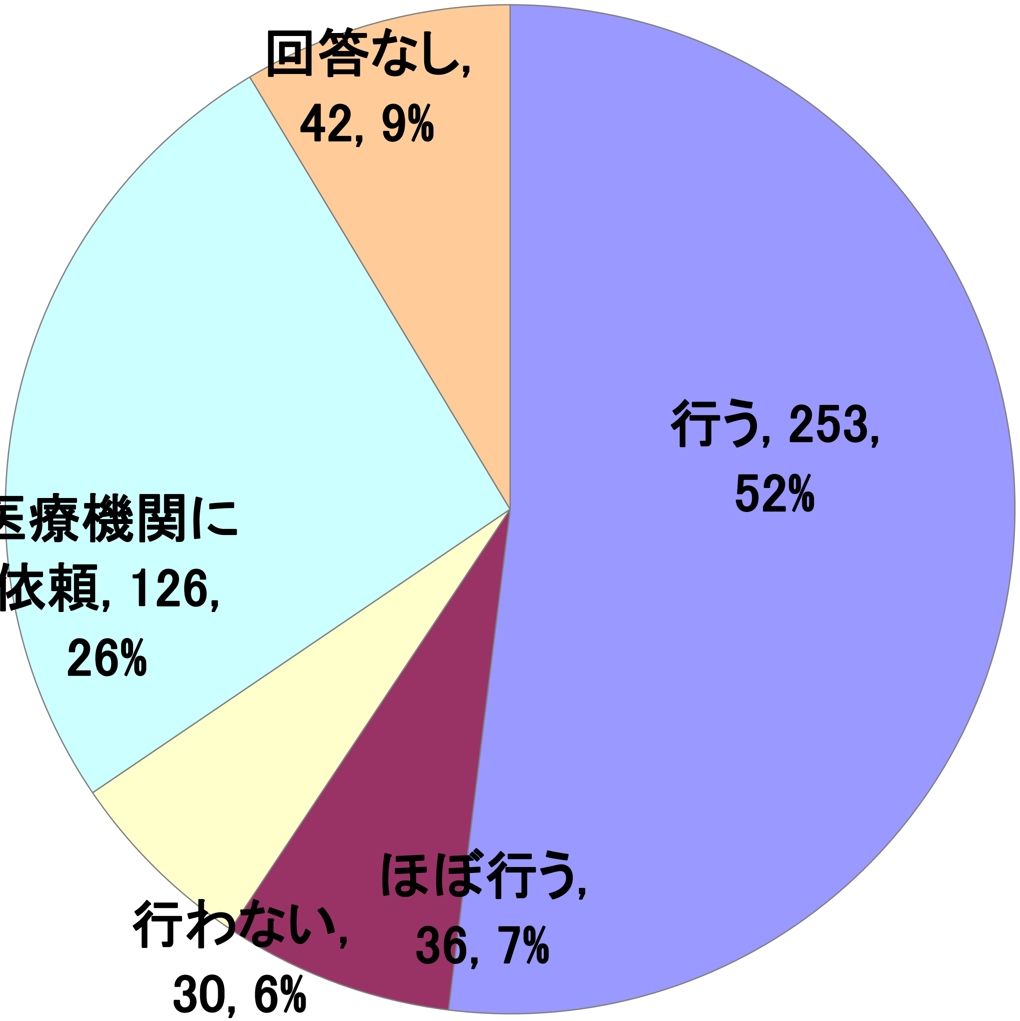


図28

確認検査で陽性の場合届出を行うか（陽性経験数）

（2010年）

（n=118）

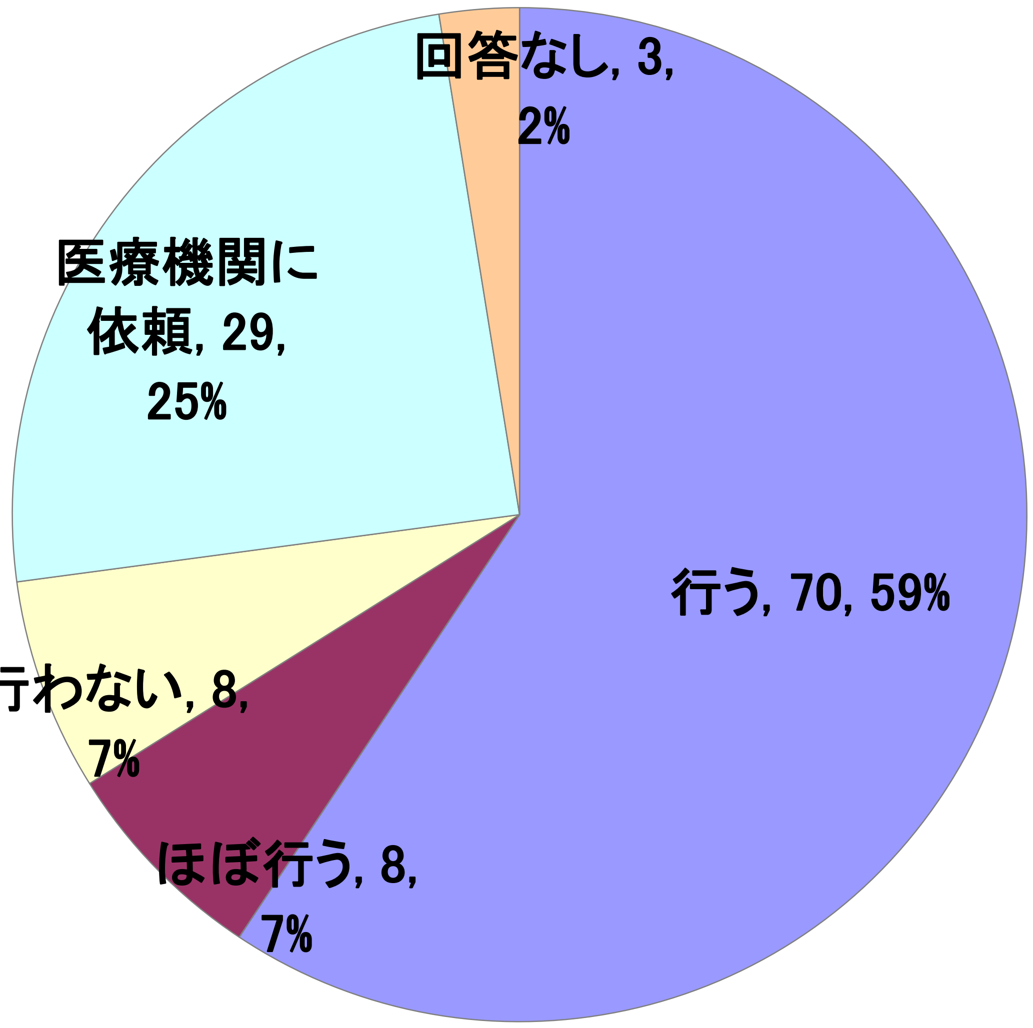


図29

（2010年）

保健所HIV検査
【確認検査の実施施設は？】

（通常検査）

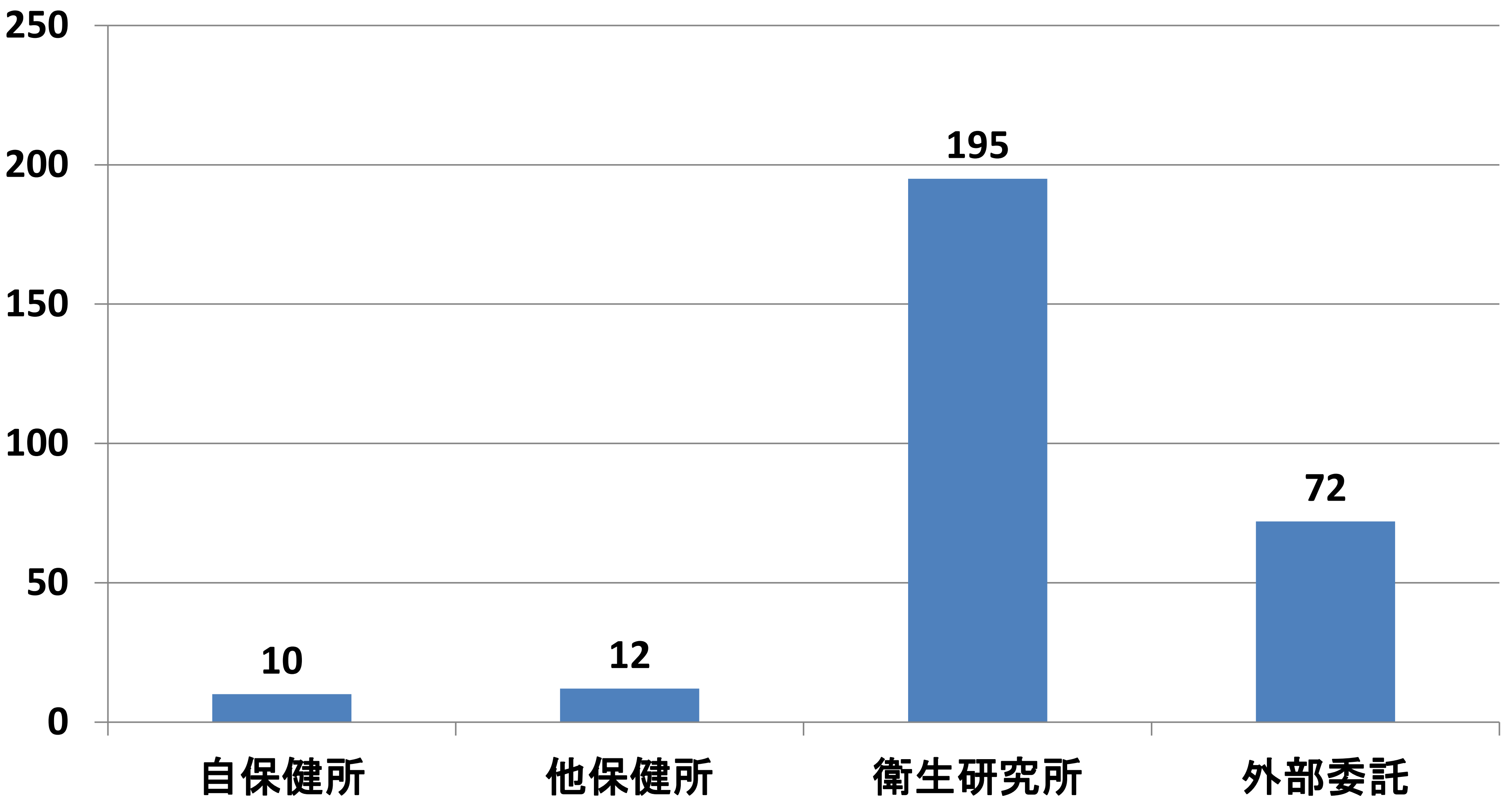


図30

（2010年）

保健所HIV検査
【スクリーニング検査の方法は？】　（通常検査）

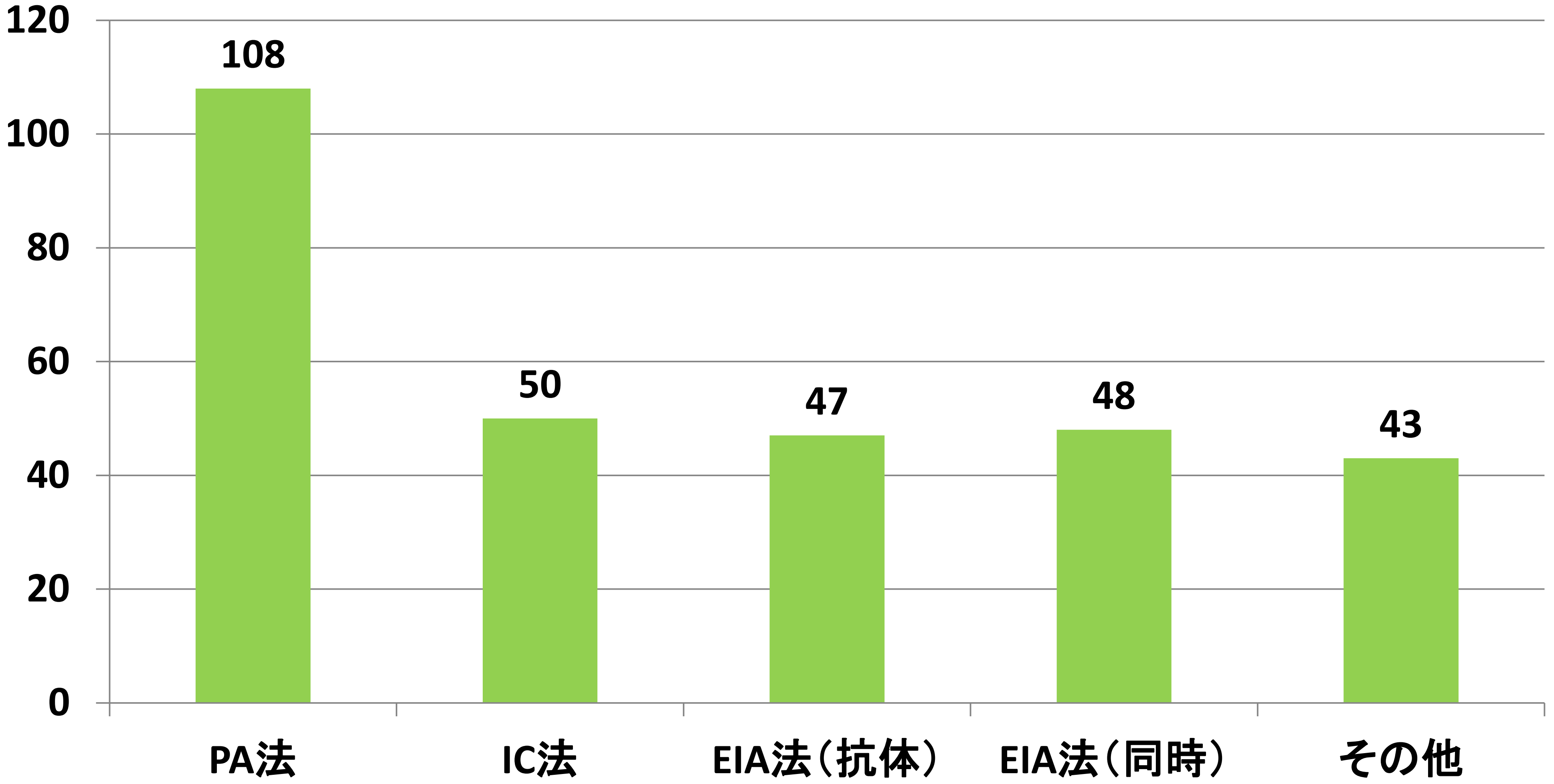


図31

(2010年)

保健所HIV検査
【スクリーニング検査の実施施設は？】 (通常検査)

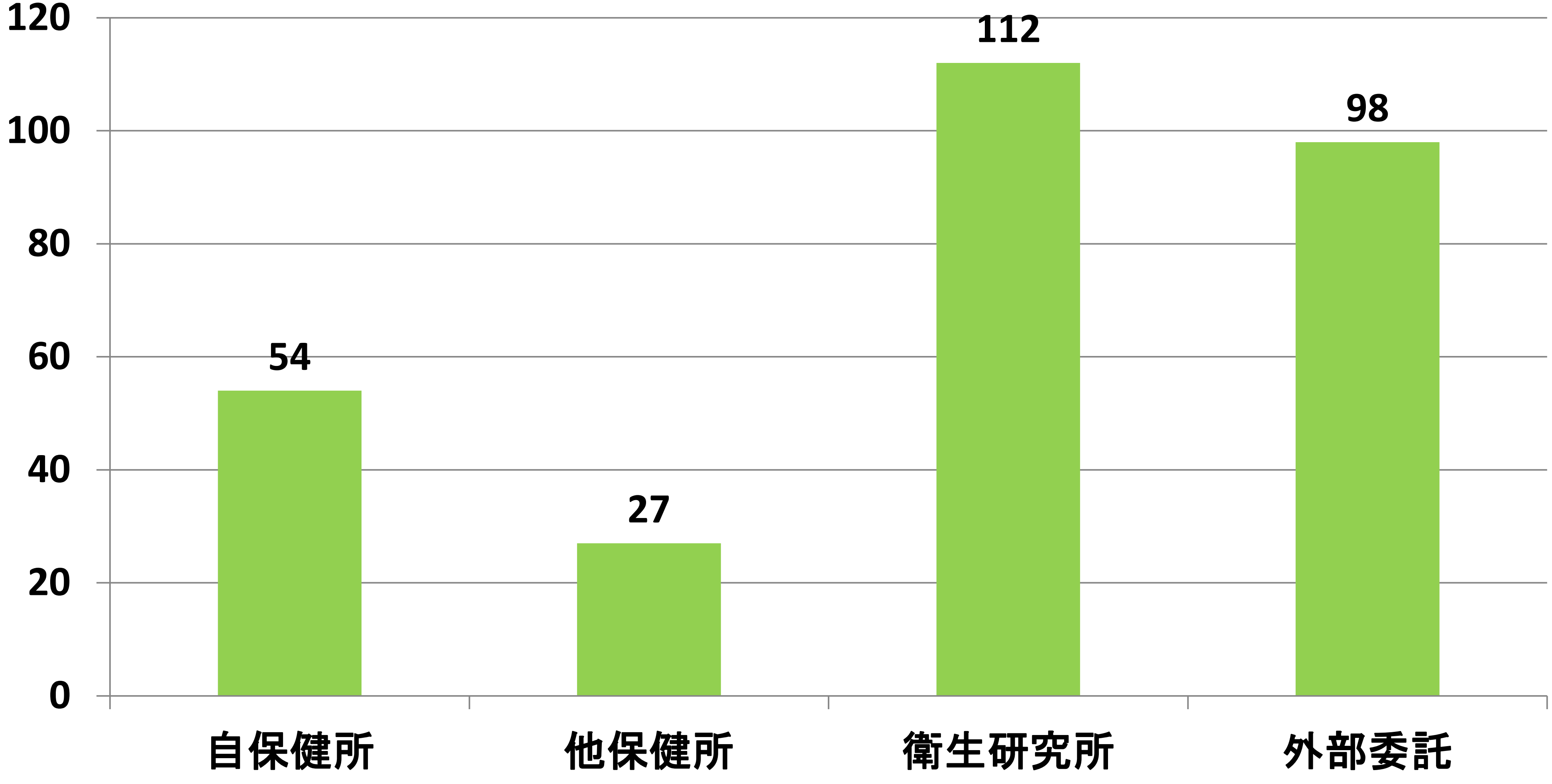


図32 （2010年）

保健所HIV検査
【迅速診断キットの実施施設は？】 （即日検査）

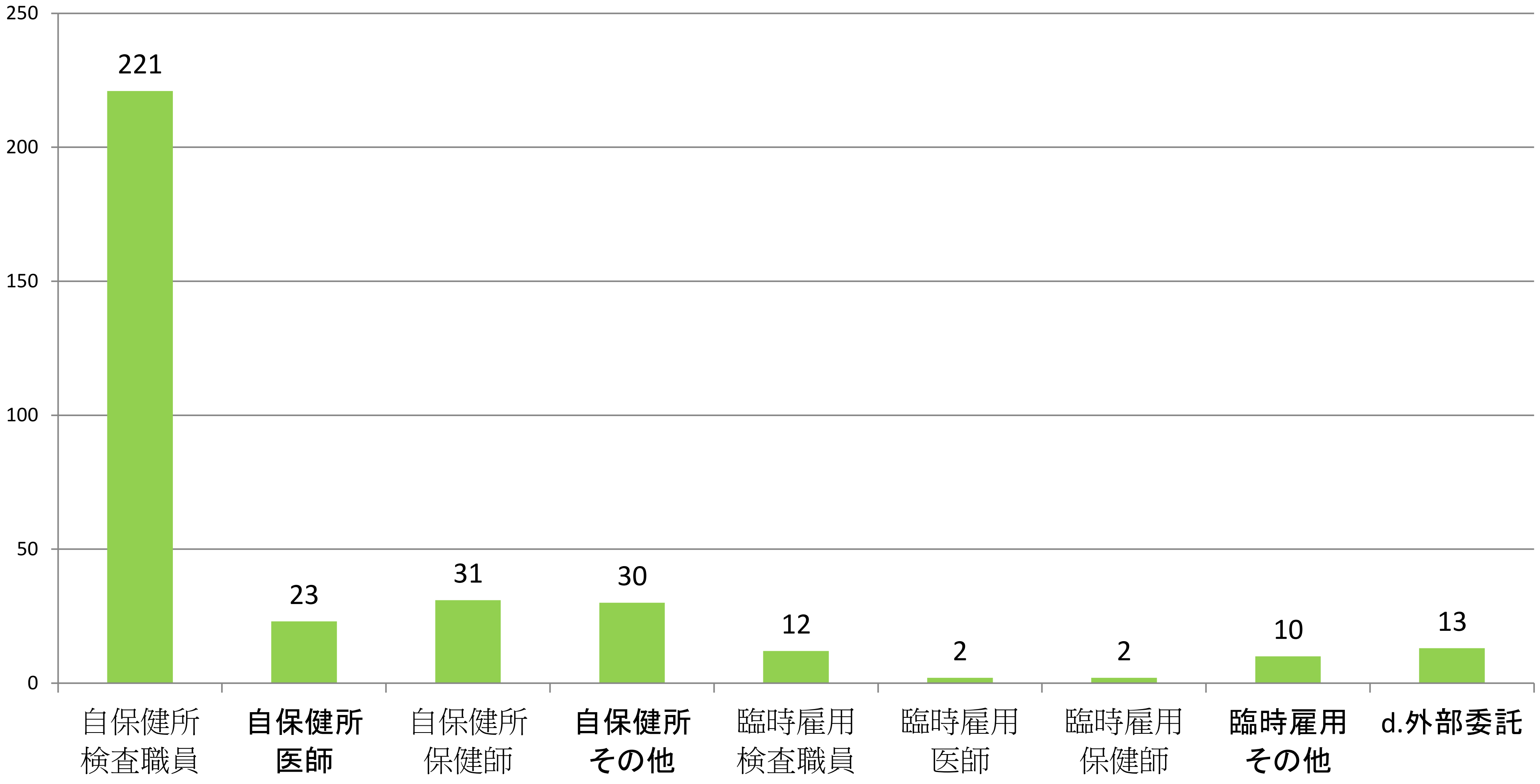


図33

（2010年）

保健所HIV検査
【確認検査の実施施設は？】

（即日検査）

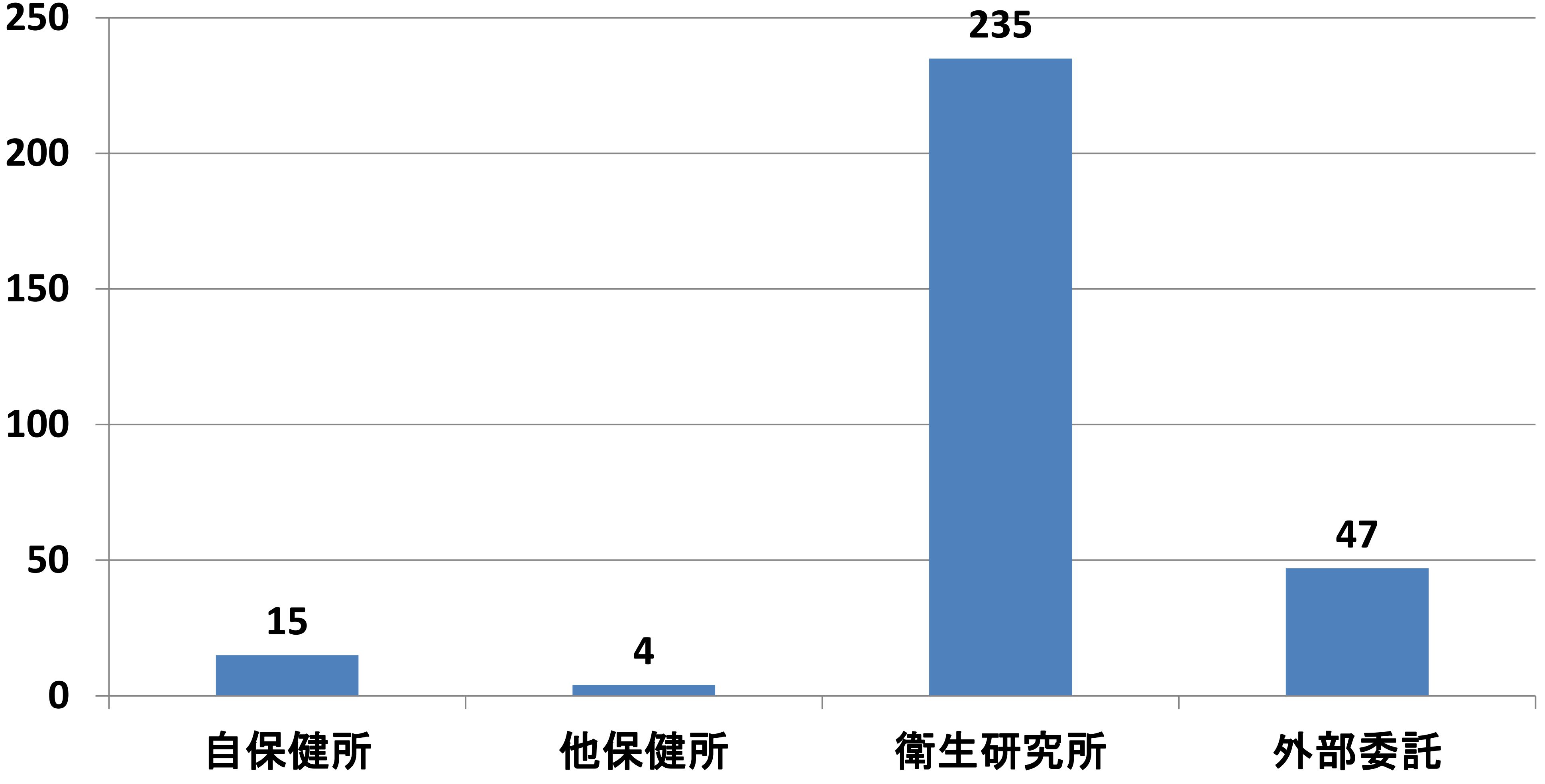


図34

（2010年）

新型インフルエンザの流行で検査相談事業に影響があったか

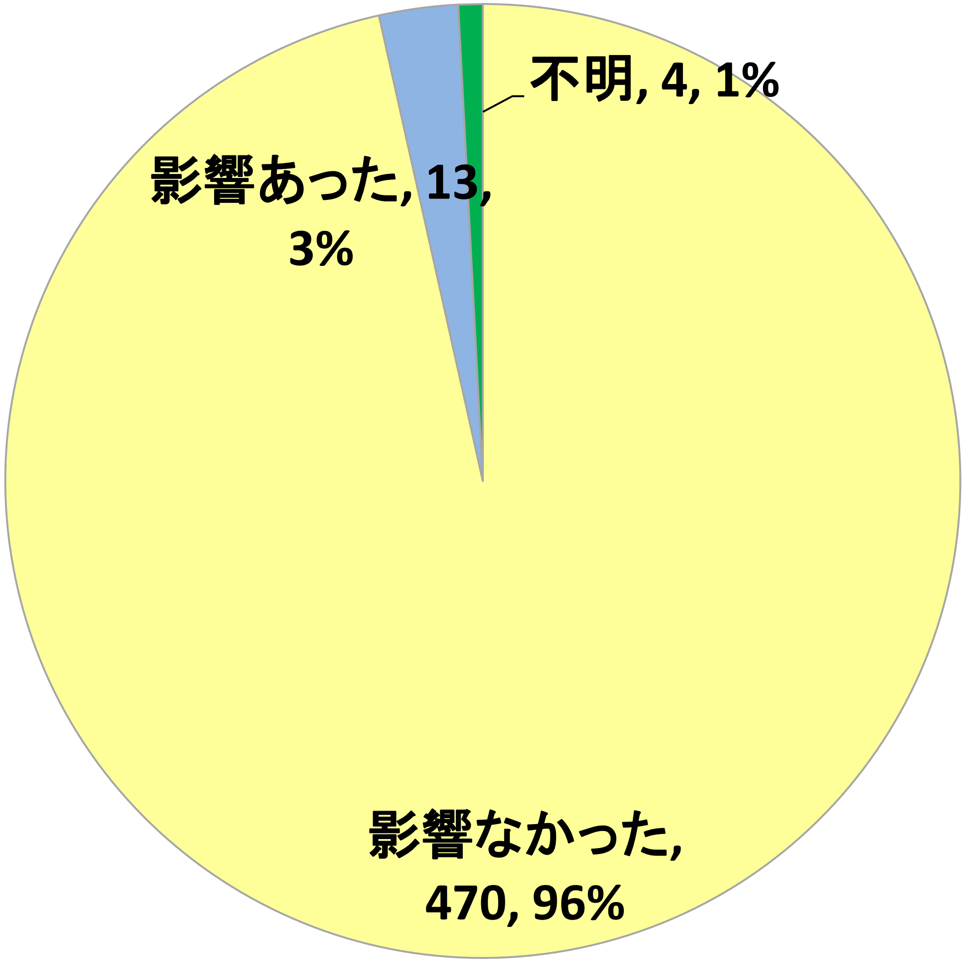


図35

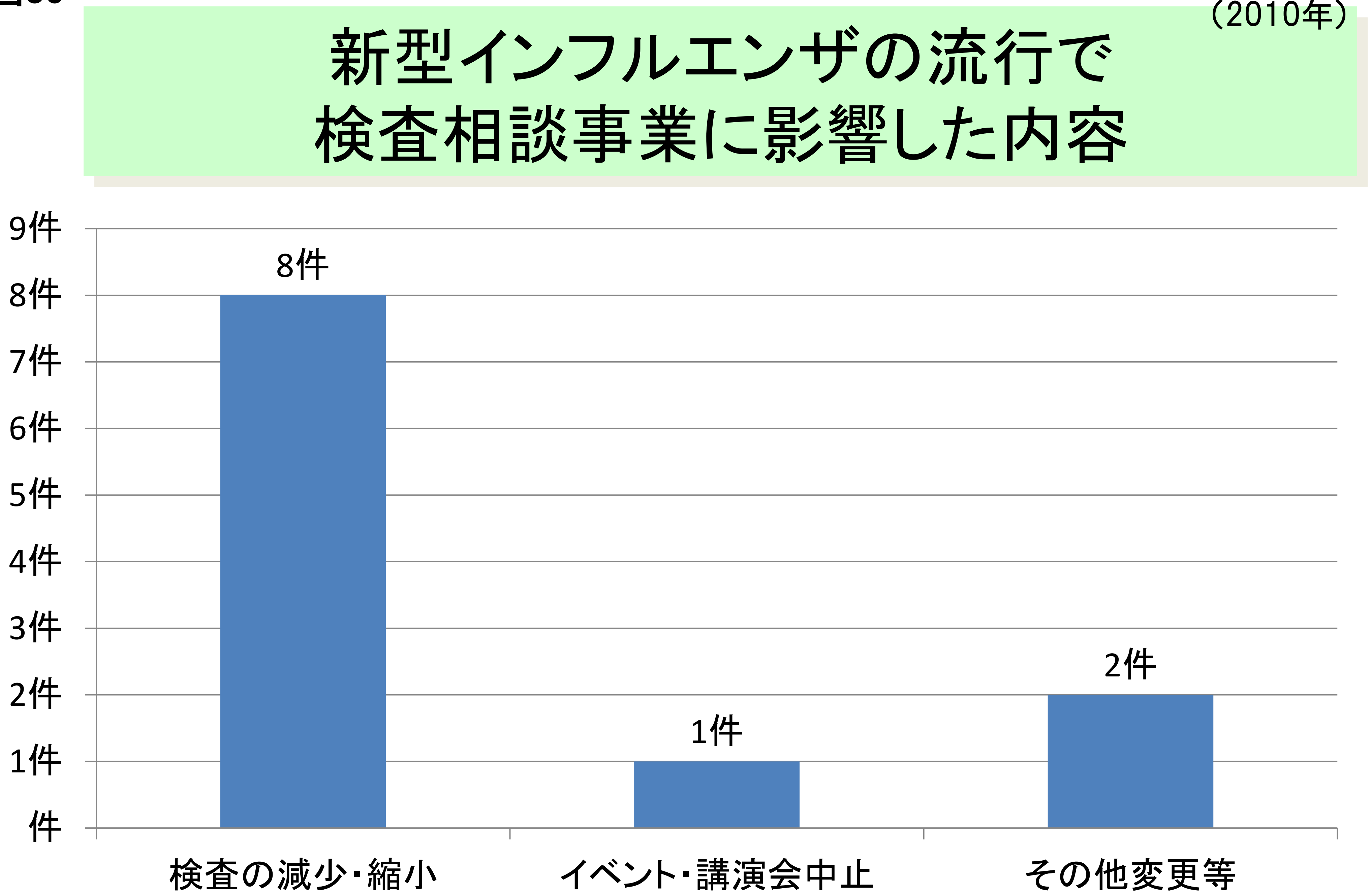

（2010年）
新型インフルエンザの流行で
検査相談事業に影響した内容
9件
8件
7件
6件
5件
4件
3件
2件
1件
件
8件
1件
2件
検査の減少・縮小
イベント・講演会中止
その他変更等

図36

（2010年）

新型インフルエンザの流行で相談数に変化があったか

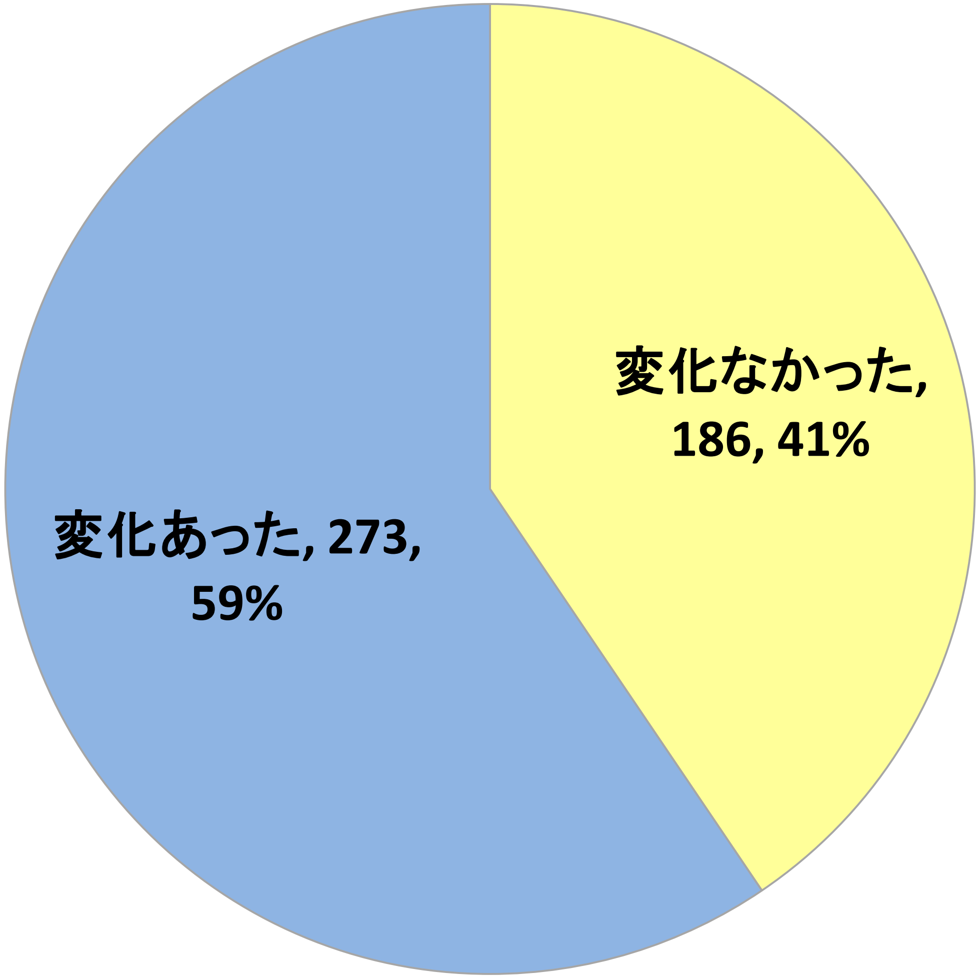


図37

新型インフルエンザの流行で相談数の増減

（2010年）

（n=273）

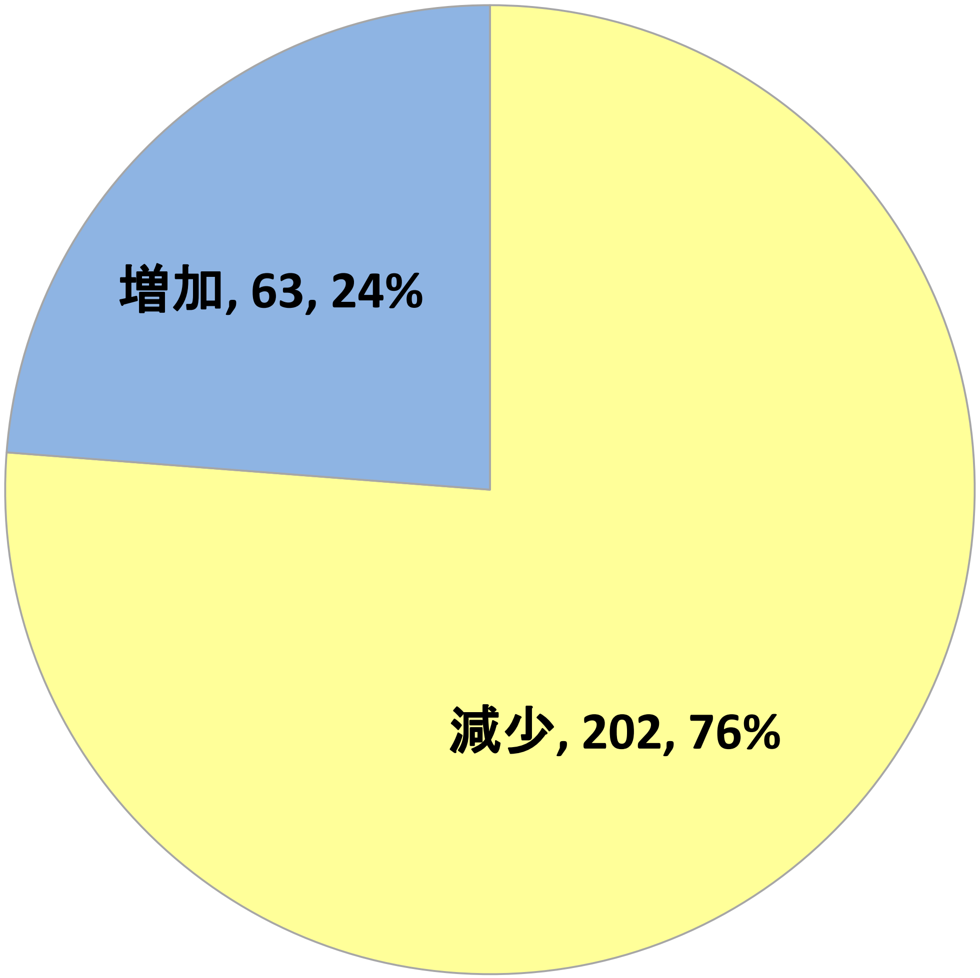


図38

（2010年）

新型インフルエンザの流行で検査数に変化があったか

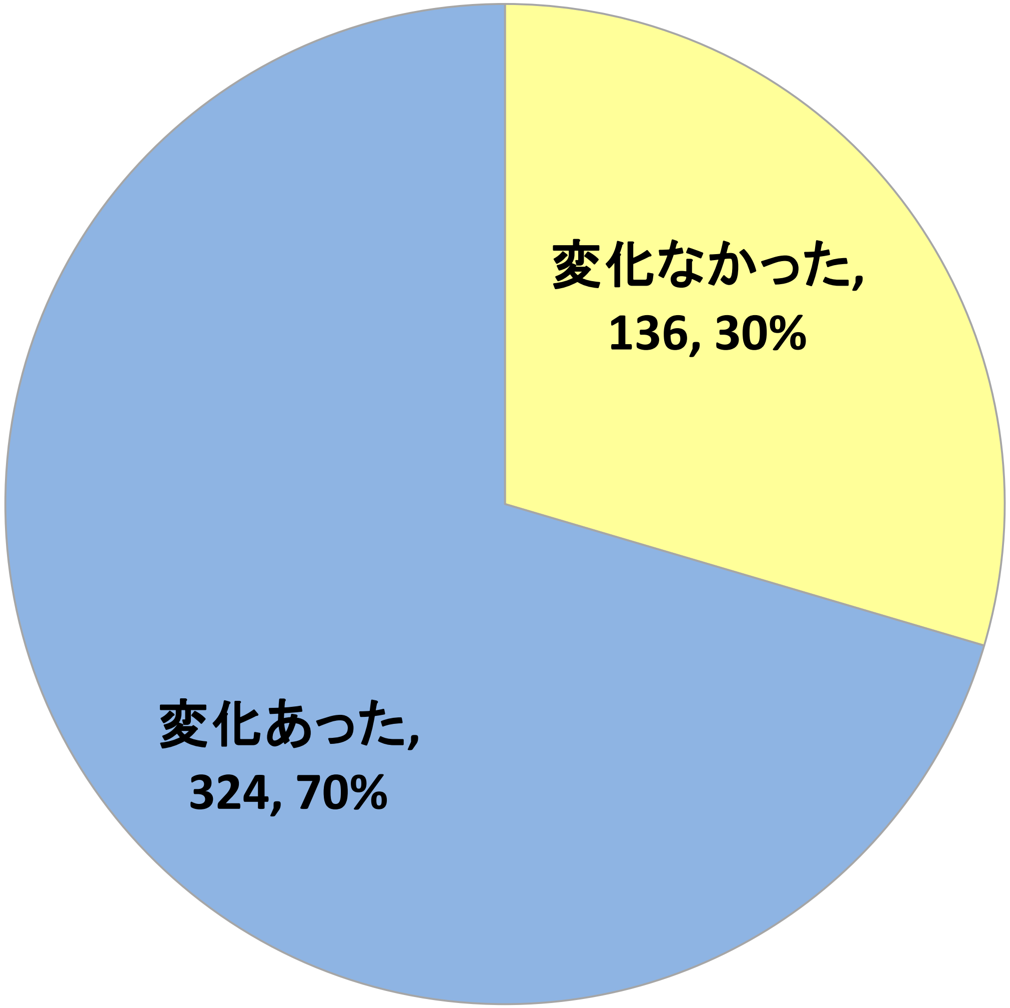


図39

新型インフルエンザの流行で検査数の増減

（2010年）

（n=324）

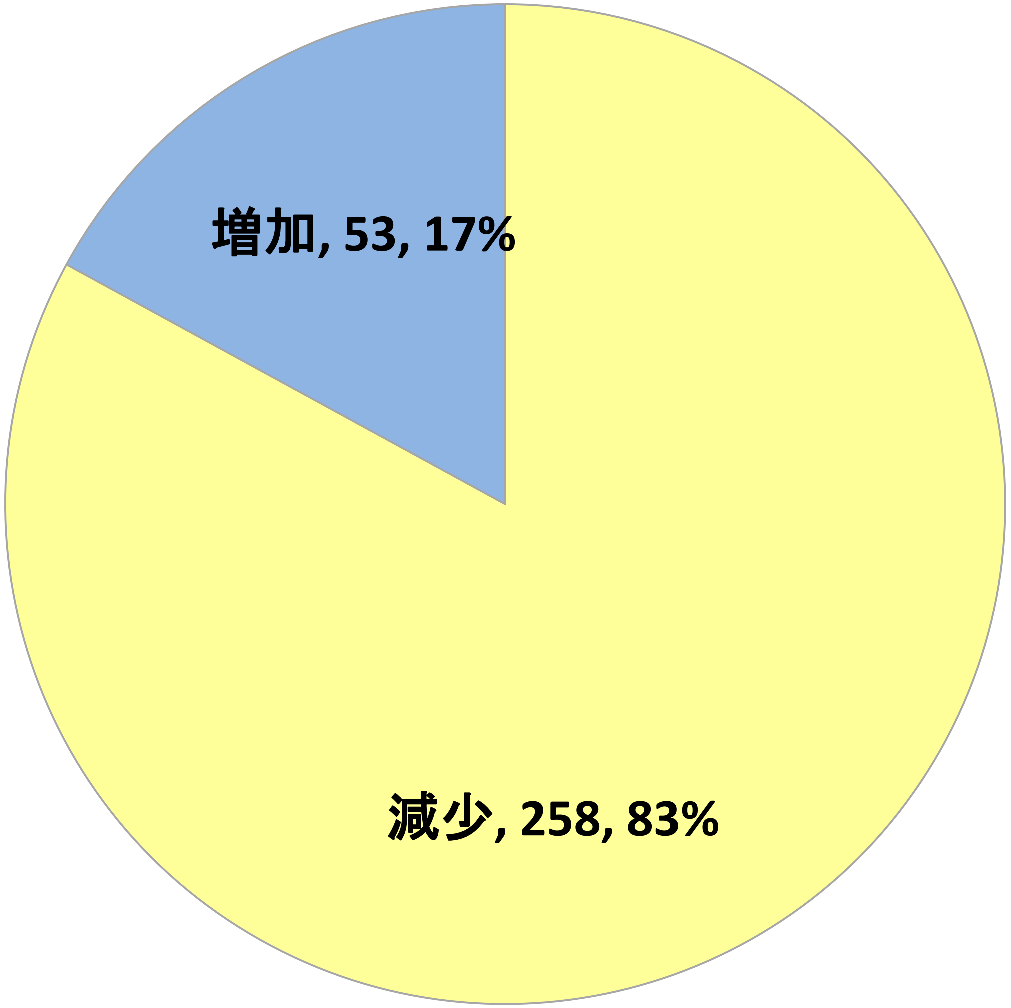


図40

（2010年）

新型インフルエンザの流行で陽性数に変化があったか

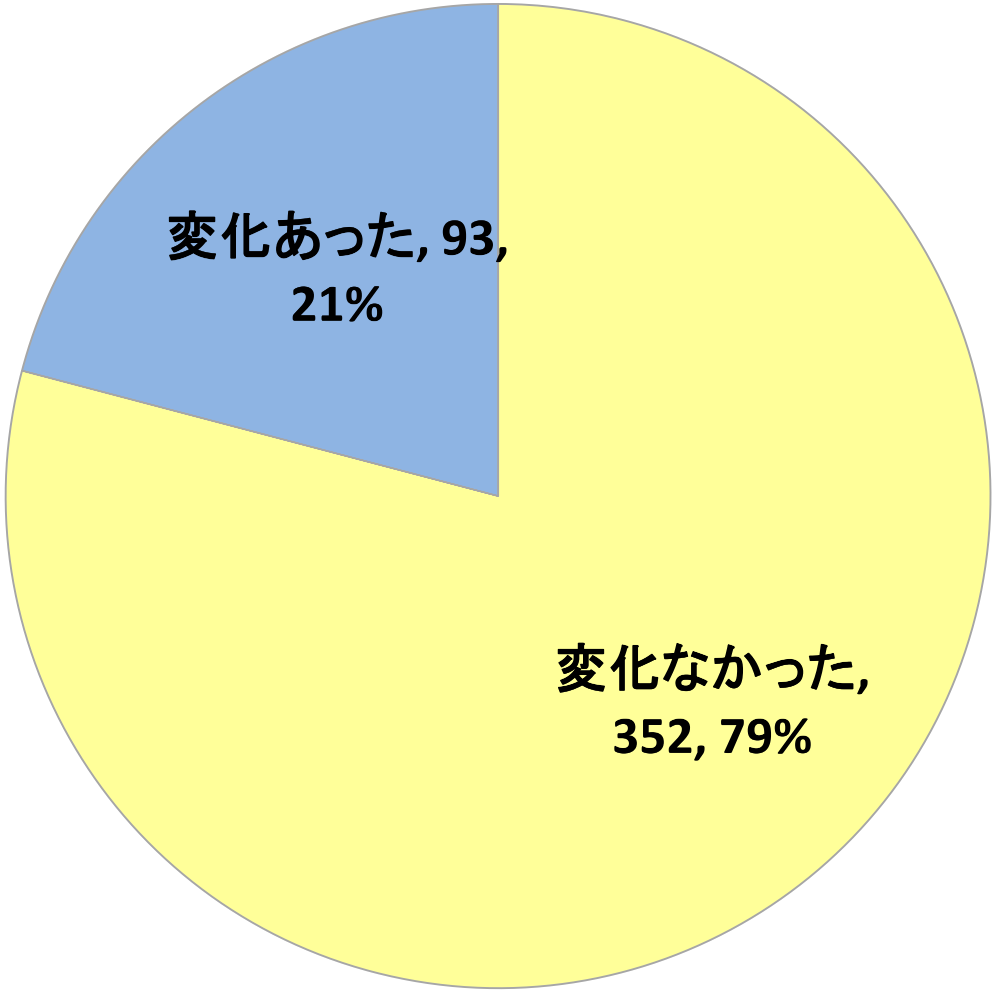


図41

新型インフルエンザの流行で陽性数の増減

（2010年）

（n=93）

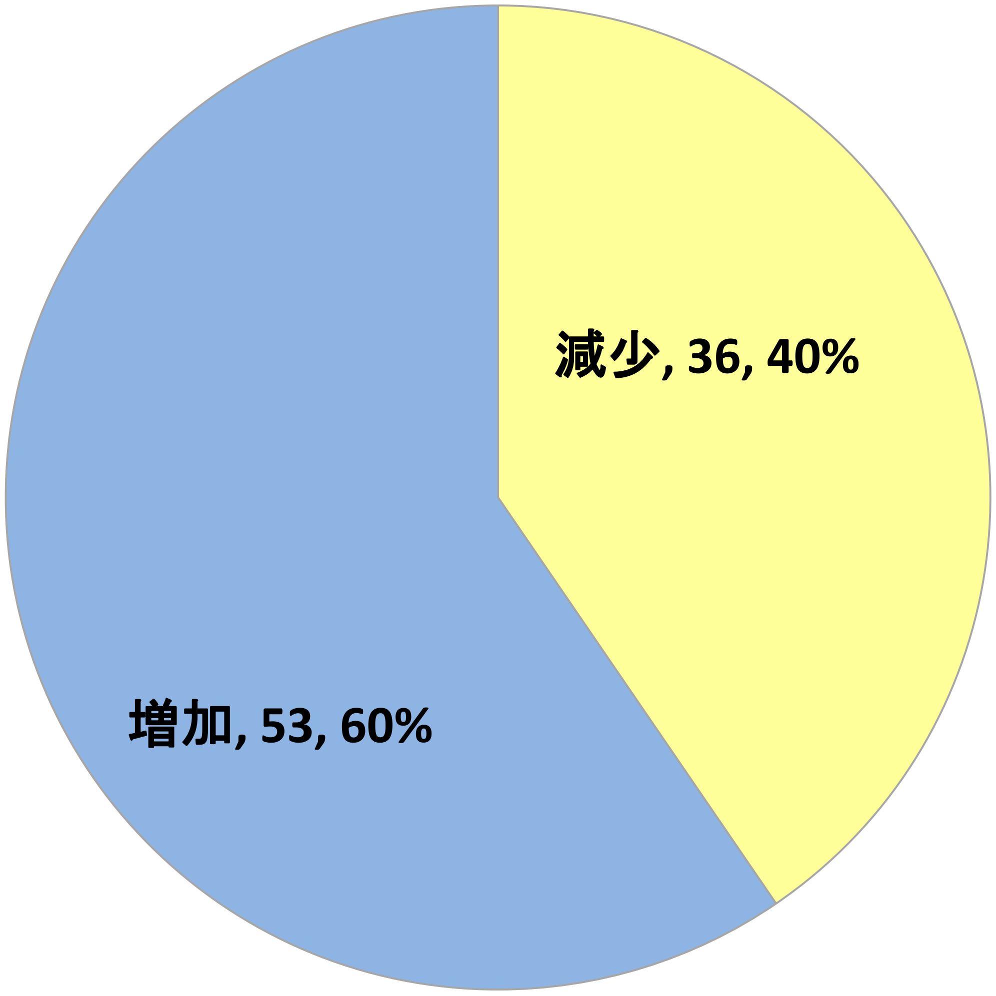


図42

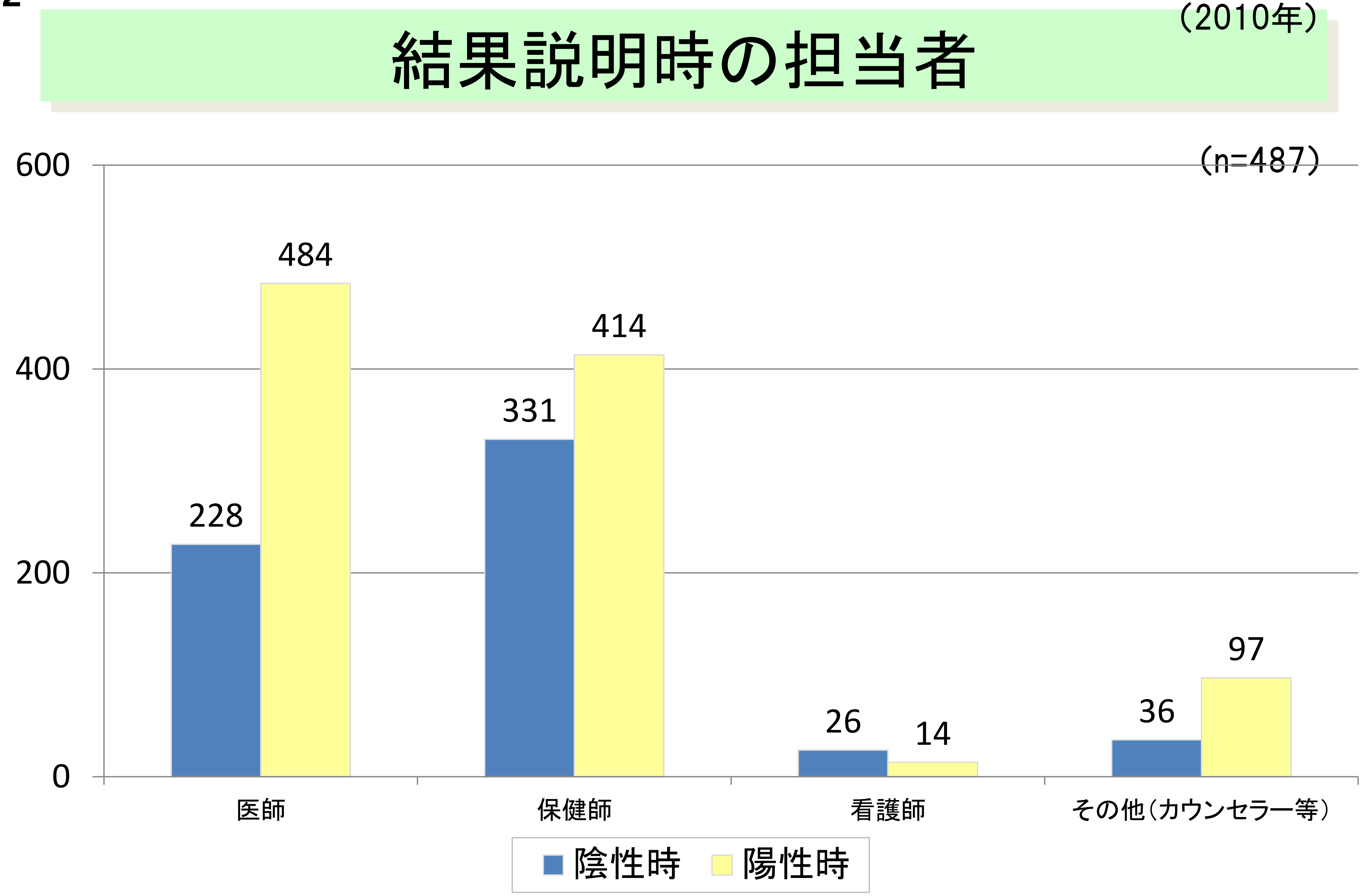

結果説明時の担当者
（2010年）
（n=487）
600
400
200
0
484
414
331
228
26
14
97
36
医師
保健師
看護師
その他（カウンセラー等）
陰性時
陽性時

図43

（2010年）

感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっているか

（n=487）

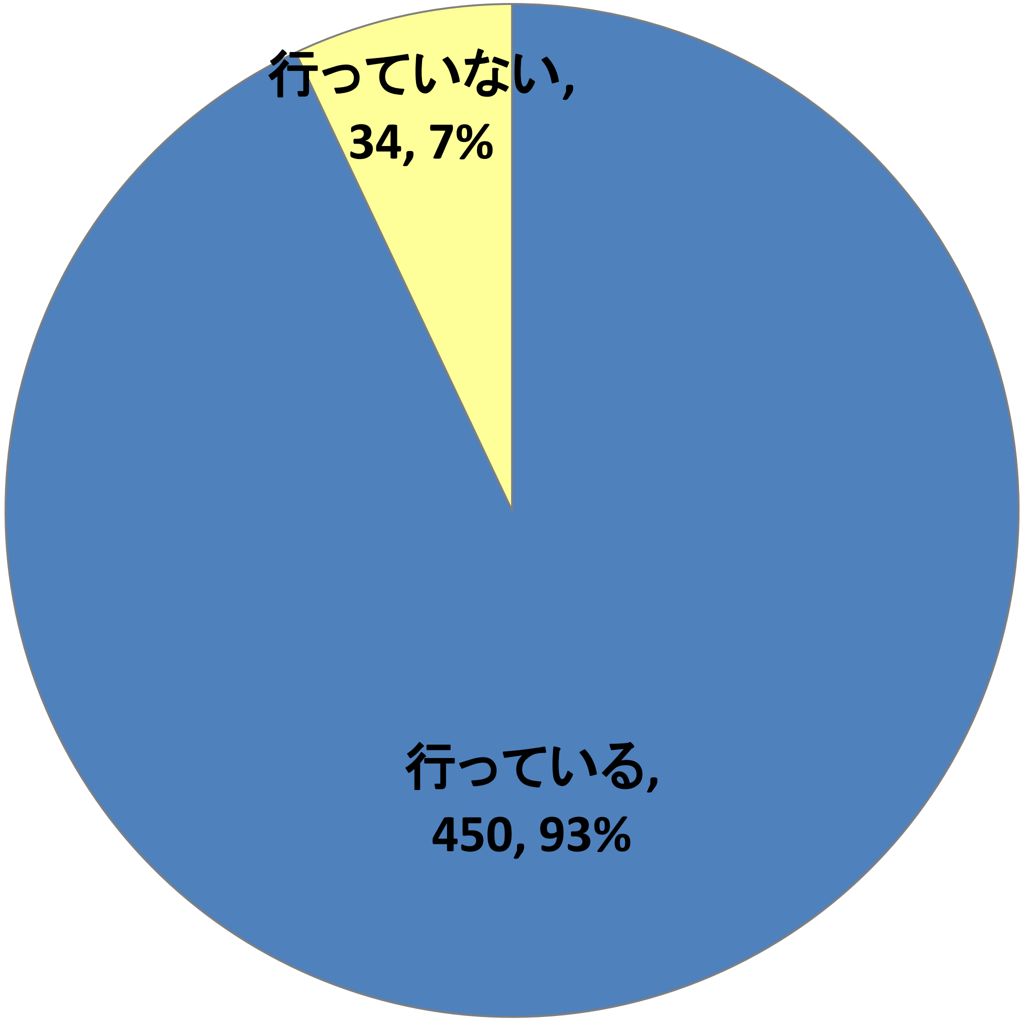


図44

感染予防のための行動変容を働きかける相談の対象は

（2010年）

（n=406）

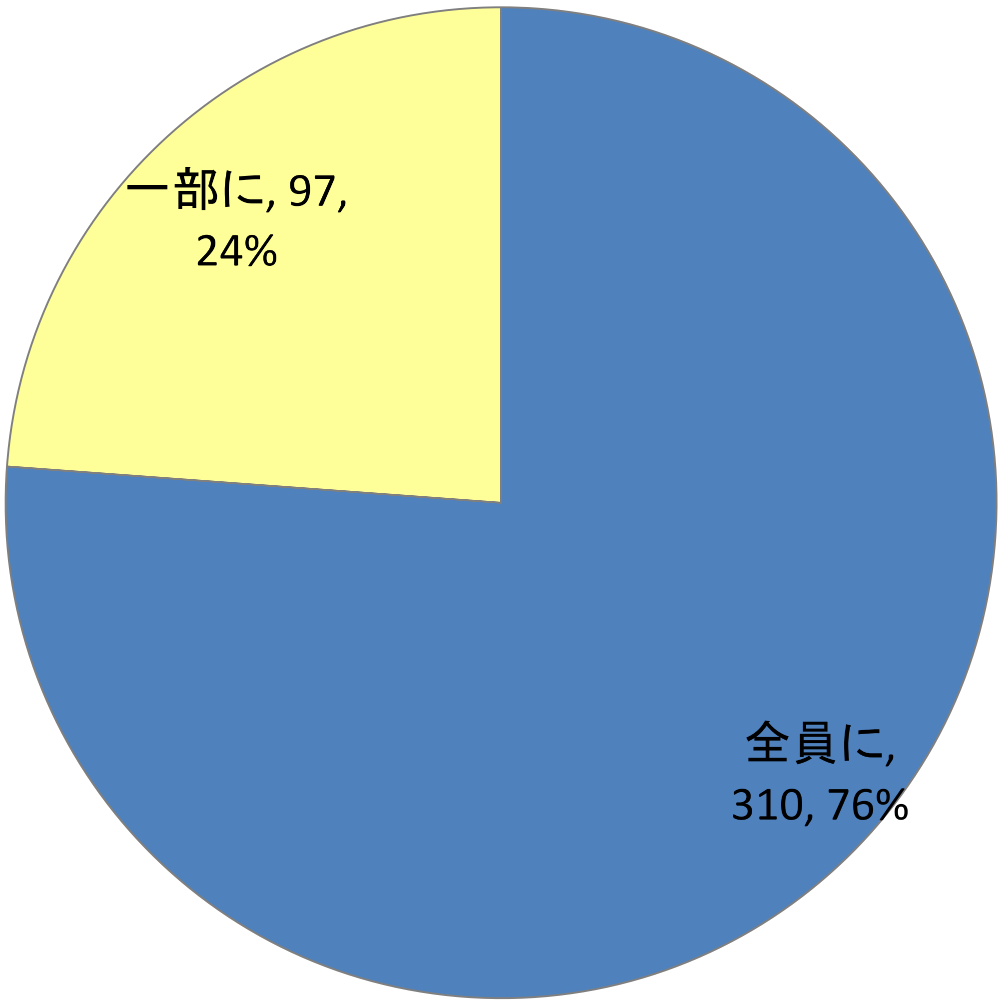


図45

（2010年）

感染予防のための行動変容を働きかける相談の場面は

（n=450）

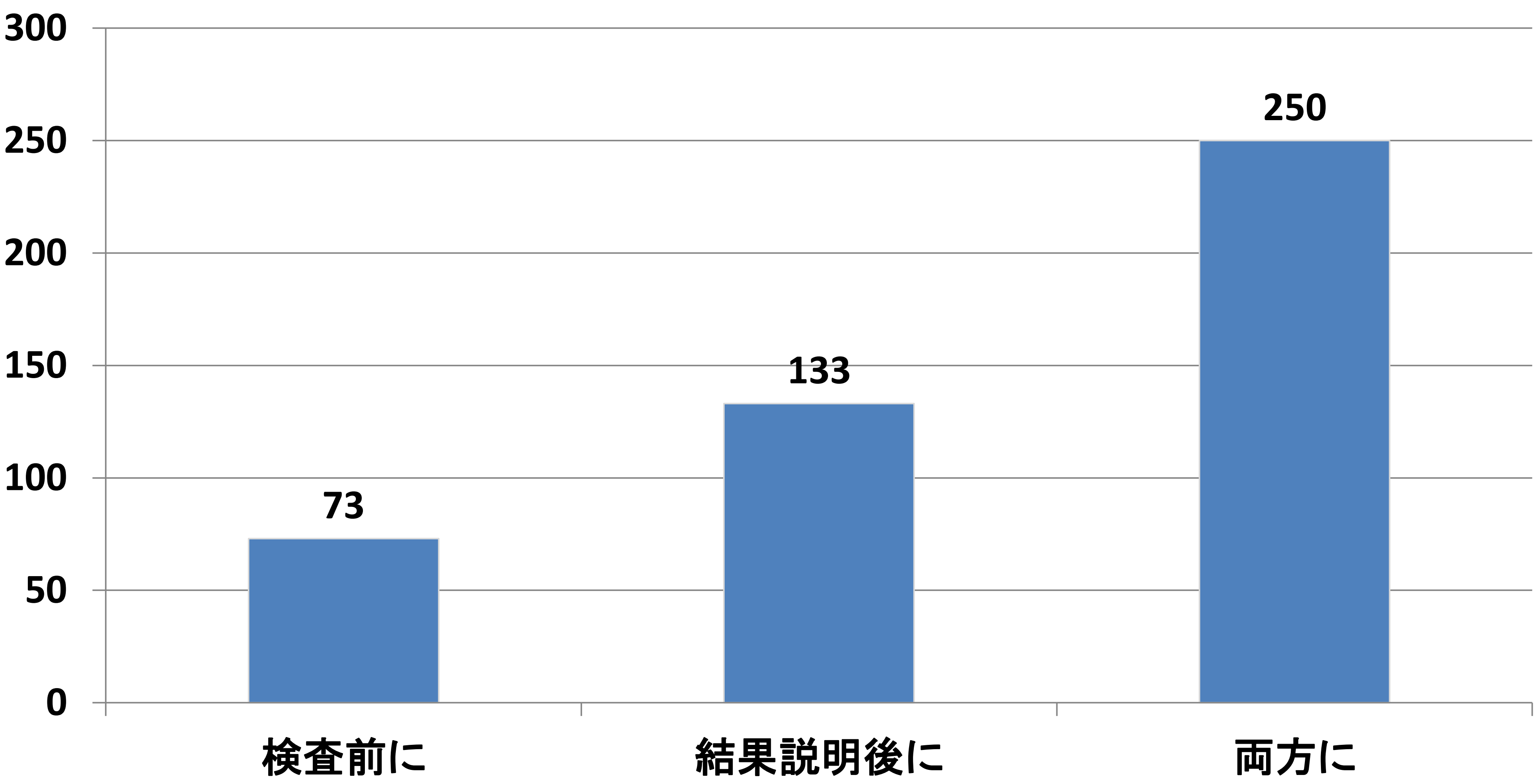


図46

（2010年）

感染予防のための行動変容を働きかける相談の具体的手法は

（n=487）

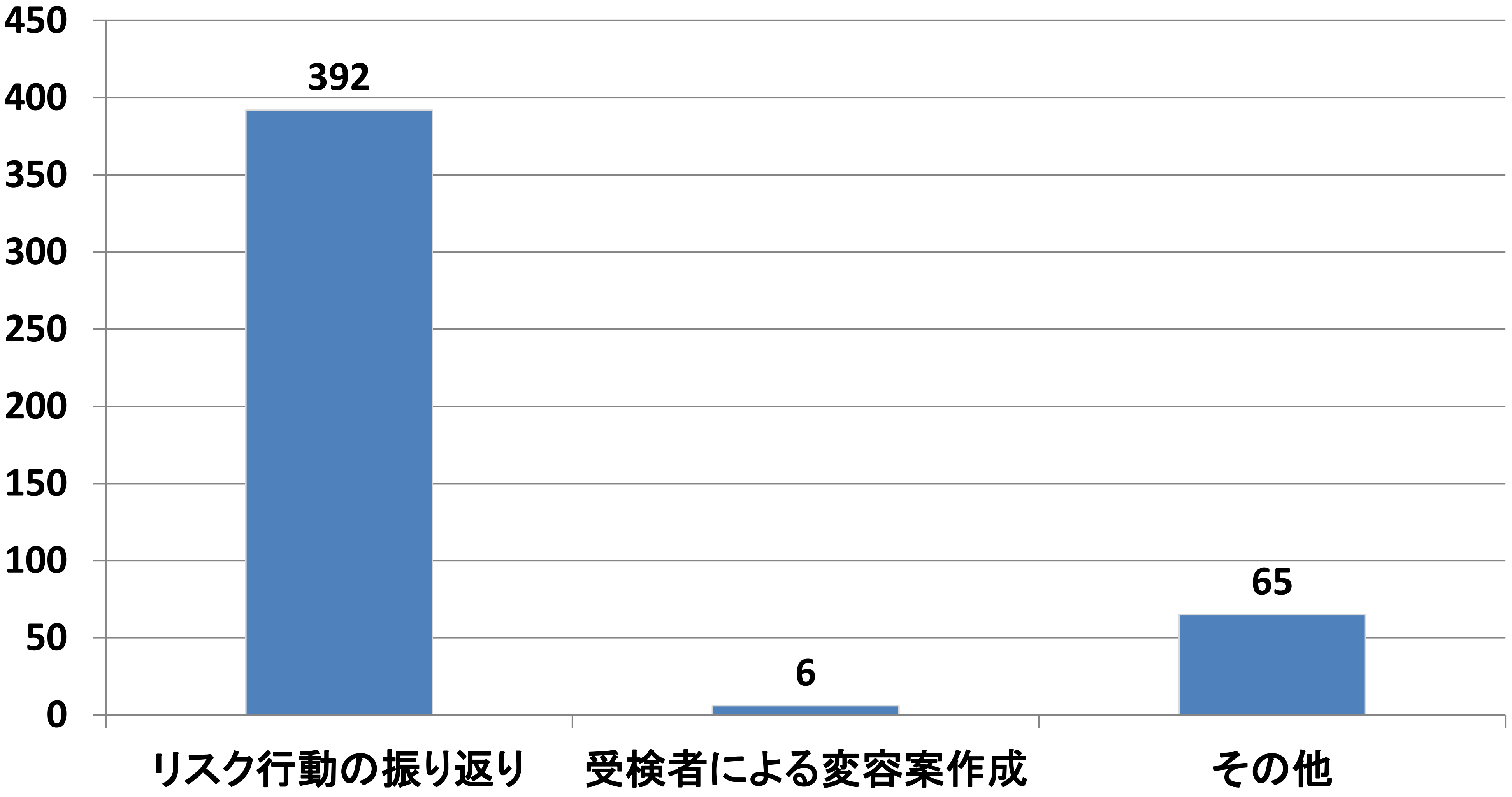


図47

(2010年)

対応困難者の経験はあるか

(n=487)

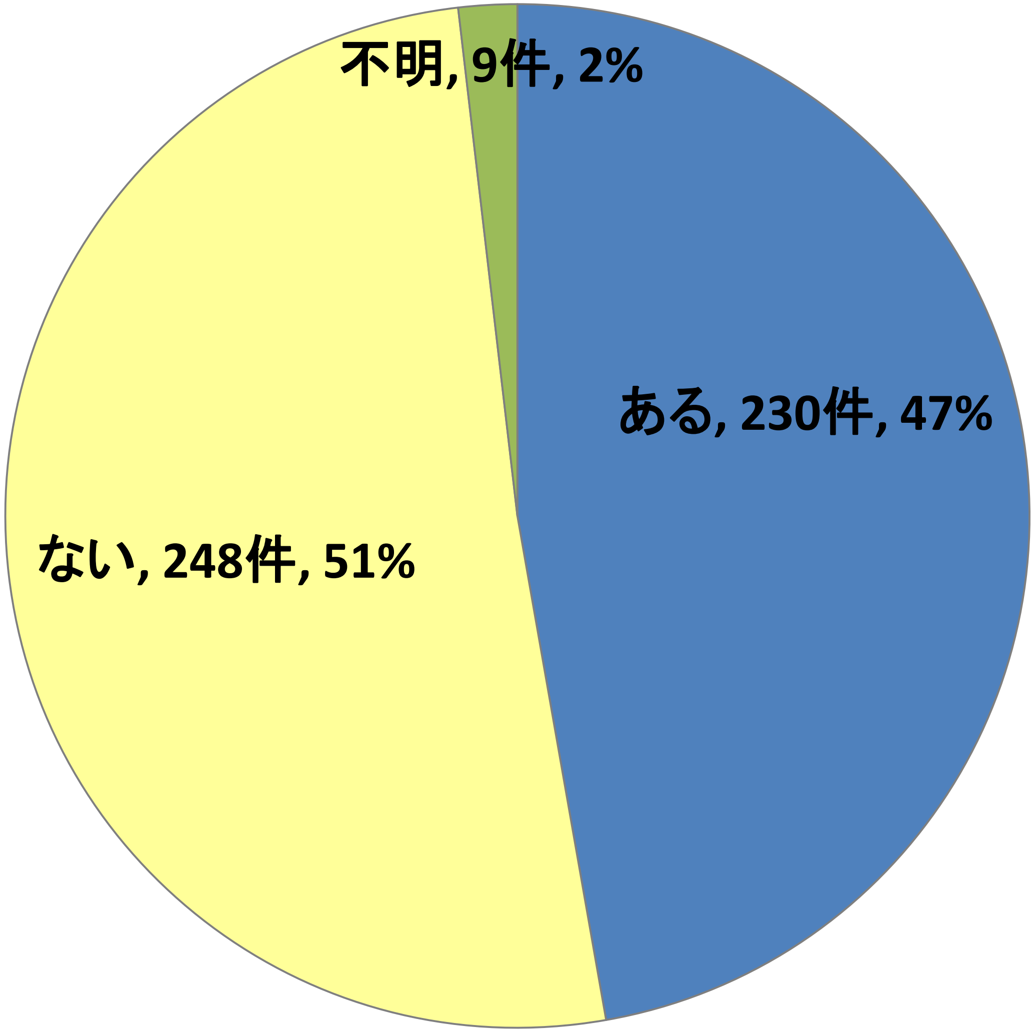


図48

対応困難者の紹介先はあるか

（2010年）

（n=487）

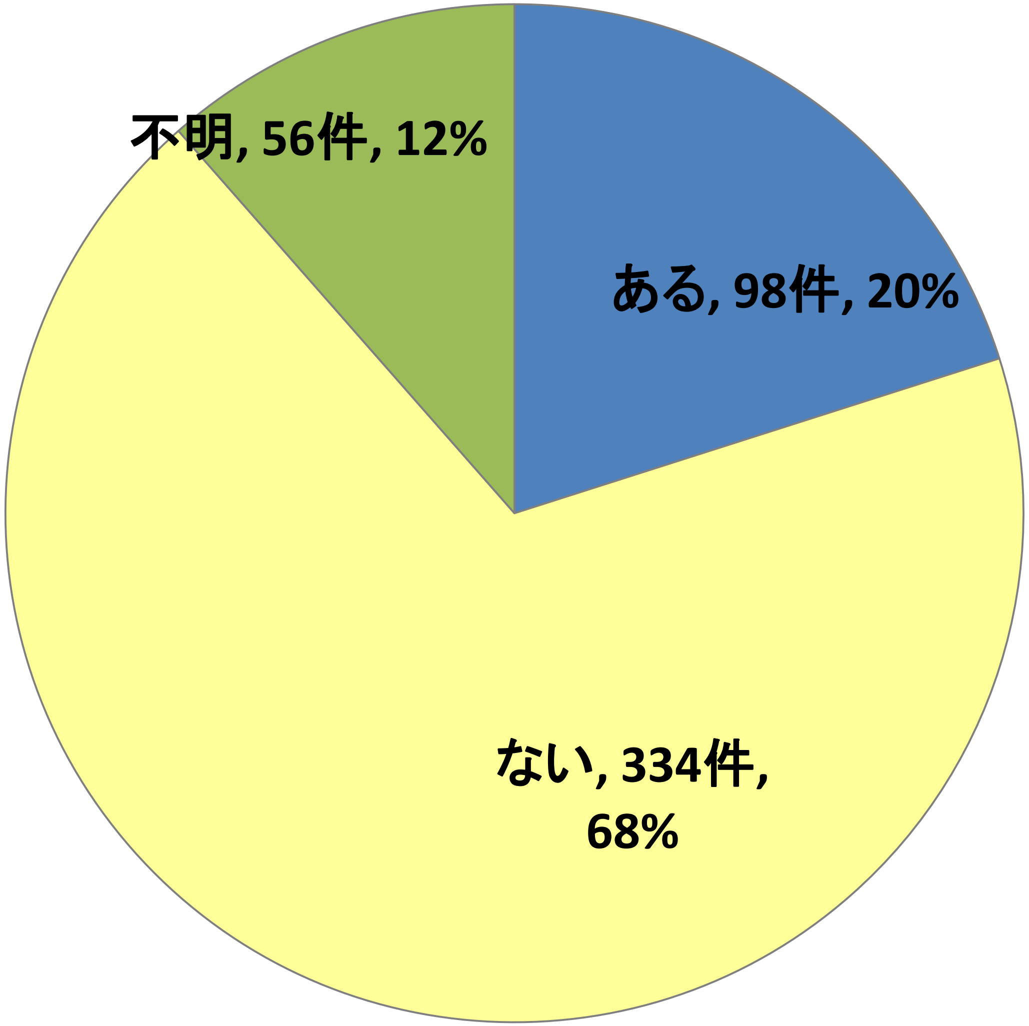


図49

対応困難者の紹介先はどこか

(2010年)

(n=98)

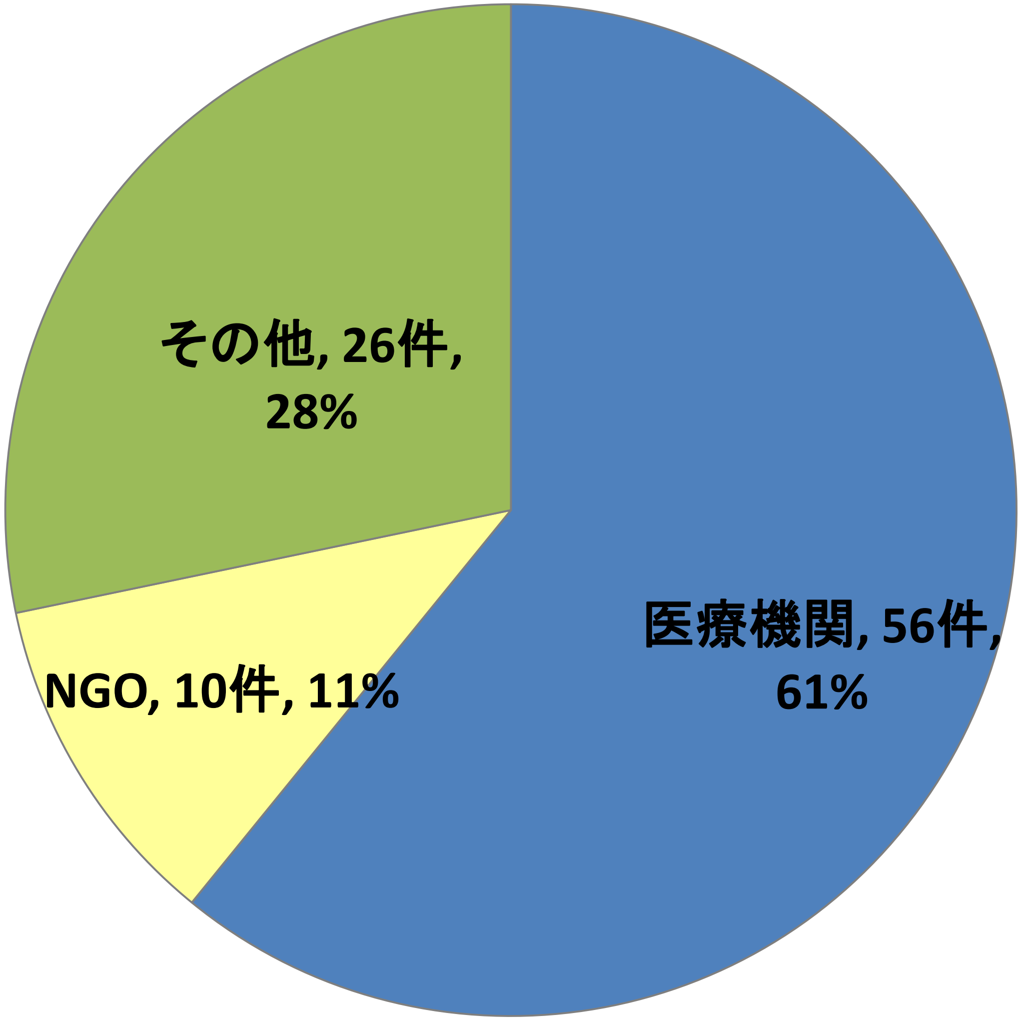


図50

陽性者への説明事項ガイドラインはあるか

（2010年）

（n=487）

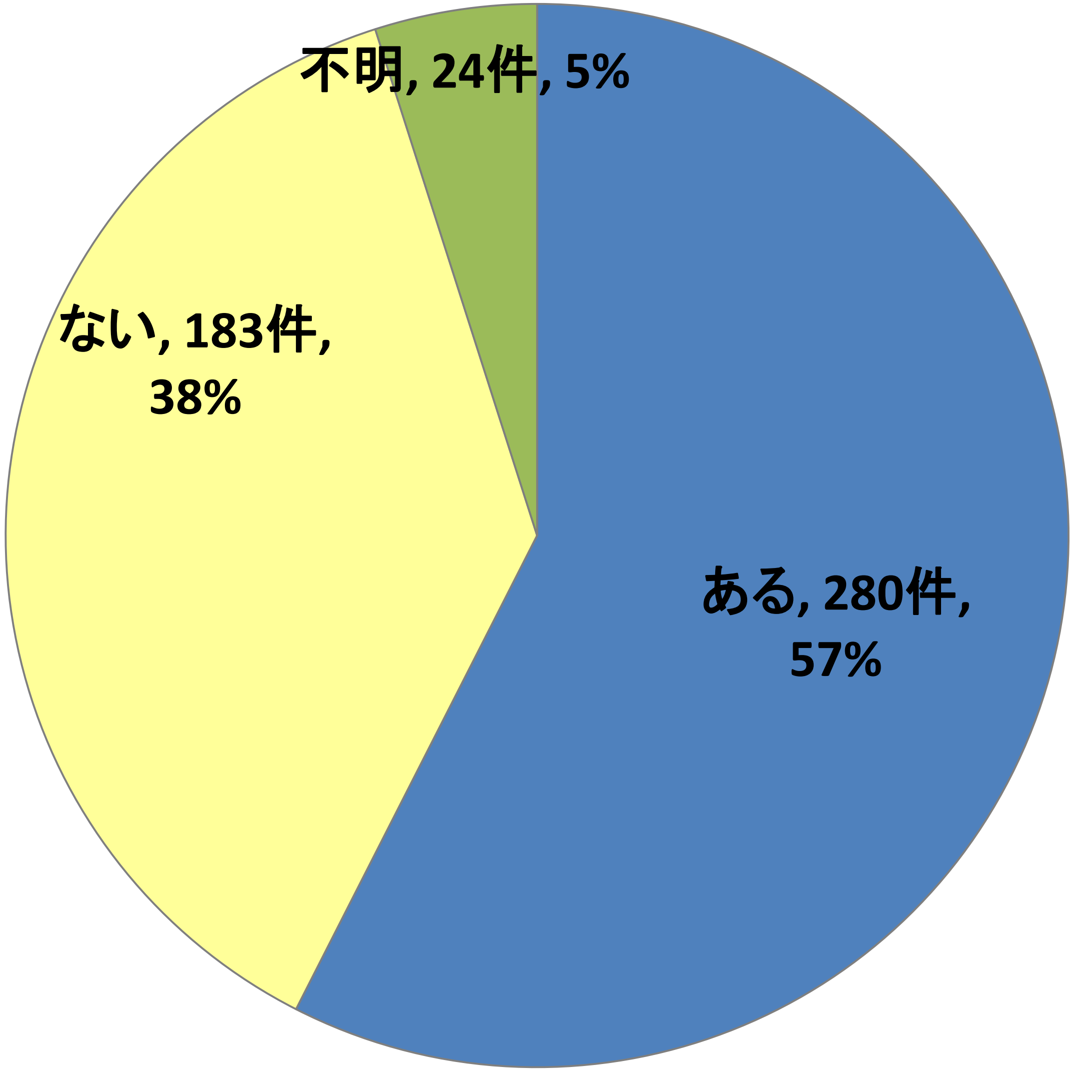


図51

陽性者への説明事項
説明資料はあるか

（2010年）

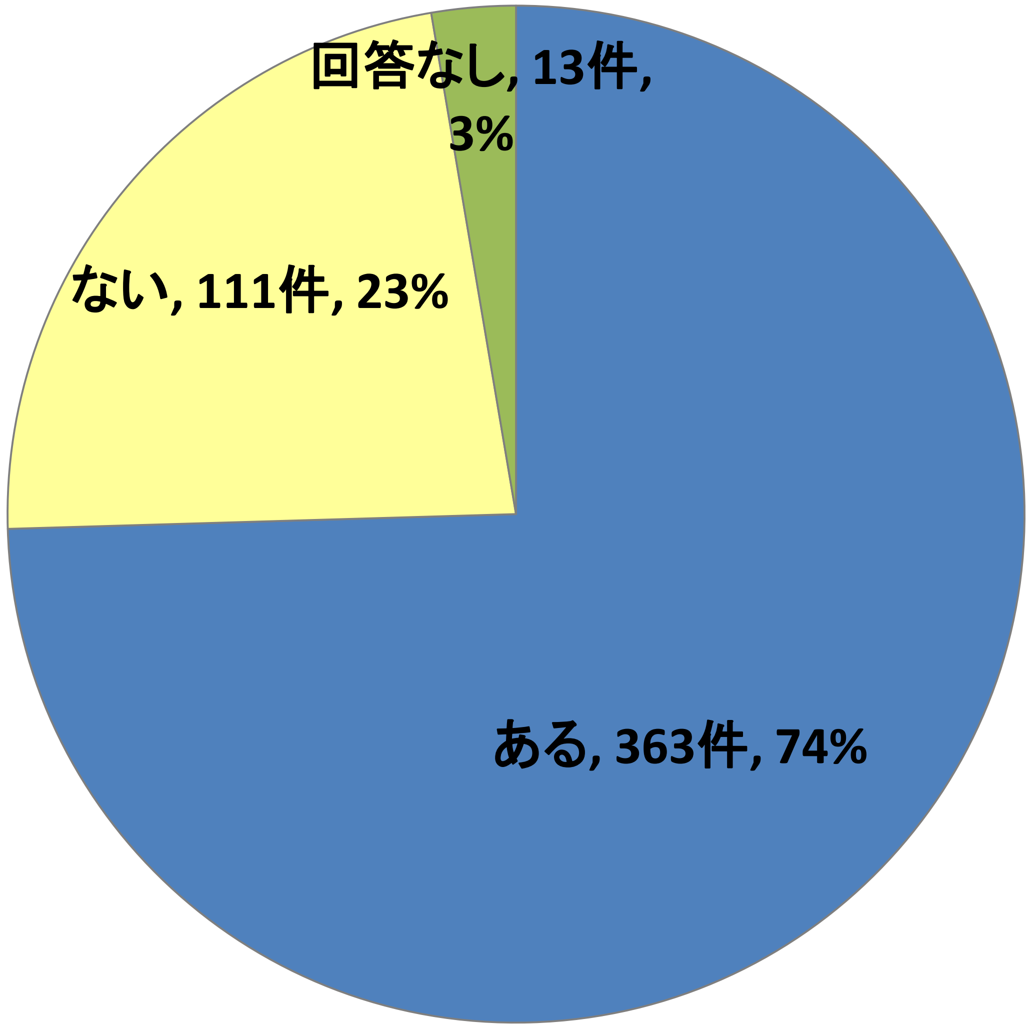


図52

陽性者への手渡し資料はあるか

（2010年）

（n=487）

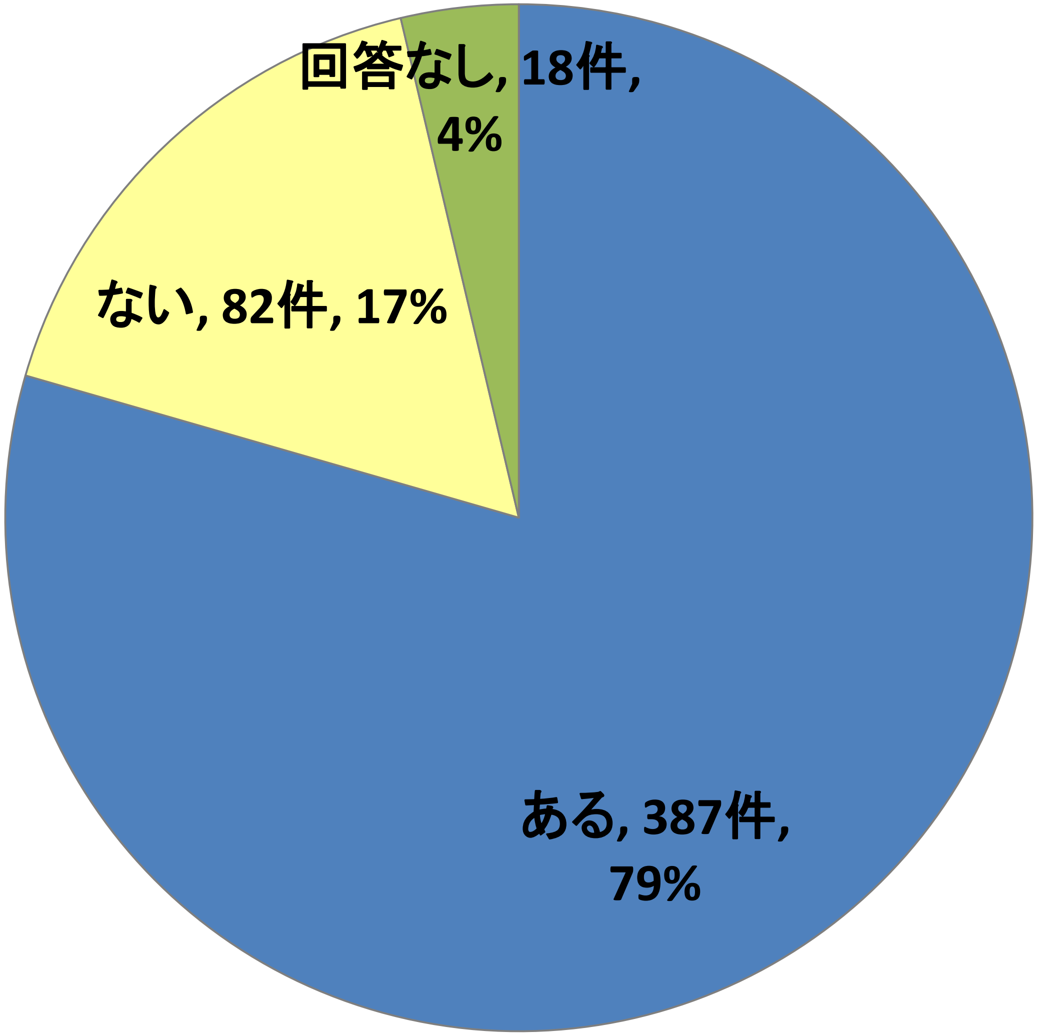


図53

陽性者にパートナーへの検査を勧奨しているか

（2010年）

（n=487）

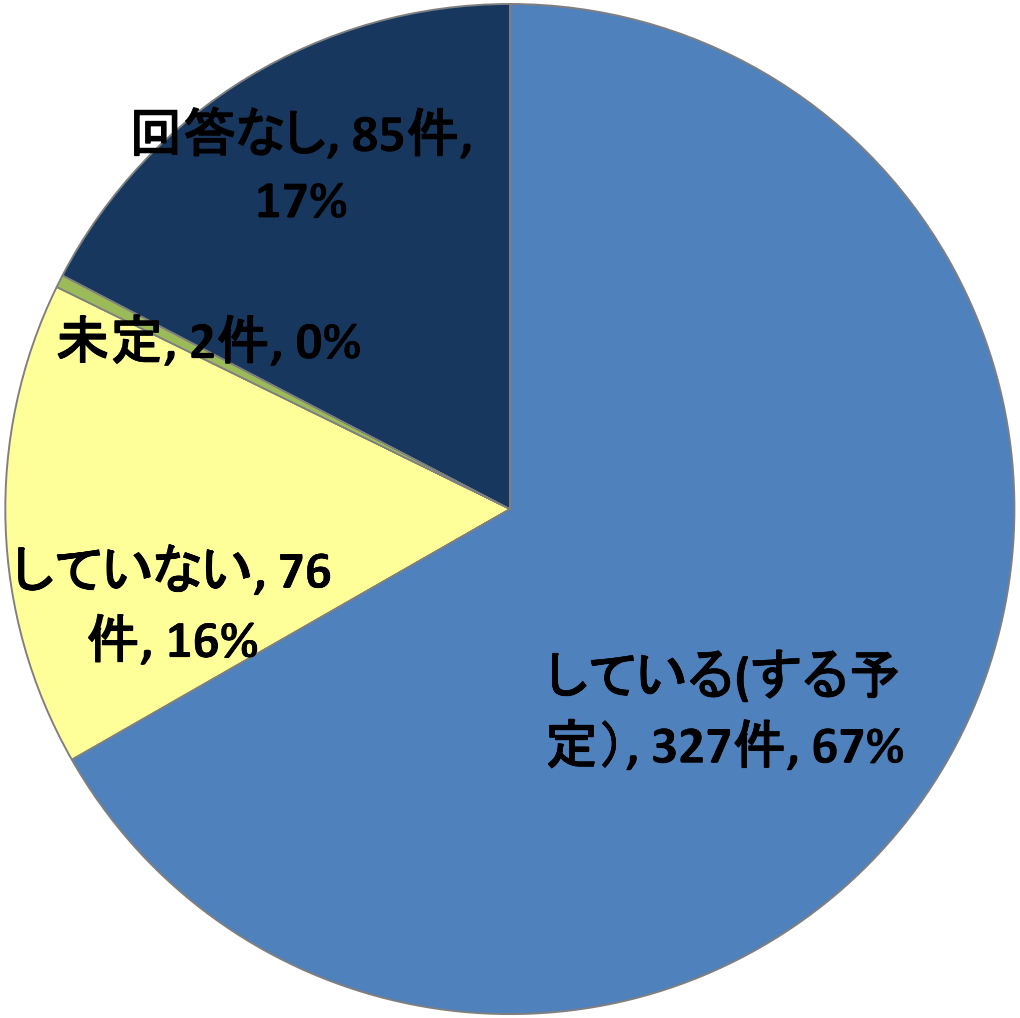


図54

陽性者にパートナーへの検査を勧奨していないか（陽性経験保健所）

（2010年）

（n=118）

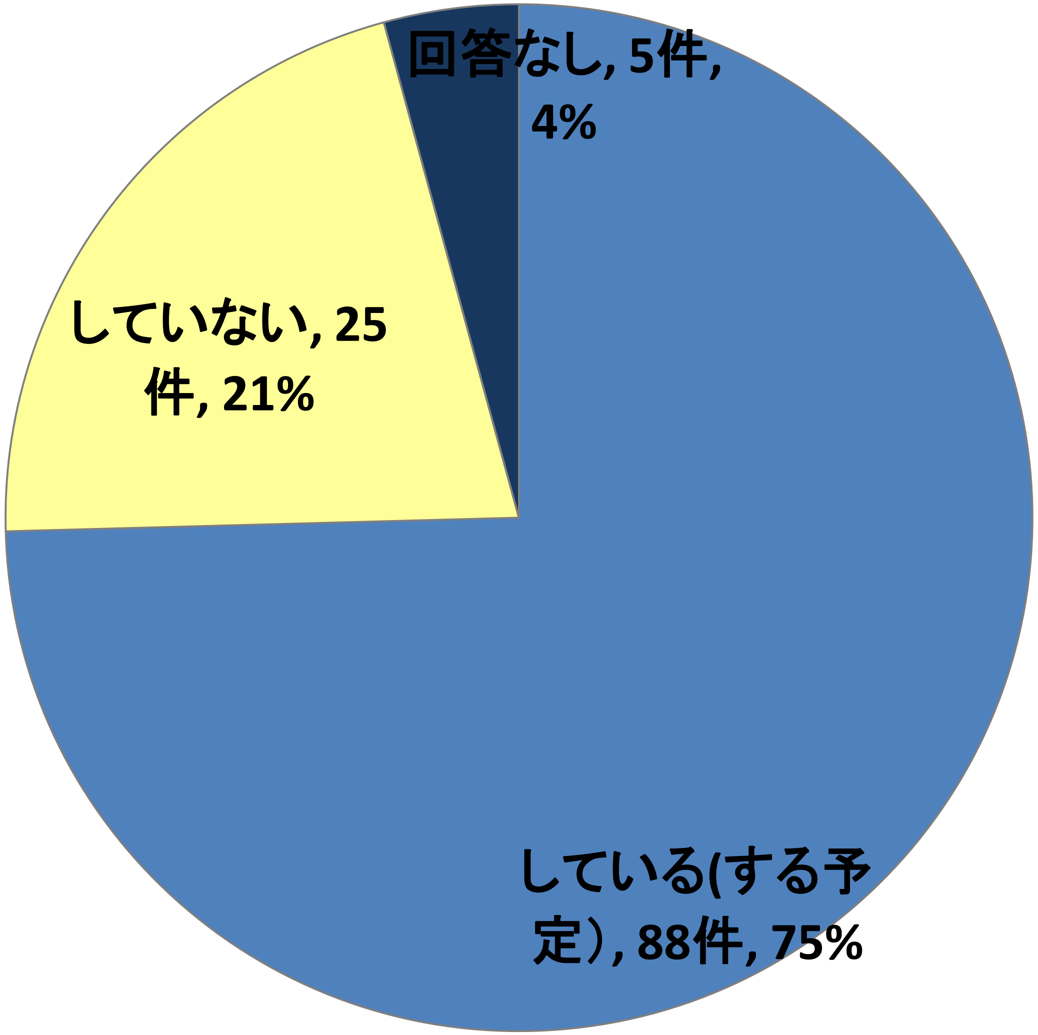


図55

陽性者にパートナーへの検査を勧奨する場合、具体的には？

（2010年）

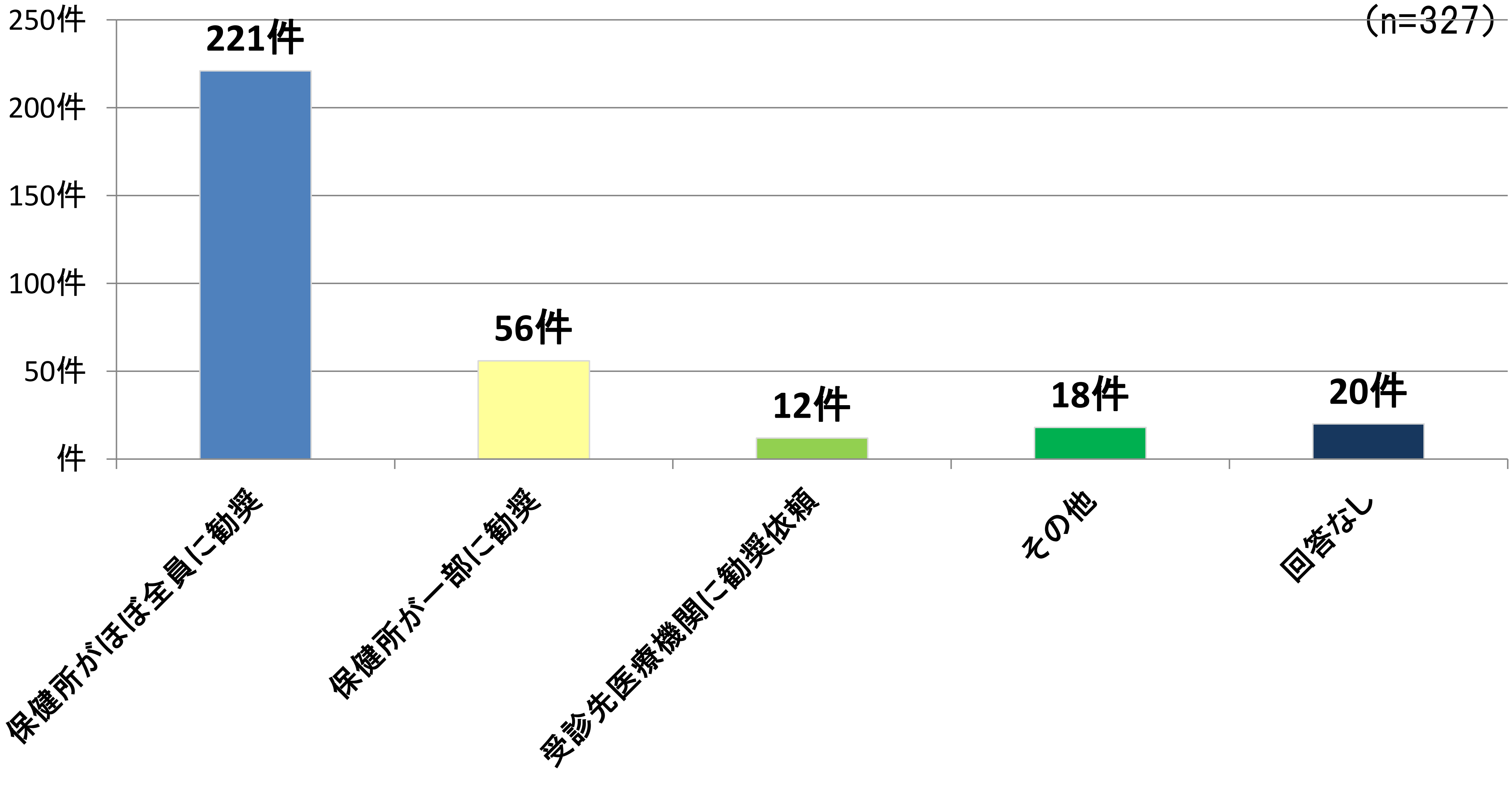
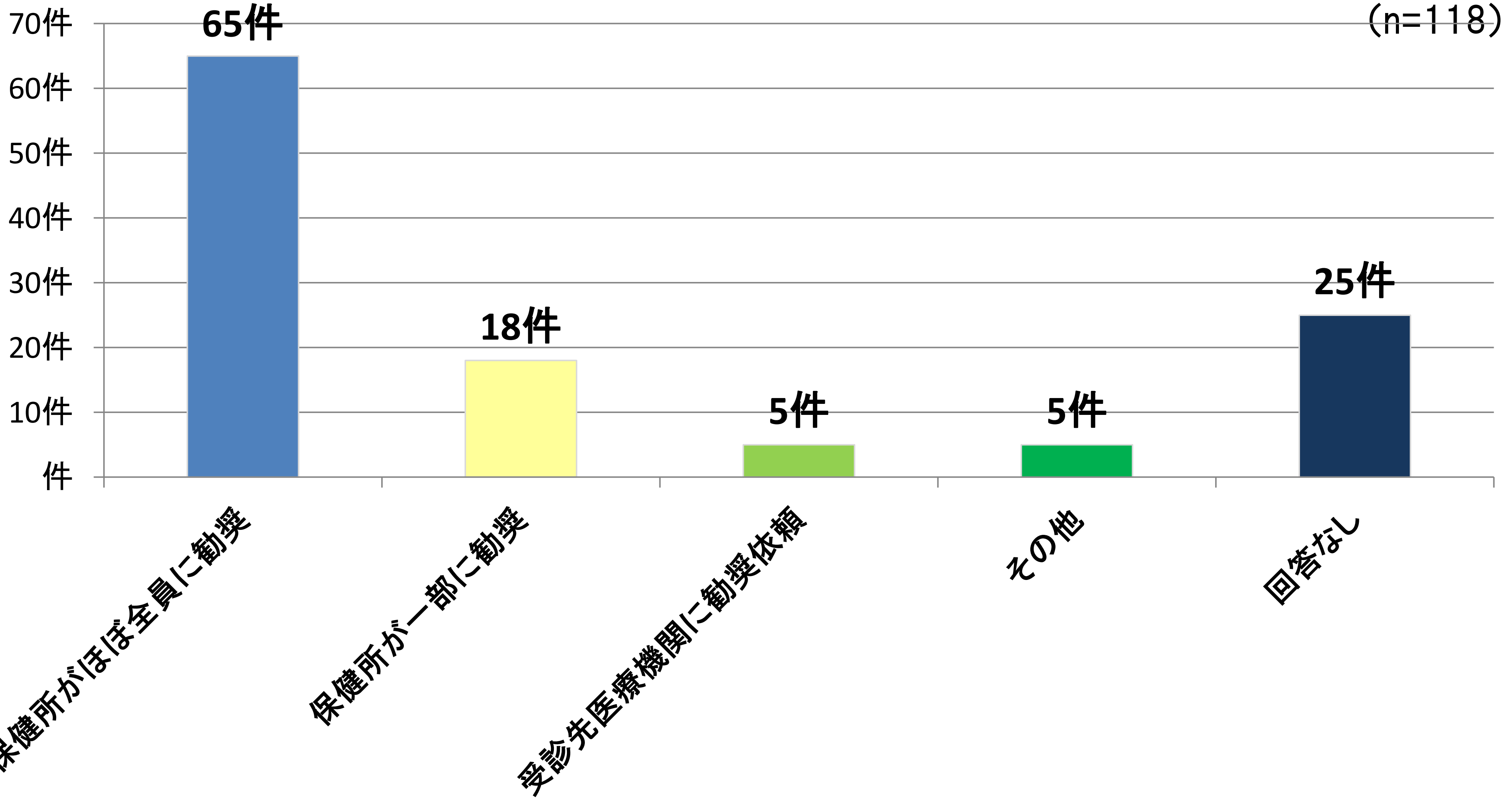


図56

（2010年）

陽性者にパートナーへの検査を勧奨する場合具体的には？(陽性経験保健所)



保健所における HIV 検査体制に関する調査

1．貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？　（n=488）

はい	487件	99.8%
いいえ	1件	0.2%

「**はい**」と答えた保健所　→　**平成21年1～12月の実施状況**をお教え下さい。　（n=487）

① HIV検査件数

検査数	89,997人
うち陽性数	241人
陽性率	0.27%

陽性経験数

陽性者があった保健所	118件	24.2%
陽性者がなかった保健所	369件	75.8%

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
50件未満	171	35.1%	3,780	4.2%	15	0.40%	8.8%	15
50-99件	88	18.1%	6,534	7.3%	9	0.14%	10.2%	9
100-199件	87	17.9%	12,429	13.8%	20	0.16%	20.7%	18
200-499件	96	19.7%	28,822	32.0%	62	0.22%	49.0%	47
500-999件	30	6.2%	20,014	22.2%	63	0.31%	70.0%	21
1000件以上	12	2.5%	18,418	20.5%	72	0.28%	66.7%	8
未記入	3	0.6%						
								118

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数：　2,078人 (2.31%)

③ HIV検査での結果確認（陰性者、陽性者別）：

	陰性		陽性	
結果を聞きにきた	87,705人	97.7%	214人	88.8%
結果を聞きにこなかった	2,051人	2.3%	27人	11.2%

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

	全体		陽性経験保健所（n=118）	
ある	226	46.4%	88件	74.6%
ない	240	49.3%	29件	24.6%

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数：　176人　(73.0%)

2．貴保健所で行っているHIV検査相談事業の内容について教えて下さい。

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

行っている	377	77.4%
行っていない	105	21.6%
不明	5件	1.0%

「**行っている**」と答えた保健所　→　実施している性感染症検査項目に丸をしてください。　（n=377）

梅毒	31	8.2%
梅毒（迅速）	48	12.7%
梅毒（通常）	242	64.2%
クラミジア抗体	240	63.7%
クラミジア抗原	64	17.0%
淋菌	32	8.5%
B型肝炎	126	33.4%
C型肝炎	96	25.5%
その他	6	1.6%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。 (n=487)

通常検査のみ	179	36.8%
即日検査のみ	190	39.0%
通常+即日	118	24.2%

平日昼のみ検査	252	51.7%
平日夜間検査	170	34.9%
土日検査	65	13.3%

通常のみ＋平日昼のみ	126	25.9%
通常のみ＋夜間も行っている	50	10.3%
通常＋土日検査も	3	0.6%
即日のみ＋平日昼のみ	96	19.7%
即日のみ＋夜間も行っている	64	13.1%
即日＋土日検査も	30	6.2%
通常＋即日・平日昼のみ	30	6.2%
通常＋即日・夜間も行っている	56	11.5%
通常＋即日・土日検査も	32	6.6%

③ ア通常検査の場合 (n=297)

A.予約制ですか？

はい	160	53.9%
いいえ	136	45.8%

B. 1回あたり上限はありますか？ (n=297)

はい	112	37.7%
いいえ	178	59.9%

上限がある場合、平均人数と分布

	通常	即日
平均数	12人	14人
10人未満	64件	116件
10-19人	23件	54件
20-29人	12件	20件
30-39人	4件	12件
40-49人	4件	7件
50人以上	3件	11件

C.結果返しは？

1週間後	193	65.0%
2週間後	74	24.9%
その他	26	8.8%

D.スクリーニング検査 実施施設は？

自保健所	54	18.2%
他保健所	27	9.1%
衛生研究所	112	37.7%
外部委託	98	33.0%

E.スクリーニング検査の方法は？

PA法	108	36.4%
IC法	50	16.8%
EIA法（抗体）	47	15.8%
EIA法（抗体抗原）	48	16.2%
その他	43	14.5%

F.確認検査の実施施設は？

自保健所	10	3.4%
他保健所	12	4.0%
衛生研究所	195	65.7%
外部委託	72	24.2%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

④ イ即日検査の場合 (n=308)

A.予約制ですか？

はい	255	82.8%
いいえ	52	16.9%

B. 1回あたり上限はありますか？

はい	226	73.4%
いいえ	78	25.3%

上限がある場合、平均人数と分布

平均数	14人
10人未満	116件
10-19人	54件
20-29人	20件
30-39人	12件
40-49人	7件
50人以上	11件

C.迅速検査で陽性（要確認検査）となった場合の結果返しは？

1週間後	179	58.1%
2週間後	103	33.4%
その他	20	6.5%
不明	6	1.9%

D.迅速診断キットの検査実施は？

a.自保健所　検査職員	221	71.8%
a.自保健所　医師	23	7.5%
a.自保健所　保健師	31	10.1%
a.自保健所　その他	30	9.7%
c.臨時雇用　検査職員	12	0.6%
c.臨時雇用　医師	2	0.6%
c.臨時雇用　保健師	2	3.2%
c.臨時雇用　その他	10	4.2%
d.外部委託	13	0.0%

E.確認検査　実施施設は？

自保健所	15	4.9%
他保健所	4	1.3%
衛生研究所	235	76.3%
外部委託	47	15.3%

⑤ 受検者について把握している内容は？ (n=487)

性別	476	97.7%
年齢	343	70.4%
年代	185	38.0%
居住地域	188	38.6%
受検動機	393	80.7%
感染リスク	282	57.9%
性的志向	159	32.6%
感染機会の時期	383	78.6%
情報源	255	52.4%
その他	62	12.7%

上記の内容について集計を行っていますか。

集計している	325	66.7%
集計していない	147	30.2%

上記の内容について事業改善等に活用していますか。

活用している	232	47.6%
活用していない	212	43.5%

活用している場合、その内容は？ (n=232)

性別	130	56.0%
年齢	162	69.8%
居住地域	37	15.9%
受検動機	100	43.1%

感染リスク	59	25.4%
性的志向	44	19.0%
感染機会の時期	52	22.4%
情報源	130	56.0%
その他	23	9.9%

⑥　結果説明等について　　(n=487)

A. 結果説明時の担当者

	陰性時		陽性時	
医師	228	46.8%	484	99.4%
保健師	331	68.0%	414	85.0%
看護師	26	5.3%	14	2.9%
その他(カウンセラー等)	36	7.4%	97	19.9%

B.感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？

行っている	450	92.4%
行っていない	34	7.0%

対象は？

全員に	366	75.2%
一部に	85	17.5%

場面は？

検査前に	73	15.0%
結果説明後に	133	27.3%
両方に	250	51.3%

具体的手法は？

リスク行動の振り返り	392	80.5%
受検者による変容案作成	6	1.2%
その他	65	13.3%

C.対応困難者の経験はありますか？

ある	230件	47.2%
ない	248件	50.9%
不明	9件	1.8%

対応困難者の紹介先はありますか？

ある	98件	20.1%
ない	334件	68.6%
不明	56件	11.5%

「ある」と答えた保健所→紹介先は？

医療機関	56件	57.1%
NGO	10件	10.2%
その他	26件	26.5%

D.陽性者への説明事項のガイドラインがありますか？

ある	280件	57.5%
ない	183件	37.6%
不明	24件	4.9%

E.陽性者への説明資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=118)	
ある	363件	74.5%	93件	78.8%
ない	111件	22.8%	21件	17.8%
回答なし	13件	2.7%	4件	3.4%

F.陽性者への手渡し資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=118)	
ある	387件	79.5%	104	88.1%
ない	82件	16.8%	11	9.3%
回答なし	18件	3.7%	3件	2.5%

G.陽性者にパートナーへの検査を勧奨していますか？

	全体		陽性経験保健所(n=118)	
している(する予定)	327件	67.1%	88件	74.6%
していない	76件	15.6%	25件	21.2%
未定	2件	0.4%		0.0%
回答なし	85件	17.5%	5件	4.2%

「している」(する予定)と答えた保健所→具体的には？

	全体 (n=327)		陽性経験保健所(n=118)	
保健所がほぼ全員に勧奨	221件	67.6%	65件	55.1%
保健所が一部に勧奨	56件	17.1%	18件	15.3%
受診先医療機関に勧奨依頼	12件	3.7%	5件	4.2%
その他	18件	5.5%	5件	4.2%
回答なし	20件	6.1%	25件	21.2%

H.確認検査で陽性の場合には届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験保健所(n=118)	
必ずおこなう	253件	52.0%	70件	59.3%
ほぼおこなう	36件	7.4%	8件	6.8%
おこなわない	30件	6.2%	8件	6.8%
医療機関に依頼する	126件	25.9%	29件	24.6%
回答なし	42件	8.6%	3件	2.5%

I.受検者が陽性結果を聞きにこなかった場合は届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験保健所(n=118)	
行う	396件	81.3%	97件	82.2%
行わない	86件	17.7%	19件	16.1%
受け付けない	0件	0.0%	0件	0.0%
回答なし	5件	1.0%	2件	1.7%

⑦ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて　(n=487)

昨年1月以降にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して
誤った結果を通知したことはありますか？

なかった	481	98.8%
HIVについてあった	2	0.4%
STIについてあった	0	0.0%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

⑧ 新型インフルエンザの流行で、検査相談事業に影響がありましたか？ （n=487）

A.事業やイベントの縮小・廃止等がありましたか？

なかった	470	96.5%
あった	13	2.7%
不明	4	0.8%

「あった」と答えた保健所→具体的には

検査・相談の中止	0件
検査の減少・縮小	8件
イベント・講演会中止	1件
その他変更等	2件

B.相談数・検査数・陽性数の減少,増加がありましたか？

相談数

なかった	186	40.5%
あった	273	59.5%

「あった」と答えた保健所→どのくらい増減したか （n=273）

減少	202	74.0%
増加	63	23.1%

検査数

なかった	136	29.6%
あった	324	70.4%

「あった」と答えた保健所→どのくらい増減したか （n=324）

減少	258	79.6%
増加	53	16.4%

陽性数

なかった	352	79.1%
あった	93	20.9%

「あった」と答えた保健所→どのくらい増減したか （n=93）

減少	36	38.7%
増加	53	57.0%